

埼玉県埋蔵文化財調査事業団報告書 第301集

---

大里郡大里町

---

# 下田町遺跡Ⅱ

---

大里地区高規格堤防整備事業関係  
埋蔵文化財発掘調査報告

—Ⅱ—

(第1分冊)

2005

国土交通省 関東地方整備局

財団法人 埼玉県埋蔵文化財調査事業団









航空写真（第2次調査）



航空写真（第3次調査）

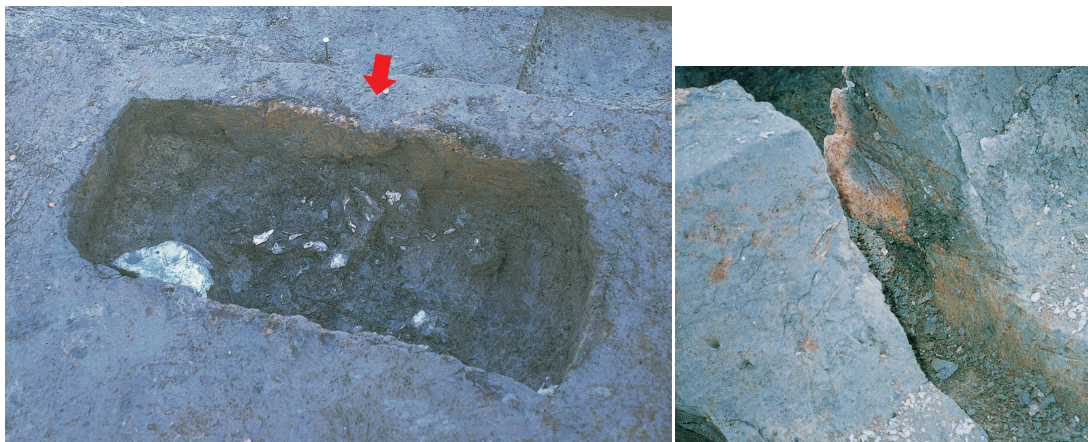




「占部豊川」線刻入り紡錘車（第412号土坑出土）



第13号火葬土坑 壁面被熱状況



第27号火葬土坑 左:トンネル状突出部の位置 右:トンネル状突出部の断面



- 第13号火葬土坑 写真は北西。東側壁面で底面まで焼き締まっているのは中央部のみ。南北端では焼けた壁面は浅い。また、突出部の壁面も焼けている。
- 第27号火葬土坑 矢印の位置にトンネル状の突出部が見える。断ち割ったところ、トンネル部の天井の一部まで焼き締まっていた。



# 序

国土交通省は、農業用水として、また、埼玉県民・東京都民の生活用水として、流域の暮らしを支える荒川の治水事業・河川環境の整備・保全事業を実施しております。その一環として現在大里町では、衛生施設・公園整備事業と一体となったスーパー堤防の整備を行なっています。スーパー堤防は、大洪水の発生にも決壊しないように、従来の約30倍の幅を持たせており、堤防上の広い空間が公園や住宅地として利用できるように計画された安全かつ新しい発想の堤防です。

この高規格堤防整備事業地内は、自然堤防上にあたり、現在の水田面下に下田町遺跡が埋没していました。整備に当たり、事業地内の遺跡の取扱いについては、関係諸機関が慎重に協議を重ねましたが、その結果、やむを得ず、記録保存の処置を講ずることとなりました。

発掘調査は、埼玉県教育局生涯学習部文化財保護課の調整により、当事業団が国土交通省の委託を受けて実施いたしました。

発掘調査の結果、弥生時代中期から古墳時代、奈良・平安時代、中世の各時代の遺構が次々と検出され、多くの土器、石器、陶磁器などが出土しました。特に弥生時代後期から古墳時代初頭にかけての方形周溝墓、奈良・平安時代の集落、中世の茶臼跡などから、この土地が各時代にどのように利用されたのかが明らかになってまいりました。

本書は、これらの成果をまとめたものであります。埋蔵文化財の保護や学術研究の基礎資料として、また、普及・啓発および各教育機関の参考資料として広く活用していただければ幸いです。

本報告書の刊行にあたり、発掘調査に関する諸調整に御尽力いただきました埼玉県教育局生涯学習部文化財保護課をはじめ、発掘調査から報告書刊行に至るまで御協力いただきました国土交通省関東地方整備局、大里町教育委員会並びに地元関係者各位に対し、深く感謝申し上げます。

平成17年3月

財団法人 埼玉県埋蔵文化財調査事業団  
理事長 福田陽充

# 例言

- 1 本書は、大里郡大里町に所在する下田町遺跡(第2次および第3次調査)の発掘調査報告書(第2巻)である。

下田町遺跡では、これまでに以下の報告書を当事業団から刊行している。

下田町遺跡Ⅰ 事業団報告書第296集

- 2 遺跡の略号と代表地番及び発掘調査届に対する指示通知は、以下のとおりである。

下田町遺跡第2次(SMDMT)

埼玉県大里郡大里町大字津田字埋田町1775他

平成13年7月1日付け 教文第2-37号

下田町遺跡第3次(SMDMT 2)

埼玉県大里郡大里町大字津田字埋田町1792他

平成14年6月19日付け 教文第2-58号

- 3 発掘調査は大里地区高規格堤防整備事業に伴う埋蔵文化財記録保存のための事前調査であり、埼玉県教育局生涯学習部文化財保護課が調整し、国土交通省関東地方整備局の委託を受け、財団法人埼玉県埋蔵文化財調査事業団が実施した。

- 4 発掘調査事業は、第Ⅰ章-3の組織により実施した。発掘調査は、平成13年6月1日から平成14年3月22日までは宮井英一、赤熊浩一、関 義則、岡本健一が担当し、宅間清公、町田ふみの補助を得た。また、平成14年5月10日から平成15年3月24日までは瀧瀬芳之、木戸春夫、西井幸雄、君島勝秀、福田 聖、松岡有希子、根岸 洋が担当し、永井いずみの補助を得た。

整理・報告書作成事業は、平成15年4月8日から平成16年3月24日までは、赤熊浩一、岡本健一が担当し、兵ゆり子の補助を得た。また、平成16年4月8日から平成17年3月31日までは赤熊浩一、松岡有希子が担当し、兵ゆり子の補助を得た。

- 5 遺跡の基準点測量は、(株)シン技術コンサルに委託した。空中写真撮影は、(株)東日本朝日航洋に委託した。また、現場における花粉分析、珪藻分析、種実同定等は(株)古環境研究所、整理における木器の樹種同定と獣骨及び人骨の同定は(株)パリノ・サーヴェイに委託した。

- 6 発掘調査時の写真撮影は発掘担当者が、遺物の写真撮影は大屋道則および整理担当者が行った。

- 7 出土品の整理・図版作成は、赤熊、岡本、松岡が行い、兵の補助を得た。

- 8 本書の執筆は、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ-6・7、Ⅵ-3・4・6~8・10~12、Ⅶ-1~4については赤熊が、Ⅳ-1~5については岡本が、Ⅰ-2・3、Ⅱ、Ⅴ、Ⅵ-1・2・5・9、Ⅶ-1・6、Ⅷの目的と解説については松岡が、Ⅶ-5については兵が行った。なお、Ⅰ-1は埼玉県教育局生涯学習部文化財保護課が行った。さらに、鉄製品については瀧瀬芳之が、埴輪については大谷 徹が、縄文土器・石器については上野真由美が行い、須恵器の産地比定は富田和夫と赤熊が行い、緑釉陶器・灰釉陶器の産地比定は田中広明が行った。

- 9 本書の編集は、赤熊、岡本、松岡が行った。

- 10 本書に掲載した資料は、平成17年度以降、埼玉県立埋蔵文化財センターが管理・保管する。

- 11 本書の作成にあたり、下記の方々・機関から御教示・御指導・御協力を賜った。記して感謝の意を表します(敬称略)

浅野晴樹 出縄康行 大澤伸啓 岡田賢治

加藤恭朗 黒濟和彦 恋河内昭彦 鳥羽政之

坂本 治 楡井 尊 根本 靖 宮瀧交二

山田敏史 渡辺 一 大里町教育委員会

埼玉県立自然史博物館



# 凡例

- 1 遺跡全体におけるX・Yの数値は、国土標準平面直角座標第IV系（原点：北緯36°00′00″、東経139°50′00″）に基づく座標値を示す。また、各挿図における方位はすべて座標北を示す。
- 2 遺跡におけるグリッドは、国土標準平面直角座標に基づいて設置した、10m×10m方眼を基本グリッドとしている。
- 3 グリッドの名称は、北西杭を基準として、東西方向は西から東へA、B、C……、南北方向は北から南へ1、2、3……とした。（例 D-19グリッド）
- 4 調査区は南北に貫く水路によって東西に分断されており、これらの調査区を便宜上、「東区」「西区」と呼称する。
- 5 本書における本文・挿図・表に示す遺構の略号は以下のとおりである。

SR 方形周溝墓	SJ 竪穴住居跡
SB 掘立柱建物跡	SA 柱穴列
SE 井戸跡	SD 溝跡
SX 竪穴状不明遺構・円形周溝状遺構	
SK 土坑	Pit ピット
- 6 本書における挿図の縮尺は原則として以下のとおりである。

遺構図	1：60
土器出土状況詳細図	1：30
遺物実測図	
土器・木器・砥石	1：4
土器拓影図・土錘・紡錘車・鉄製品	1：3
滑石製模造品・玉類・鉄製品	1：2
銭貨	1：1

その他、遺跡位置図、周辺地形図、遺跡全体図等は個別に縮尺率を設定した。
- 7 遺物のうち、須恵器は断面を黒塗りにした。また、緑釉・灰釉陶器、彩色土器については、施釉・彩色範囲を網かけで示した。

網は、緑釉20%・断面40%、灰釉10%・断面40%、赤彩・赤漆10%、黒色土器・黒漆30%である。
- 8 木器の木取りについては、断面図に年輪方向を模式的に図示した。ただし、年輪の横断面が断面図にあらわれない場合や、木取りを確認していない木器の断面図は白ぬきである。
- 9 遺構断面図等に表記した水準数値は、海拔標高を示す。
- 10 遺構図中の網かけは、特に明記のない場合は被熱範囲を示す。
- 11 遺物観察表については次のとおりである。
  - ・口径・器高・底径は、cmを単位とする。
  - ・（ ）内の数値は復元推定値、[ ]内の数値は残存値である。
  - ・胎土は肉眼で観察できるものを次のように示した。

雲	雲母	片	片岩	角	角閃石
長石	長石	石英	石英	砂粒	砂粒子
赤粒	赤色粒子	白粒	白色粒子		
黒粒	黒色粒子	褐粒	褐色粒子		
橙粒	橙色粒子	針	白色針状物質		
小礫	小礫				
  - ・焼成は、良好・普通・不良の3段階に分けた。
  - ・残存率は図示した器形の部分に対する%で表した。
- 12 本書に掲載した地形図は、国土地理院発行の1/50,000地形図を使用した。
- 13 土層および土器類の色調の表記は、『新版標準土色帖』2002年度版（農林水産省農林水産技術会議事務局監修・財団法人日本色彩研究所色票監修）に従った。

# 目次

## (第1分冊)

口絵

序

例言

凡例

目次

I 発掘調査の概要	1
1. 発掘調査に至る経過	1
2. 発掘調査・報告書作成の経過	2
3. 発掘調査・整理・報告書刊行の組織	5
II 遺跡の立地と環境	7
III 第2次調査の概要	13
IV 第2次調査の遺構と遺物	21
1. 住居跡	21
2. 掘立柱建物跡	45
3. 井戸跡	59
4. 土坑	86
5. ピット	105
6. 溝跡	119
7. グリッド・表採	197
8. 第2次調査東区出土遺物の自然科学分析	201

写真図版

## (第2分冊)

V 第3次調査の概要	203
VI 第3次調査の遺構と遺物	215
1. 方形周溝墓	215

2. 住居跡	228
3. 掘立柱建物跡	283
4. 柱穴列	306
5. 井戸跡	310
6. 円形周溝状遺構	429
7. 土坑	433

## (第3分冊)

8. ピット	513
9. 火葬土坑	563
10. 溝跡	581
11. 道路状遺構	729
12. グリッド・表採遺物	735
VII まとめ	763
VIII 下田町遺跡の自然科学分析	787
1. 下田町遺跡の自然科学分析(遺構編)	789
2. 下田町遺跡の自然科学分析(遺物編)	810
3. 下田町遺跡出土の銅製品の成分分析	838

## (写真図版)

写真図版

付図



# 挿 図 目 次

## (第1分冊)

第1図	下田町遺跡調査区分図……………	3	第35図	第62号住居跡カマド……………	38
第2図	埼玉県の地形……………	7	第36図	第62号住居跡出土遺物……………	39
第3図	下田町遺跡の周辺地形……………	8	第37図	第63号住居跡……………	40
第4図	周辺の遺跡……………	10	第38図	第63号住居跡出土遺物……………	40
第5図	下田町遺跡の範囲……………	12	第39図	第64号住居跡……………	41
第6図	第2次調査東区グリッド配置図……………	14	第40図	第64号住居跡出土遺物……………	41
第7図	第2次調査東区遺跡全体図(1)……………	16	第41図	第65号住居跡……………	42
第8図	第2次調査東区遺跡全体図(2)……………	17	第42図	第65号住居跡出土遺物……………	42
第9図	第2次調査東区遺跡全体図(3)……………	18	第43図	第66号住居跡……………	43
第10図	第2次調査東区遺跡全体図(4)……………	19	第44図	第66号住居跡出土遺物……………	43
第11図	第2次調査東区遺跡全体図(5)……………	20	第45図	第67号住居跡……………	44
第12図	住居跡・掘立柱建物跡全体図(1)……………	22	第46図	第67号住居跡出土遺物……………	44
第13図	住居跡・掘立柱建物跡全体図(2)……………	23	第47図	第22号掘立柱建物跡(1)……………	46
第14図	第52号住居跡……………	24	第48図	第22号掘立柱建物跡(2)……………	47
第15図	第52号住居跡出土遺物……………	25	第49図	第22号掘立柱建物跡(3)……………	48
第16図	第53号住居跡……………	25	第50図	第22号掘立柱建物跡(4)……………	49
第17図	第53号住居跡出土遺物……………	26	第51図	第23号掘立柱建物跡(1)……………	50
第18図	第54号住居跡……………	26	第52図	第23号掘立柱建物跡(2)……………	51
第19図	第54号住居跡出土遺物……………	27	第53図	第24号掘立柱建物跡……………	52
第20図	第55号住居跡……………	28	第54図	第25号掘立柱建物跡……………	53
第21図	第55号住居跡出土遺物……………	29	第55図	第26号掘立柱建物跡……………	54
第22図	第56号住居跡……………	30	第56図	第27号掘立柱建物跡……………	55
第23図	第56号住居跡出土遺物……………	31	第57図	第22号掘立柱建物跡出土遺物……………	56
第24図	第57号住居跡……………	32	第58図	第23号掘立柱建物跡出土遺物……………	56
第25図	第57号住居跡出土遺物……………	32	第59図	第24号掘立柱建物跡出土遺物……………	56
第26図	第58号住居跡……………	33	第60図	第25号掘立柱建物跡出土遺物……………	57
第27図	第58号住居跡出土遺物……………	33	第61図	第26号掘立柱建物跡出土遺物……………	57
第28図	第59号住居跡……………	34	第62図	第27号掘立柱建物跡出土遺物……………	58
第29図	第59号住居跡出土遺物……………	35	第63図	井戸跡・土坑・ピット全体図(1)……………	60
第30図	第60号住居跡……………	36	第64図	井戸跡・土坑・ピット全体図(2)……………	61
第31図	第60号住居跡出土遺物……………	36	第65図	井戸跡・土坑・ピット全体図(3)……………	62
第32図	第61号住居跡……………	37	第66図	井戸跡・土坑・ピット全体図(4)……………	63
第33図	第61号住居跡出土遺物……………	37	第67図	井戸跡・土坑・ピット全体図(5)……………	64
第34図	第62号住居跡……………	38	第68図	井戸跡(1)……………	65
			第69図	井戸跡出土遺物(1)……………	66

第70図	井戸跡出土遺物 (2) ……………	67	第107図	溝跡 (2) ……………	123
第71図	井戸跡 (2) ……………	70	第108図	溝跡 (3) ……………	124
第72図	井戸跡出土遺物 (3) ……………	71	第109図	溝跡 (4) ……………	125
第73図	井戸跡出土遺物 (4) ……………	72	第110図	溝跡 (5) ……………	126
第74図	井戸跡出土遺物 (5) ……………	73	第111図	溝跡 (6) ……………	127
第75図	第103号井戸跡井戸枠 (1) ……………	74	第112図	溝跡 (7) ……………	128
第76図	第103号井戸跡井戸枠 (2) ……………	75	第113図	溝跡 (8) ……………	129
第77図	井戸跡 (3) ……………	78	第114図	溝跡 (9) ……………	130
第78図	井戸跡 (4) ……………	79	第115図	溝跡 (10) ……………	131
第79図	井戸跡 (5) ……………	80	第116図	溝跡 (11) ……………	132
第80図	井戸跡出土遺物 (6) ……………	81	第117図	溝跡 (12) ……………	133
第81図	井戸跡出土遺物 (7) ……………	82	第118図	第21号溝跡遺物出土状況 (1) ……………	134
第82図	土坑 (1) ……………	87	第119図	溝跡出土遺物 (1) ……………	135
第83図	土坑 (2) ……………	89	第120図	溝跡出土遺物 (2) ……………	136
第84図	土坑出土遺物 (1) ……………	90	第121図	溝跡出土遺物 (3) ……………	137
第85図	土坑出土遺物 (2) ……………	91	第122図	第80号溝跡区割図 ……………	138
第86図	土坑出土遺物 (3) ……………	92	第123図	第80号溝跡遺物出土状況 (1) ……………	139
第87図	土坑出土遺物 (4) ……………	93	第124図	第80号溝跡遺物出土状況 (2) ……………	140
第88図	土坑 (3) ……………	95	第125図	第80号溝跡遺物出土状況 (3) ……………	141
第89図	土坑 (4) ……………	96	第126図	溝跡出土遺物 (4) ……………	142
第90図	土坑遺物出土状況 (1) ……………	97	第127図	溝跡出土遺物 (5) ……………	143
第91図	土坑遺物出土状況 (2) ……………	98	第128図	溝跡出土遺物 (6) ……………	144
第92図	土坑出土遺物 (5) ……………	99	第129図	溝跡出土遺物 (7) ……………	145
第93図	土坑出土遺物 (6) ……………	100	第130図	溝跡出土遺物 (8) ……………	146
第94図	土坑出土遺物 (7) ……………	101	第131図	溝跡出土遺物 (9) ……………	147
第95図	ピット (1) ……………	108	第132図	溝跡出土遺物 (10) ……………	148
第96図	ピット (2) ……………	109	第133図	溝跡出土遺物 (11) ……………	149
第97図	ピット (3) ……………	110	第134図	第87号溝跡遺物出土状況 ……………	150
第98図	ピット (4) ……………	111	第135図	溝跡出土遺物 (12) ……………	151
第99図	ピット (5) ……………	112	第136図	溝跡出土遺物 (13) ……………	153
第100図	ピット出土遺物 (1) ……………	113	第137図	溝跡出土遺物 (14) ……………	154
第101図	ピット出土遺物 (2) ……………	114	第138図	溝跡出土遺物 (15) ……………	155
第102図	ピット出土遺物 (3) ……………	115	第139図	溝跡出土遺物 (16) ……………	157
第103図	ピット出土遺物 (4) ……………	116	第140図	溝跡出土遺物 (17) ……………	158
第104図	下田町遺跡溝跡全体図 (1) ……………	120	第141図	溝跡出土遺物 (18) ……………	159
第105図	下田町遺跡溝跡全体図 (2) ……………	121	第142図	溝跡出土遺物 (19) ……………	161
第106図	溝跡 (1) ……………	122	第143図	溝跡出土遺物 (20) ……………	162

第144図	溝跡出土遺物 (21) ……………	163	第171図	第5号方形周溝墓 ……………	218
第145図	溝跡出土遺物 (22) ……………	164	第172図	第5号方形周溝墓出土遺物 ……………	219
第146図	溝跡出土遺物 (23) ……………	165	第173図	第6号方形周溝墓 (1) ……………	220
第147図	溝跡出土遺物 (24) ……………	167	第174図	第6号方形周溝墓 (2) ……………	221
第148図	溝跡出土遺物 (25) ……………	168	第175図	第6号方形周溝墓出土遺物 ……………	222
第149図	溝跡出土遺物 (26) ……………	169	第176図	第7号方形周溝墓 ……………	223
第150図	溝跡出土遺物 (27) ……………	171	第177図	第7号方形周溝墓出土遺物 ……………	223
第151図	溝跡出土遺物 (28) ……………	173	第178図	第8号方形周溝墓 ……………	224
第152図	溝跡出土遺物 (29) ……………	175	第179図	第8号方形周溝墓出土遺物 ……………	224
第153図	溝跡出土遺物 (30) ……………	177	第180図	第9号方形周溝墓 ……………	226
第154図	溝跡出土遺物 (31) ……………	179	第181図	第9号方形周溝墓出土遺物 ……………	226
第155図	溝跡出土遺物 (32) ……………	181	第182図	第13号方形周溝墓 ……………	227
第156図	グリッド・表採出土遺物 (1) ……………	198	第183図	第13号方形周溝墓出土遺物 ……………	227
第157図	グリッド・表採出土遺物 (2) ……………	199	第184図	住居跡全体図 西区 ……………	228
<b>(第2分冊)</b>			第185図	住居跡全体図 東区 ……………	229
第158図	下田町遺跡基本土層 ……………	203	第186図	第68号住居跡 ……………	231
第159図	第3次調査グリッド配置図 ……………	205	第187図	第68号住居跡出土遺物 ……………	231
第160図	下田町遺跡第3次調査 西区一面全体図 (1) ……………	206	第188図	第69号住居跡 ……………	232
第161図	下田町遺跡第3次調査 西区一面全体図 (2) ……………	207	第189図	第69号住居跡出土遺物 ……………	232
第162図	下田町遺跡第3次調査 西区一面全体図 (3) ……………	208	第190図	第70号住居跡 ……………	233
第163図	下田町遺跡第3次調査 西区二面全体図 (1) ……………	209	第191図	第70号住居跡出土遺物 ……………	233
第164図	下田町遺跡第3次調査 西区二面全体図 (2) ……………	210	第192図	第71号住居跡 ……………	234
第165図	下田町遺跡第3次調査 西区二面全体図 (3) ……………	211	第193図	第71号住居跡出土遺物 ……………	234
第166図	下田町遺跡第3次調査 東区全体図 (1) ……………	212	第194図	第72号住居跡 ……………	235
第167図	下田町遺跡第3次調査 東区全体図 (2) ……………	213	第195図	第72号住居跡出土遺物 ……………	235
第168図	下田町遺跡第3次調査 東区全体図 (3) ……………	214	第196図	第73号住居跡 ……………	236
第169図	方形周溝墓全体図 西区 ……………	216	第197図	第74号住居跡・カマド遺物出土状況 ……………	237
第170図	方形周溝墓全体図 東区 ……………	217	第198図	第74号住居跡出土遺物 ……………	238
			第199図	第75号住居跡出土遺物 ……………	238
			第200図	第75・77号住居跡 ……………	239
			第201図	第76号住居跡 ……………	240
			第202図	第78号住居跡カマド ……………	240
			第203図	第79号住居跡 ……………	241
			第204図	第79号住居跡出土遺物 ……………	241
			第205図	第80a号住居跡 ……………	242
			第206図	第80a号住居跡カマド遺物出土状況 ……………	243
			第207図	第80b・80c号住居跡 ……………	244



第208图	第80 a·80 b·80 c号住居跡遺物出土狀況·····245	第245图	第97号住居跡·····274
第209图	第80号住居跡出土遺物(1)·····246	第246图	第97号住居跡出土遺物·····275
第210图	第80号住居跡出土遺物(2)·····247	第247图	第98号住居跡·····276
第211图	第81号住居跡·····248	第248图	第99号住居跡·····277
第212图	第81号住居跡出土遺物·····249	第249图	第100号住居跡·····278
第213图	第82号住居跡·····250	第250图	第100号住居跡出土遺物·····278
第214图	第82号住居跡出土遺物(1)·····251	第251图	第101号住居跡·····279
第215图	第82号住居跡出土遺物(2)·····252	第252图	第101号住居跡出土遺物·····280
第216图	第82号住居跡遺物出土狀況·····253	第253图	第102·103号住居跡·····281
第217图	第83号住居跡·····254	第254图	第102·103号住居跡出土遺物·····281
第218图	第83号住居跡出土遺物·····254	第255图	第104号住居跡·····282
第219图	第84·85号住居跡·····255	第256图	第104号住居跡出土遺物·····282
第220图	第84号住居跡出土遺物·····256	第257图	掘立柱建物跡·柱穴列全体图 西区··284
第221图	第85号住居跡出土遺物·····257	第258图	掘立柱建物跡·柱穴列全体图 東区··285
第222图	第86号住居跡·····258	第259图	第28号掘立柱建物跡·····287
第223图	第86号住居跡出土遺物·····258	第260图	第28号掘立柱建物跡出土遺物·····287
第224图	第87号住居跡·····259	第261图	第29号掘立柱建物跡·····288
第225图	第87号住居跡出土遺物·····259	第262图	第29号掘立柱建物跡出土遺物·····288
第226图	第88号住居跡(1)·····260	第263图	第30号掘立柱建物跡·····289
第227图	第88号住居跡(2)·····261	第264图	第30号掘立柱建物跡出土遺物·····289
第228图	第88号住居跡出土遺物·····262	第265图	第31号掘立柱建物跡·····290
第229图	第89号住居跡·····264	第266图	第31号掘立柱建物跡出土遺物·····290
第230图	第89号住居跡出土遺物·····264	第267图	第32号掘立柱建物跡出土遺物·····291
第231图	第90号住居跡·出土遺物·····265	第268图	第32号掘立柱建物跡(1)·····292
第232图	第91号住居跡·····266	第269图	第32号掘立柱建物跡(2)·····293
第233图	第91号住居跡出土遺物·····266	第270图	第33号掘立柱建物跡·····294
第234图	第92号住居跡·····267	第271图	第33号掘立柱建物跡出土遺物·····295
第235图	第92号住居跡出土遺物·····267	第272图	第34号掘立柱建物跡·····295
第236图	第93号住居跡·····268	第273图	第36号掘立柱建物跡·····296
第237图	第93号住居跡出土遺物·····268	第274图	第37号掘立柱建物跡·····297
第238图	第94号住居跡·····269	第275图	第37号掘立柱建物跡出土遺物·····297
第239图	第95号住居跡·····270	第276图	第38号掘立柱建物跡·····298
第240图	第95号住居跡遺物出土狀況·····270	第277图	第40号掘立柱建物跡·····299
第241图	第95号住居跡出土遺物·····271	第278图	第41号掘立柱建物跡(1)·····300
第242图	第96号住居跡·····271	第279图	第41号掘立柱建物跡(2)·····301
第243图	第96号住居跡遺物出土狀況·····272	第280图	第41号掘立柱建物跡出土遺物·····301
第244图	第96号住居跡出土遺物·····273	第281图	第43号掘立柱建物跡·····302

第282図	第43号掘立柱建物跡出土遺物	302	第319図	井戸跡 (15)	348
第283図	第45号掘立柱建物跡	303	第320図	井戸跡出土遺物 (13)	349
第284図	第46号掘立柱建物跡	304	第321図	井戸跡 (16)	352
第285図	第47号掘立柱建物跡出土遺物	304	第322図	井戸跡出土遺物 (14)	353
第286図	第47号掘立柱建物跡	305	第323図	井戸跡 (17)	354
第287図	第49号掘立柱建物跡	305	第324図	井戸跡出土遺物 (15)	355
第288図	柱穴列 (1)	307	第325図	井戸跡出土遺物 (16)	356
第289図	柱穴列 (2)	308	第326図	井戸跡出土遺物 (17)	357
第290図	井戸跡全体図 西区一面	311	第327図	井戸跡出土遺物 (18)	358
第291図	井戸跡全体図 西区二面	312	第328図	井戸跡出土遺物 (19)	359
第292図	井戸跡全体図 東区	313	第329図	井戸跡出土遺物 (20)	360
第293図	井戸跡 (1)	315	第330図	井戸跡 (18)	362
第294図	井戸跡 (2)	316	第331図	井戸跡出土遺物 (21)	362
第295図	井戸跡出土遺物 (1)	317	第332図	井戸跡出土遺物 (22)	364
第296図	井戸跡 (3)	319	第333図	井戸跡出土遺物 (23)	365
第297図	井戸跡 (4)	320	第334図	井戸跡出土遺物 (24)	366
第298図	井戸跡出土遺物 (2)	321	第335図	井戸跡出土遺物 (25)	367
第299図	井戸跡 (5)	324	第336図	井戸跡出土遺物 (26)	368
第300図	井戸跡 (6)	326	第337図	井戸跡出土遺物 (27)	369
第301図	井戸跡 (7)	327	第338図	井戸跡出土遺物 (28)	370
第302図	井戸跡出土遺物 (3)	328	第339図	第216号井戸跡 井戸枿側面図 (1)	370
第303図	井戸跡出土遺物 (4)	329	第340図	井戸跡出土遺物 (29)	371
第304図	井戸跡 (8)	331	第341図	第216号井戸跡 井戸枿側面図 (2)	371
第305図	井戸跡 (9)	332	第342図	井戸跡出土遺物 (30)	372
第306図	井戸跡出土遺物 (5)	333	第343図	井戸跡 (19)	373
第307図	井戸跡出土遺物 (6)	334	第344図	井戸跡出土遺物 (31)	374
第308図	井戸跡 (10)	336	第345図	井戸跡 (20)	375
第309図	井戸跡 (11)	337	第346図	井戸跡出土遺物 (32)	376
第310図	井戸跡出土遺物 (7)	338	第347図	井戸跡出土遺物 (33)	377
第311図	井戸跡出土遺物 (8)	339	第348図	井戸跡出土遺物 (34)	378
第312図	井戸跡出土遺物 (9)	340	第349図	井戸跡出土遺物 (35)	379
第313図	井戸跡出土遺物 (10)	341	第350図	井戸跡出土遺物 (36)	380
第314図	井戸跡出土遺物 (11)	342	第351図	井戸跡 (21)	382
第315図	井戸跡 (12)	343	第352図	井戸跡出土遺物 (37)	384
第316図	井戸跡出土遺物 (12)	345	第353図	井戸跡出土遺物 (38)	385
第317図	井戸跡 (13)	346	第354図	井戸跡出土遺物 (39)	386
第318図	井戸跡 (14)	347	第355図	井戸跡 (22)	387

第356図	井戸跡出土遺物 (40) ……………	388	第393図	土坑 (7) ……………	450
第357図	井戸跡 (23) ……………	390	第394図	土坑 (8) ……………	452
第358図	井戸跡出土遺物 (41) ……………	391	第395図	土坑 (9) ……………	454
第359図	井戸跡出土遺物 (42) ……………	392	第396図	土坑 (10) ……………	456
第360図	井戸跡 (24) ……………	393	第397図	土坑出土遺物 (3) ……………	457
第361図	井戸跡出土遺物 (43) ……………	395	第398図	土坑遺物出土状況 (1) ……………	458
第362図	井戸跡 (25) ……………	396	第399図	土坑 (11) ……………	460
第363図	井戸跡出土遺物 (44) ……………	397	第400図	土坑 (12) ……………	462
第364図	井戸跡 (26) ……………	399	第401図	土坑出土遺物 (4) ……………	464
第365図	井戸跡出土遺物 (45) ……………	400	第402図	土坑 (13) ……………	465
第366図	井戸跡 (27) ……………	401	第403図	土坑出土遺物 (5) ……………	466
第367図	井戸跡 (28) ……………	403	第404図	土坑 (14) ……………	467
第368図	井戸跡出土遺物 (46) ……………	404	第405図	土坑 (15) ……………	469
第369図	井戸跡出土遺物 (47) ……………	405	第406図	土坑 (16) ……………	471
第370図	井戸跡 (29) ……………	406	第407図	土坑 (17) ……………	473
第371図	井戸跡 (30) ……………	407	第408図	土坑出土遺物 (6) ……………	475
第372図	井戸跡 (31) ……………	410	第409図	土坑遺物出土状況 (2) ……………	477
第373図	井戸跡出土遺物 (48) ……………	411	第410図	土坑出土遺物 (7) ……………	478
第374図	井戸跡出土遺物 (49) ……………	412	第411図	土坑 (18) ……………	479
第375図	井戸跡 (32) ……………	414	第412図	土坑 (19) ……………	481
第376図	井戸跡 (33) ……………	416	第413図	土坑出土遺物 (8) ……………	482
第377図	井戸跡出土遺物 (50) ……………	417	第414図	土坑 (20) ……………	483
第378図	円形周溝状遺構全体図 西区 ……………	430	第415図	土坑 (21) ……………	485
第379図	円形周溝状遺構全体図 東区 ……………	431	第416図	土坑 (22) ……………	487
第380図	第5号円形周溝状遺構 ……………	432	第417図	土坑 (23) ……………	489
第381図	第5号円形周溝状遺構出土遺物 ……………	432	第418図	土坑 (24) ……………	491
第382図	土坑全体図 西区一面 ……………	434	第419図	土坑 (25) ……………	493
第383図	土坑全体図 西区二面 ……………	435	第420図	土坑出土遺物 (9) ……………	494
第384図	土坑全体図 東区 ……………	436	第421図	土坑 (26) ……………	496
第385図	土坑 (1) ……………	437	第422図	土坑 (27) ……………	498
第386図	土坑 (2) ……………	438	第423図	土坑 (28) ……………	500
第387図	土坑出土遺物 (1) ……………	439	第424図	土坑 (29) ……………	502
第388図	土坑 (3) ……………	441	第425図	土坑 (30) ……………	504
第389図	土坑 (4) ……………	443	第426図	土坑 (31) ……………	505
第390図	土坑出土遺物 (2) ……………	444	第427図	焼成遺構 (1) ……………	506
第391図	土坑 (5) ……………	446	第428図	焼成遺構 (2) ……………	507
第392図	土坑 (6) ……………	448	第429図	炭化物・炭化米出土土坑 ……………	508



第430図	土坑墓	509	第466図	火葬土坑 (8)	578
<b>(第3分冊)</b>			第467図	火葬土坑 (9)	580
第431図	ピット全体図 (1)	513	第468図	溝跡全体図 西区一面	582
第432図	ピット全体図 (2)	514	第469図	溝跡全体図 西区二面	583
第433図	ピット全体図 (3)	515	第470図	溝跡全体図 東区	584
第434図	ピット全体図 (4)	516	第471図	西区一面溝跡 (1)	585
第435図	ピット全体図 (5)	517	第472図	西区一面溝跡 (2)	586
第436図	ピット全体図 (6)	518	第473図	溝跡出土遺物 (1)	588
第437図	ピット全体図 (7)	519	第474図	溝跡出土遺物 (2)	589
第438図	ピット全体図 (8)	520	第475図	溝跡出土遺物 (3)	590
第439図	ピット全体図 (9)	521	第476図	溝跡出土遺物 (4)	591
第440図	ピット全体図 (10)	522	第477図	溝跡出土遺物 (5)	592
第441図	ピット全体図 (11)	523	第478図	溝跡出土遺物 (6)	593
第442図	ピット全体図 (12)	524	第479図	西区一面溝跡 (3)	594
第443図	ピット (1)	525	第480図	西区一面溝跡 (4)	595
第444図	ピット (2)	526	第481図	西区一面溝跡 (5)	596
第445図	ピット (3)	527	第482図	溝跡出土遺物 (7)	597
第446図	ピット (4)	528	第483図	第275・422号溝跡遺物出土状況	598
第447図	ピット (5)	529	第484図	西区一面溝跡 (6)	599
第448図	ピット (6)	530	第485図	西区一面溝跡 (7)	600
第449図	ピット (7)	531	第486図	溝跡出土遺物 (8)	602
第450図	ピット出土遺物 (1)	557	第487図	溝跡出土遺物 (9)	603
第451図	ピット出土遺物 (2)	558	第488図	東区溝跡 (1)	604
第452図	ピット出土遺物 (3)	559	第489図	東区溝跡 (2)	605
第453図	ピット出土遺物 (4)	560	第490図	東区溝跡 (3)	606
第454図	ピット出土遺物 (5)	561	第491図	東区溝跡 (4)	607
第455図	火葬土坑全体図 西区一面	564	第492図	第286号溝跡区割図	608
第456図	火葬土坑全体図 東区	565	第493図	第286号溝跡遺物出土状況 (1)	609
第457図	火葬土坑 (1)	566	第494図	第286号溝跡遺物出土状況 (2)	610
第458図	火葬土坑 (2)	568	第495図	第286号溝跡遺物出土状況 (3)	611
第459図	第8号火葬土坑出土遺物	569	第496図	第286号溝跡遺物出土状況 (4)	612
第460図	火葬土坑 (3)	570	第497図	溝跡出土遺物 (10)	614
第461図	火葬土坑 (4)	572	第498図	溝跡出土遺物 (11)	615
第462図	火葬土坑 (5)	574	第499図	溝跡出土遺物 (12)	616
第463図	第21号火葬土坑出土遺物	575	第500図	溝跡出土遺物 (13)	617
第464図	火葬土坑 (6)	576	第501図	溝跡出土遺物 (14)	618
第465図	火葬土坑 (7)	577	第502図	溝跡出土遺物 (15)	619

第503区	溝跡出土遺物 (16)	620	第540区	溝跡出土遺物 (36)	665
第504区	溝跡出土遺物 (17)	621	第541区	溝跡出土遺物 (37)	666
第505区	溝跡出土遺物 (18)	622	第542区	西区二面溝跡 (8)	667
第506区	溝跡出土遺物 (19)	623	第543区	西区二面溝跡 (9)	668
第507区	溝跡出土遺物 (20)	624	第544区	西区二面溝跡 (10)	669
第508区	溝跡出土遺物 (21)	625	第545区	西区二面溝跡 (11)	670
第509区	溝跡出土遺物 (22)	626	第546区	溝跡出土遺物 (38)	671
第510区	東区溝跡 (5)	627	第547区	溝跡出土遺物 (39)	673
第511区	東区溝跡 (6)	628	第548区	溝跡出土遺物 (40)	678
第512区	東区溝跡 (7)	629	第549区	溝跡出土遺物 (41)	683
第513区	東区溝跡 (8)	630	第550区	溝跡出土遺物 (42)	684
第514区	溝跡出土遺物 (23)	633	第551区	東区溝跡 (9)	685
第515区	溝跡出土遺物 (24)	635	第552区	東区溝跡 (10)	686
第516区	溝跡出土遺物 (25)	637	第553区	東区溝跡 (11)	687
第517区	溝跡出土遺物 (26)	639	第554区	東区溝跡 (12)	688
第518区	西区二面溝跡 (1)	641	第555区	溝跡出土遺物 (43)	690
第519区	西区二面溝跡 (2)	642	第556区	溝跡出土遺物 (44)	692
第520区	西区二面溝跡 (3)	643	第557区	溝跡出土遺物 (45)	693
第521区	西区二面溝跡 (4)	645	第558区	溝跡出土遺物 (46)	694
第522区	西区二面溝跡 (5)	646	第559区	溝跡出土遺物 (47)	696
第523区	西区二面溝跡 (6)	647	第560区	溝跡出土遺物 (48)	698
第524区	西区二面溝跡 (7)	648	第561区	溝跡出土遺物 (49)	700
第525区	第372号溝跡区割図	649	第562区	溝跡出土遺物 (50)	702
第526区	第372号溝跡遺物出土状況 (1)	650	第563区	溝跡出土遺物 (51)	703
第527区	第372号溝跡遺物出土状況 (2)	651	第564区	溝跡出土遺物 (52)	704
第528区	第372号溝跡遺物出土状況 (3)	652	第565区	道路状遺構全体図 西区	730
第529区	第372号溝跡遺物出土状況 (4)	653	第566区	道路状遺構全体図 東区	731
第530区	第372号溝跡遺物出土状況 (5)	654	第567区	第1号道路状遺構 (1)	732
第531区	溝跡出土遺物 (27)	656	第568区	第1号道路状遺構 (2)	733
第532区	溝跡出土遺物 (28)	657	第569区	第1号道路状遺構出土遺物	733
第533区	溝跡出土遺物 (29)	658	第570区	第2号道路状遺構	734
第534区	溝跡出土遺物 (30)	659	第571区	第2号道路状遺構出土遺物	735
第535区	溝跡出土遺物 (31)	660	第572区	グリッド遺物出土状況	736
第536区	溝跡出土遺物 (32)	661	第573区	グリッド・表採出土遺物 (1)	737
第537区	溝跡出土遺物 (33)	662	第574区	グリッド・表採出土遺物 (2)	738
第538区	溝跡出土遺物 (34)	663	第575区	グリッド・表採出土遺物 (3)	739
第539区	溝跡出土遺物 (35)	664	第576区	グリッド・表採出土遺物 (4)	740

第577図	グリッド・表採出土遺物 (5) ……741	第591図	グリッド・表採出土遺物 (19) ……762
第578図	グリッド・表採出土遺物 (6) ……742	第592図	遺構変遷図 (1) ……763
第579図	グリッド・表採出土遺物 (7) ……743	第593図	遺構変遷図 (2) ……765
第580図	グリッド・表採出土遺物 (8) ……744	第594図	遺構変遷図 (3) ……766
第581図	グリッド・表採出土遺物 (9) ……745	第595図	遺構変遷図 (4) ……767
第582図	グリッド・表採出土遺物 (10) ……746	第596図	遺構変遷図 (5) ……768
第583図	グリッド・表採出土遺物 (11) ……747	第597図	住居外側周溝図 ……770
第584図	グリッド・表採出土遺物 (12) ……748	第598図	土師器型態分類図 ……772
第585図	グリッド・表採出土遺物 (13) ……749	第599図	線刻をもつ紡錘車 ……775
第586図	グリッド・表採出土遺物 (14) ……750	第600図	灰釉陶器稜塊と緑釉陶器香炉 ……778
第587図	グリッド・表採出土遺物 (15) ……751	第601図	下田町遺跡の火葬土坑分布図 ……779
第588図	グリッド・表採出土遺物 (16) ……759	第602図	火葬土坑の規模 ……780
第589図	グリッド・表採出土遺物 (17) ……760	第603図	大古里遺跡の火葬土坑分布 ……784
第590図	グリッド・表採出土遺物 (18) ……761	第604図	お寺山遺跡の火葬土坑分布 ……784

## 表 目 次

### (第1分冊)

第1表	周辺遺跡一覧表 …… 10	第20表	第24号掘立柱建物跡出土遺物観察表 …… 57
第2表	第52号住居跡出土遺物観察表 …… 25	第21表	第25号掘立柱建物跡出土遺物観察表 …… 57
第3表	第53号住居跡出土遺物観察表 …… 25	第22表	第26号掘立柱建物跡出土遺物観察表 …… 57
第4表	第54号住居跡出土遺物観察表 …… 27	第23表	第27号掘立柱建物跡出土遺物観察表 …… 58
第5表	第55号住居跡出土遺物観察表 …… 27	第24表	井戸跡出土遺物観察表 (1) …… 83
第6表	第56号住居跡出土遺物観察表 …… 31	第25表	井戸跡出土遺物観察表 (2) …… 84
第7表	第57号住居跡出土遺物観察表 …… 32	第26表	井戸跡出土遺物観察表 (3) …… 85
第8表	第58号住居跡出土遺物観察表 …… 34	第27表	第103号井戸跡木杵材観察表 …… 85
第9表	第59号住居跡出土遺物観察表 …… 35	第28表	土坑出土遺物観察表 (1) ……102
第10表	第60号住居跡出土遺物観察表 …… 36	第29表	土坑出土遺物観察表 (2) ……103
第11表	第61号住居跡出土遺物観察表 …… 37	第30表	土坑出土遺物観察表 (3) ……104
第12表	第62号住居跡出土遺物観察表 …… 39	第31表	ピット一覧表 (1) ……105
第13表	第63号住居跡出土遺物観察表 …… 40	第32表	ピット一覧表 (2) ……106
第14表	第64号住居跡出土遺物観察表 …… 41	第33表	ピット一覧表 (3) ……107
第15表	第65号住居跡出土遺物観察表 …… 41	第34表	ピット出土遺物観察表 (1) ……117
第16表	第66号住居跡出土遺物観察表 …… 43	第35表	ピット出土遺物観察表 (2) ……118
第17表	第67号住居跡出土遺物観察表 …… 44	第36表	溝跡出土遺物観察表 (1) ……184
第18表	第22号掘立柱建物跡出土遺物観察表 …… 56	第37表	溝跡出土遺物観察表 (2) ……185
第19表	第23号掘立柱建物跡出土遺物観察表 …… 56	第38表	溝跡出土遺物観察表 (3) ……186
		第39表	溝跡出土遺物観察表 (4) ……187



第40表	溝跡出土遺物観察表 (5) ……188	第76表	第89号住居跡出土遺物観察表 ……265
第41表	溝跡出土遺物観察表 (6) ……189	第77表	第90号住居跡出土遺物観察表 ……265
第42表	溝跡出土遺物観察表 (7) ……190	第78表	第91号住居跡出土遺物観察表 ……266
第43表	溝跡出土遺物観察表 (8) ……191	第79表	第92号住居跡出土遺物観察表 ……267
第44表	溝跡出土遺物観察表 (9) ……192	第80表	第93号住居跡出土遺物観察表 ……268
第45表	溝跡出土遺物観察表 (10) ……193	第81表	第95号住居跡出土遺物観察表 ……271
第46表	溝跡出土遺物観察表 (11) ……194	第82表	第96号住居跡出土遺物観察表 ……272
第47表	溝跡出土遺物観察表 (12) ……195	第83表	第97号住居跡出土遺物観察表 ……275
第48表	溝跡出土遺物観察表 (13) ……196	第84表	第100号住居跡出土遺物観察表 ……278
第49表	グリッド・表採出土遺物観察表 (1) ……197	第85表	第101号住居跡出土遺物観察表 ……280
第50表	グリッド・表採出土遺物観察表 (2) ……200	第86表	第102・103号住居跡出土遺物観察表 ……281

(第2分冊)

第51表	第5号方形周溝墓出土遺物観察表 ……219	第87表	第104号住居跡出土遺物観察表 ……282
第52表	第6号方形周溝墓出土遺物観察表 ……222	第88表	第28号掘立柱建物跡出土遺物観察表 ……287
第53表	第7号方形周溝墓出土遺物観察表 ……223	第89表	第29号掘立柱建物跡出土遺物観察表 ……288
第54表	第8号方形周溝墓出土遺物観察表 ……224	第90表	第30号掘立柱建物跡出土遺物観察表 ……289
第55表	第9号方形周溝墓出土遺物観察表 ……226	第91表	第31号掘立柱建物跡出土遺物観察表 ……290
第56表	第13号方形周溝墓出土遺物観察表 ……227	第92表	第32号掘立柱建物跡出土遺物観察表 ……291
第57表	第68号住居跡出土遺物観察表 ……231	第93表	第33号掘立柱建物跡出土遺物観察表 ……295
第58表	第69号住居跡出土遺物観察表 ……232	第94表	第37号掘立柱建物跡出土遺物観察表 ……297
第59表	第70号住居跡出土遺物観察表 ……233	第95表	第41号掘立柱建物跡出土遺物観察表 ……301
第60表	第71号住居跡出土遺物観察表 ……234	第96表	第43号掘立柱建物跡出土遺物観察表 ……302
第61表	第72号住居跡出土遺物観察表 ……235	第97表	第47号掘立柱建物跡出土遺物観察表 ……304
第62表	第74号住居跡出土遺物観察表 ……238	第98表	第216号井戸跡井戸枿材観察表 ……363
第63表	第75号住居跡出土遺物観察表 ……239	第99表	井戸跡出土遺物観察表 (1) ……419
第64表	第79号住居跡出土遺物観察表 ……241	第100表	井戸跡出土遺物観察表 (2) ……420
第65表	第80 a・80 b・80 c号住居跡出土遺物観察表 ……247	第101表	井戸跡出土遺物観察表 (3) ……421
第66表	第81号住居跡出土遺物観察表 ……249	第102表	井戸跡出土遺物観察表 (4) ……422
第67表	第82号住居跡出土遺物観察表 (1) ……252	第103表	井戸跡出土遺物観察表 (5) ……423
第68表	第82号住居跡出土遺物観察表 (2) ……253	第104表	井戸跡出土遺物観察表 (6) ……424
第69表	第83号住居跡出土遺物観察表 ……254	第105表	井戸跡出土遺物観察表 (7) ……425
第70表	第84号住居跡出土遺物観察表 ……256	第106表	井戸跡出土遺物観察表 (8) ……426
第71表	第85号住居跡出土遺物観察表 ……257	第107表	井戸跡出土遺物観察表 (9) ……427
第72表	第86号住居跡出土遺物観察表 ……258	第108表	井戸跡出土遺物観察表 (10) ……428
第73表	第87号住居跡出土遺物観察表 ……259	第109表	井戸跡出土遺物観察表 (11) ……429
第74表	第88号住居跡出土遺物観察表 (1) ……262	第110表	第5号円形周溝状遺構出土遺物観察表 ……432
第75表	第88号住居跡出土遺物観察表 (2) ……263	第111表	土坑出土遺物観察表 (1) ……509
		第112表	土坑出土遺物観察表 (2) ……510

第113表	土坑出土遺物観察表 (3) ……………	511	第145表	溝跡出土遺物観察表 (2) ……………	711
第114表	土坑出土遺物観察表 (4) ……………	512	第146表	溝跡出土遺物観察表 (3) ……………	712
<b>(第3分冊)</b>					
第115表	ピット一覧表 (1) ……………	532	第147表	溝跡出土遺物観察表 (4) ……………	713
第116表	ピット一覧表 (2) ……………	533	第148表	溝跡出土遺物観察表 (5) ……………	714
第117表	ピット一覧表 (3) ……………	534	第149表	溝跡出土遺物観察表 (6) ……………	715
第118表	ピット一覧表 (4) ……………	535	第150表	溝跡出土遺物観察表 (7) ……………	716
第119表	ピット一覧表 (5) ……………	536	第151表	溝跡出土遺物観察表 (8) ……………	717
第120表	ピット一覧表 (6) ……………	537	第152表	溝跡出土遺物観察表 (9) ……………	718
第121表	ピット一覧表 (7) ……………	538	第153表	溝跡出土遺物観察表 (10) ……………	719
第122表	ピット一覧表 (8) ……………	539	第154表	溝跡出土遺物観察表 (11) ……………	720
第123表	ピット一覧表 (9) ……………	540	第155表	溝跡出土遺物観察表 (12) ……………	721
第124表	ピット一覧表 (10) ……………	541	第156表	溝跡出土遺物観察表 (13) ……………	722
第125表	ピット一覧表 (11) ……………	542	第157表	溝跡出土遺物観察表 (14) ……………	723
第126表	ピット一覧表 (12) ……………	543	第158表	溝跡出土遺物観察表 (15) ……………	724
第127表	ピット一覧表 (13) ……………	544	第159表	溝跡出土遺物観察表 (16) ……………	725
第128表	ピット一覧表 (14) ……………	545	第160表	溝跡出土遺物観察表 (17) ……………	726
第129表	ピット一覧表 (15) ……………	546	第161表	溝跡出土遺物観察表 (18) ……………	727
第130表	ピット一覧表 (16) ……………	547	第162表	溝跡出土遺物観察表 (19) ……………	728
第131表	ピット一覧表 (17) ……………	548	第163表	第1号道路状遺構出土遺物観察表 ……	733
第132表	ピット一覧表 (18) ……………	549	第164表	第2号道路状遺構出土遺物観察表 ……	735
第133表	ピット一覧表 (19) ……………	550	第165表	グリッド・表採出土遺物観察表 (1) ……	753
第134表	ピット一覧表 (20) ……………	551	第166表	グリッド・表採出土遺物観察表 (2) ……	754
第135表	ピット一覧表 (21) ……………	552	第167表	グリッド・表採出土遺物観察表 (3) ……	755
第136表	ピット一覧表 (22) ……………	553	第168表	グリッド・表採出土遺物観察表 (4) ……	756
第137表	ピット一覧表 (23) ……………	554	第169表	グリッド・表採出土遺物観察表 (5) ……	757
第138表	ピット一覧表 (24) ……………	555	第170表	グリッド・表採出土遺物観察表 (6) ……	758
第139表	ピット一覧表 (25) ……………	556	第171表	土師器分類組成表 ……………	772
第140表	ピット出土遺物観察表 ……………	562	第172表	県内出土の主な線刻紡錘車一覧 ……	774
第141表	第8号火葬土坑出土遺物観察表 ……	569	第173表	下田町遺跡出土灰釉・緑釉陶器産地 ……	778
第142表	第21号火葬土坑出土遺物観察表 ……	575	第174表	下田町遺跡火葬土坑一覧表 ……………	780
第143表	第372号・第80号溝跡出土遺物組成表 ……	655	第175表	埼玉県内の火葬土坑一覧表 (1) ……	782
第144表	溝跡出土遺物観察表 (1) ……………	710	第176表	埼玉県内の火葬土坑一覧表 (2) ……	783

# 図版目次

## (第1分冊)

図版 1	調査区全景 (上が北)	第121号井戸跡
図版 2	調査区全景 (南から) 調査区南西隅	第123号井戸跡 第126号井戸跡
図版 3	第52号住居跡 (南から) 第54号住居跡 (東から) 第55号住居跡 (南から) 第55号住居跡カマド 第56号住居跡 (南から) 第59号住居跡 (東から) 第60号住居跡 (南から)	第158号土坑 第171号土坑 図版 8 第176号土坑 第179号土坑 第181号土坑 第181号土坑遺物出土状況 P 1065 P 1066 P 1110 P 1292
図版 4	第62号住居跡 (南から) 第62号住居跡カマド 第63号住居跡 (北から) 第64号住居跡 (南から) 第65号住居跡 (北から) 第65号住居跡 (南から) 第66号住居跡 (南から) 第67号住居跡 (東から)	図版 9 第80号溝跡 (東から) 第80号溝跡 (西から) 図版10 第80号溝跡遺物出土状況 第80号溝跡遺物出土状況 第21号溝跡遺物出土状況 第85号溝跡遺物出土状況 第95号溝跡 (東から)
図版 5	第22号掘立柱建物跡 (東から) 第23・27号掘立柱建物跡 (南から) 第24号掘立柱建物跡 (東から) 第25号掘立柱建物跡 (東から) 第26号掘立柱建物跡 (南から)	図版11 第95号溝跡遺物出土状況 第168号溝跡遺物出土状況 第213・220号溝跡 第182号溝跡 第224号溝跡
図版 6	第85号井戸跡 第86号井戸跡 第91号井戸跡 第95号井戸跡 第100号井戸跡 第107号井戸跡 第103号井戸跡 第103号井戸跡	図版12 第54号住居跡出土遺物 第55号住居跡出土遺物 第58号住居跡出土遺物 第62号住居跡出土遺物 第64号住居跡出土遺物
図版 7	第115号井戸跡 第116号井戸跡 第120号井戸跡	図版13 第64号住居跡出土遺物 第67号住居跡出土遺物 第23号掘立柱建物跡出土遺物 第27号掘立柱建物跡出土遺物 第85号井戸跡出土遺物



	第86号井戸跡出土遺物	図版33	第85号溝跡出土遺物
	第87号井戸跡出土遺物		第94号溝跡出土遺物
	第89号井戸跡出土遺物	図版34	第95号溝跡出土遺物
図版14	第91号井戸跡出土遺物	図版35	第127号溝跡出土遺物
	第92号井戸跡出土遺物		第162号溝跡出土遺物
	第95号井戸跡出土遺物	図版36	第162号溝跡出土遺物
図版15	第95号井戸跡出土遺物		第163号溝跡出土遺物
図版16	第98号井戸跡出土遺物		第169号溝跡出土遺物
	第100号井戸跡出土遺物	図版37	第169号溝跡出土遺物
図版17	第103号井戸跡出土遺物		第163号溝跡出土遺物
図版18	第103号井戸跡出土遺物	図版38	第169号溝跡出土遺物
図版19	第115号井戸跡出土遺物		第163号溝跡出土遺物
	第103号井戸跡出土井戸枿材	図版39	第171号溝跡出土遺物
図版20	第114号井戸跡出土遺物		第175号溝跡出土遺物
	第121号井戸跡出土遺物		第177号溝跡出土遺物
	第115号井戸跡出土遺物		第179号溝跡出土遺物
	第162号土坑出土遺物	図版40	第179号溝跡出土遺物
	第128号井戸跡出土遺物		第187号溝跡出土遺物
	第162号土坑出土遺物		第202号溝跡出土遺物
図版21	第168号土坑出土遺物		第207号溝跡出土遺物
	第171号土坑出土遺物		第213号溝跡出土遺物
図版22	第171号土坑出土遺物		第214号溝跡出土遺物
	第175号土坑出土遺物	図版41	第218・219号溝跡出土遺物
	第176号土坑出土遺物		第218号溝跡出土遺物
	第181号土坑出土遺物		第233号溝跡出土遺物
図版23	第179号土坑出土木器		第238号溝跡出土遺物
	第181号土坑出土遺物		第244号溝跡出土遺物
図版24	第181号土坑出土遺物	図版42	第220号溝跡出土遺物
図版25	ピット出土遺物		第253号溝跡出土遺物
図版26	第21号溝跡出土遺物	図版43	グリッド・表採出土遺物
図版27	第80号溝跡出土遺物	図版44	土錘
図版28	第80号溝跡出土遺物		土錘
図版29	第80号溝跡出土遺物		管玉
図版30	第80号溝跡出土遺物		紡錘車
図版31	第80号溝跡出土遺物		青磁 (外面)
図版32	第80号溝跡出土木器		青磁 (内面)
	第327号溝跡出土木器	図版45	石製模造品

	土錘		第6号方形周溝墓
図版46	緑釉陶器 (外面) 緑釉陶器 (内面)	図版61	第7号方形周溝墓 第8号方形周溝墓
図版47	灰釉陶器 1 (外面) 灰釉陶器 1 (内面)	図版62	第6号方形周溝墓 (東側周溝) 第7号方形周溝墓 (東側周溝) 第8号方形周溝墓 (東側周溝) 第8号方形周溝墓 (北側周溝)
図版48	灰釉陶器 2 (外面) 灰釉陶器 2 (内面)		第9号方形周溝墓 (北側周溝) 第9号方形周溝墓 (南側周溝)
図版49	瓦 (外面) 瓦 (内面)		第9号方形周溝墓 (北側周溝西から) 第9号方形周溝墓 (東側周溝)
図版50	羽口・鉄滓 砥石	図版63	第9号方形周溝墓 第13号方形周溝墓
図版51	土師器 打製石芹	図版64	第68号住居跡 第69号住居跡
図版52	獣骨 1 獣骨 2	図版65	第69～71・75・78号住居跡 第70・76号住居跡
<b>(写真図版)</b>		図版66	第71号住居跡 第72号住居跡
図版53	第3次調査西区全景 (西から) 第3次調査西区全景 (南から)	図版67	第74号住居跡 第73号住居跡カマド 第74号住居跡カマド遺物出土状況
図版54	東区全景 (南から) 東区全景 (西から)		第74号住居跡カマド 第75号住居跡
図版55	西区全景 (西から) 西区掘立柱建物跡群	図版68	第75・77号住居跡 第79号住居跡
図版56	第3次西区一面全景 (南から) 第3次西区一面全景 (北から)	図版69	第80a・80b・80c号住居跡遺物出土状況 1 第80a号住居跡カマド 第80a・80b・80c号住居跡遺物出土状況 2 第80a・80b・80c号住居跡遺物出土状況 3 第80a・80b・80c号住居跡遺物出土状況 4
図版57	第3次東区全景 (北から) 第3次東区全景 (東から)	図版70	第80a・80b・80c号住居跡 第80a・80b・80c号住居跡 P1 第80a・80b・80c号住居跡 P4
図版58	第3次西区一面全景 (北から) 第3次西区一面全景 (南東から) 第3次西区一面全景 (東から) 第3次西区一面全景 (南から) 第3次東区全景 (北から) 第3次東区全景 (南東から) 第3次東区全景 (東から) 第3次東区全景 (北東から)		第81号住居跡カマド 第81号住居跡貯蔵穴遺物出土状況
図版59	西区方形周溝墓群 第5・6号方形周溝墓	図版71	第81号住居跡
図版60	第5号方形周溝墓		

	第82号住居跡	第32号掘立柱建物跡	P 8 (1)
図版72	第82号住居跡	第32号掘立柱建物跡	P 8 (2)
	第82号住居跡カマド	第33号掘立柱建物跡	
	第82号住居跡貯蔵穴	図版87	第37・38号掘立柱建物跡
	第84号住居跡カマド		第41号掘立柱建物跡
	第85号住居跡カマド	図版88	第43号掘立柱建物跡
図版73	第83号住居跡		第45号掘立柱建物跡
	第84・85号住居跡	図版89	第46号掘立柱建物跡
図版74	第86号住居跡		第49号掘立柱建物跡
	第87号住居跡	図版90	第5号柱穴列
図版75	第88号住居跡		第132号井戸跡
	第89号住居跡		第134号井戸跡
図版76	第91号住居跡		第135号井戸跡
	第92号住居跡		第136号井戸跡
図版77	第92号住居跡カマド		第137号井戸跡
	第93号住居跡		第138号井戸跡
図版78	第95号住居跡		第139号井戸跡
	第95号住居跡遺物出土状況	図版91	第140号井戸跡
	第96号住居跡カマド		第141号井戸跡
	第96号住居跡遺物出土状況 1		第142号井戸跡
	第96号住居跡遺物出土状況 2		第143号井戸跡
図版79	第96号住居跡遺物出土状況 3		第144号井戸跡
	第96号住居跡		第145号井戸跡
図版80	第97号住居跡		第146号井戸跡
	第98号住居跡		第147号井戸跡
図版81	第99号住居跡	図版92	第148号井戸跡
	第100号住居跡		第149号井戸跡
図版82	第101号住居跡		第150号井戸跡
	第101号住居跡カマド		第151号井戸跡
図版83	第28号掘立柱建物跡		第152号井戸跡
	第29号掘立柱建物跡		第153号井戸跡
図版84	第30号掘立柱建物跡		第154号井戸跡遺物出土状況
	第30号掘立柱建物跡 P 8		第154号井戸跡
図版85	第31号掘立柱建物跡	図版93	第155号井戸跡
	第32号掘立柱建物跡		第156号井戸跡
図版86	第32号掘立柱建物跡 P 6		第157号井戸跡
	第32号掘立柱建物跡 P 9		第158号井戸跡

	第159号井戸跡		第199号井戸跡
	第160号井戸跡		第200号井戸跡
	第161号井戸跡		第202号井戸跡
	第162号井戸跡		第204号井戸跡
図版94	第163号井戸跡		第205号井戸跡
	第164号井戸跡		第206号井戸跡
	第165号井戸跡		第207号井戸跡
	第166号井戸跡	図版99	第208号井戸跡
	第167号井戸跡		第209号井戸跡
	第169号井戸跡		第210号井戸跡
	第170号井戸跡		第211号井戸跡木製漆塗椀出土状況
	第171号井戸跡		第211号井戸跡遺物出土状況
図版95	第172号井戸跡		第211号井戸跡
	第173号井戸跡		第212号井戸跡
	第174号井戸跡		第213号井戸跡井戸枳検出状況
	第175号井戸跡	図版100	第213号井戸跡井戸枳出土状況
	第176号井戸跡		第213号井戸跡曲物出土状況 (1)
	第179号井戸跡		第213号井戸跡曲物出土状況 (2)
	第181号井戸跡遺物出土状況		第215号井戸跡
	第181号井戸跡		第216号井戸跡断面 (北から)
図版96	第183・187号井戸跡		第216号井戸跡井戸枳検出状況
	第184号井戸跡遺物出土状況 (1)		第216号井戸跡井戸枳半裁状況 (1)
	第184号井戸跡遺物出土状況 (2)		第216号井戸跡井戸枳半裁状況 (2)
	第184号井戸跡遺物出土状況 (3)	図版101	第216号井戸跡井戸枳検出状況
	第184号井戸跡遺物出土状況 (4)		第216号井戸跡井戸枳組状況 (1)
	第184号井戸跡		第216号井戸跡井戸枳組状況 (2)
	第185・186号井戸跡		第216号井戸跡井戸枳組状況 (3)
	第188号井戸跡		第217号井戸跡
図版97	第189号井戸跡		第218号井戸跡
	第190号井戸跡		第219号井戸跡遺物出土状況
	第191号井戸跡		第219号井戸跡
	第192号井戸跡	図版102	第221号井戸跡
	第193号井戸跡		第222号井戸跡遺物出土状況 (1)
	第194・195号井戸跡		第222号井戸跡遺物出土状況 (2)
	第196号井戸跡		第222号井戸跡遺物出土状況 (3)
	第197号井戸跡		第222号井戸跡
図版98	第198号井戸跡		第223号井戸跡



	第225号井戸跡		第263号井戸跡
	第226号井戸跡		第265号井戸跡
図版103	第227号井戸跡		第266号井戸跡
	第228号井戸跡		第268号井戸跡
	第230号井戸跡		第269号井戸跡
	第231号井戸跡遺物出土状況	図版108	第270・271・272・273号井戸跡
	第231号井戸跡		第274号井戸跡
	第232号井戸跡		第277・278号井戸跡
	第233号井戸跡		第279号井戸跡
	第234号井戸跡		第280・285号井戸跡
図版104	第235号井戸跡		第281号井戸跡
	第236号井戸跡		第283号井戸跡
	第237号井戸跡		第284号井戸跡
	第239号井戸跡	図版109	第286号井戸跡断面
	第240号井戸跡		第286号井戸跡曲物出土状況
	第241号井戸跡遺物出土状況		第287号井戸跡
	第241号井戸跡		第288号井戸跡
	第242号井戸跡		第289号井戸跡
図版105	第243号井戸跡		第290号井戸跡
	第244号井戸跡		第291号井戸跡
	第245号井戸跡		第292号井戸跡遺物出土状況
	第246号井戸跡木製漆塗椀出土状況	図版110	第292号井戸跡
	第246号井戸跡		第293号井戸跡遺物出土状況
	第247号井戸跡		第293号井戸跡
	第248・249号井戸跡		第294号井戸跡
	第250号井戸跡		第295号井戸跡
図版106	第251号井戸跡		第297号井戸跡
	第252号井戸跡		第298号井戸跡遺物出土状況
	第254号井戸跡		第298号井戸跡
	第255号井戸跡	図版111	第299号井戸跡
	第256号井戸跡		第300号井戸跡
	第257号井戸跡		第301号井戸跡
	第258号井戸跡		第302号井戸跡
	第257・258号井戸跡		第5号円形周溝状遺構
図版107	第259号井戸跡	図版112	第197号土坑
	第260号井戸跡		第200号土坑
	第261号井戸跡		第201号土坑

	第202号土坑	图版117	第282号土坑
	第203号土坑		第285号土坑炭化物出土状况
	第204·205号土坑		第285号土坑
	第206号土坑		第290号土坑
	第207号土坑		第292号土坑
图版113	第209号土坑		第293号土坑
	第210·212号土坑		第298号土坑
	第211号土坑		第300号土坑
	第212号土坑	图版118	第301号土坑
	第213号土坑		第306号土坑
	第215号土坑		第307号土坑
	第216·217号土坑		第308号土坑
	第218号土坑		第309号土坑
图版114	第220号土坑		第310号土坑
	第221号土坑		第311号土坑
	第224号土坑		第313号土坑
	第226·227号土坑	图版119	第322号土坑
	第228号土坑		第322号土坑遺物出土状况
	第229号土坑		第324号土坑
	第230·231号土坑		第327号土坑
	第232号土坑		第328号土坑
图版115	第233号土坑		第329号土坑
	第234号土坑		第332·333号土坑
	第236号土坑		第334号土坑
	第237号土坑	图版120	第336号土坑
	第238号土坑		第337号土坑
	第239号土坑		第338号土坑
	第243号土坑		第339号土坑
	第246号土坑		第340号土坑
图版116	第253号土坑		第341号土坑
	第247·255号土坑		第342号土坑
	第268号土坑		第343号土坑
	第270号土坑	图版121	第344号土坑
	第274号土坑		第345号土坑
	第276号土坑		第349号土坑
	第281号土坑		第350号土坑
	第288号土坑		第351号土坑

	第360号土坑		第494号土坑
	第363号土坑		第496号土坑
	第364号土坑		第497号土坑
图版122	第371号土坑		第502号土坑
	第379号土坑		第503号土坑
	第383号土坑		第504号土坑
	第385号土坑	图版127	第508号土坑
	第389号土坑		第511号土坑
	第393·394号土坑		第512号土坑
	第397号土坑		第516号土坑
	第404号土坑		第516号土坑遺物出土状况
图版123	第404号土坑遺物出土状况		第517号土坑
	第412号土坑遺物出土状况		第522号土坑
	第412号土坑		第523号土坑
	第413号土坑	图版128	第528·530号土坑
	第424号土坑		第536号土坑
	第437号土坑		第540号土坑
	第445号土坑		第541号土坑
	第452号土坑		第547号土坑
图版124	第454号土坑		第548号土坑
	第457号土坑		第549号土坑
	第458号土坑		第561号土坑
	第460号土坑	图版129	F 22G P 15
	第461号土坑		F 22G P 32
	第469号土坑		F 22G P 38
	第464号土坑		E 21G P 1
	第471号土坑		H 20G P 1
图版125	第474号土坑		H 20G P 2
	第475号土坑		H 26G P 12
	第477号土坑		I 26G P 4
	第480号土坑		J 20G P 18 柱材出土状况
	第481号土坑		J 20G P 18
	第482号土坑		K 19G P 4
	第484号土坑		K 20G P 1
	第485·486·487号土坑	图版130	L 18G P 3
图版126	第492号土坑		L 23G P 65
	第493号土坑		M 22G P 21

	M23G P 124		第14号火葬土坑
	M23G P 152		第15号火葬土坑検出状況
	M24G P 43		第15号火葬土坑遺物出土状況
	H24G P 44		第15号火葬土坑
	M24G P 98	図版134	第16号火葬土坑検出状況
	M24G P 105		第16号火葬土坑遺物出土状況
	M24G P 118		第16号火葬土坑
	N24G P 52		第17号火葬土坑検出状況
	N24G P 129		第17号火葬土坑遺物出土状況
図版131	第3号火葬土坑		第17号火葬土坑
	第4号火葬土坑検出状況		第18号火葬土坑検出状況
	第4号火葬土坑遺物出土状況		第18号火葬土坑遺物出土状況
	第4号火葬土坑		第18号火葬土坑
	第5号火葬土坑		第19号火葬土坑検出状況
	第5号火葬土坑 焼けた壁検出状況		第19号火葬土坑遺物出土状況
	第6号火葬土坑		第19号火葬土坑
	第6号火葬土坑遺物出土状況	図版135	第20号火葬土坑確認状況
図版132	第7号火葬土坑検出状況		第20号火葬土坑遺物出土状況
	第7号火葬土坑遺物出土状況		第20号火葬土坑
	第7号火葬土坑		第21号火葬土坑確認
	第8号火葬土坑検出状況		第21号火葬土坑遺物出土状況
	第8号火葬土坑遺物出土状況		第21号火葬土坑
	第8号火葬土坑		第22号火葬土坑確認状況
	第9号火葬土坑検出状況		第22号火葬土坑遺物出土状況
	第9号火葬土坑遺物出土状況		第22号火葬土坑
	第9号火葬土坑		第23号火葬土坑確認状況
	第11号火葬土坑検出状況		第23号火葬土坑遺物出土状況
	第11号火葬土坑壁面検出状況		第23号火葬土坑
	第11号火葬土坑	図版136	第24号火葬土坑遺物出土状況
図版133	第12号火葬土坑検出状況		第24号火葬土坑
	第12号火葬土坑遺物出土状況		第25号火葬土坑遺物出土状況
	第12号火葬土坑		第25号火葬土坑
	第13号火葬土坑検出状況		第26号火葬土坑遺物出土状況
	第13号火葬土坑遺物出土状況		第26号火葬土坑
	第13号火葬土坑		第27号火葬土坑確認状況
	第14号火葬土坑検出状況		第27号火葬土坑
	第14号火葬土坑遺物出土状況	図版137	第2・4号溝跡



	第2・4号溝跡		第286号溝跡遺物出土狀況
図版138	第2・4号溝跡	図版145	第287号溝跡遺物出土狀況
	第2・4号溝跡		第288・289号溝跡
図版139	第2・4号溝跡		第290号溝跡
	第2号溝跡		第293号溝跡
	第4号溝跡		第296号溝跡
	第2号溝跡遺物出土狀況		第283・297号溝跡
	第2号溝跡遺物出土狀況		第314号溝跡
図版140	第4号溝跡遺物出土狀況	図版146	第130・301・302号溝跡
	第4号溝跡遺物出土狀況		第302・301・130号溝跡
	第127号溝跡		第302・304号溝跡
	第180号溝跡遺物出土狀況		第304号溝跡
	第180号溝跡		第309・310号溝跡
図版141	第270号溝跡	図版147	第318号溝跡
	第270号溝跡		第320号溝跡
	第270号溝跡遺物出土狀況		第321号溝跡
	第275号溝跡遺物出土狀況		第322号溝跡
	第276号溝跡		第321号溝跡
図版142	第278号溝跡	図版148	第327・337号溝跡
	第278号溝跡		第325号溝跡
	第278号溝跡		第325号溝跡
	第2・278号溝跡		第325号溝跡
	第280号溝跡		第326・334号溝跡
	第281号溝跡	図版149	第328・329号溝跡
	第281号溝跡遺物出土狀況		第332・333号溝跡
	第282号溝跡		第343号溝跡遺物出土狀況
図版143	第286号溝跡		第346号溝跡
	第286号溝跡遺物出土狀況		第349号溝跡
	第286号溝跡遺物出土狀況		第348号溝跡
	第286号溝跡遺物出土狀況		第353・347号溝跡
図版144	第286号溝跡遺物出土狀況		第369号溝跡
	第286号溝跡遺物出土狀況	図版150	第372号溝跡
	第286号溝跡遺物出土狀況		第372号溝跡遺物出土狀況
	第286号溝跡遺物出土狀況		第372号溝跡遺物出土狀況
	第286号溝跡遺物出土狀況		第372号溝跡遺物出土狀況
	第286号溝跡遺物出土狀況	図版151	第372号溝跡遺物出土狀況
	第286号溝跡遺物出土狀況		

	第372号溝跡遺物出土狀況		第91号住居跡出土遺物
	第372号溝跡遺物出土狀況	図版162	第95号住居跡出土遺物
	第372号溝跡遺物出土狀況		第96号住居跡出土遺物
	第372号溝跡遺物出土狀況		第101号住居跡出土遺物
	第375号溝跡遺物出土狀況	図版163	第32号掘立柱建物跡出土遺物
	第442号溝跡遺物出土狀況		G21G P2出土遺物
	第451号溝跡遺物出土狀況		F21G P52出土遺物
図版152	第485号溝跡	図版164	第137号井戸跡出土遺物
	第486・488号溝跡遺物出土狀況		第138号井戸跡出土遺物
図版153	第489号溝跡		第147号井戸跡出土遺物
	第489号溝跡遺物出土狀況		第148号井戸跡出土遺物
	第490・491号溝跡		第155号井戸跡出土遺物
	第491号溝跡遺物出土狀況		第164号井戸跡出土遺物
	第493号溝跡		第154号井戸跡出土遺物
図版154	第498号溝跡	図版165	第171号井戸跡出土遺物
	第499号溝跡		第170号井戸跡出土遺物
	第559号溝跡		第175号井戸跡出土遺物
	第542号溝跡遺物出土狀況		第184号井戸跡出土遺物
	第542号溝跡		第180号井戸跡出土遺物
図版155	東区調査区全景	図版166	第184号井戸跡出土遺物
	第2号道路状遺構	図版167	第184号井戸跡出土遺物
図版156	第1号道路状遺構		第191号井戸跡出土遺物
	第1号道路状遺構		第195号井戸跡出土遺物
	第1号道路状遺構		第188号井戸跡出土遺物
	第1号道路状遺構	図版168	第191号井戸跡出土遺物
	第1号道路状遺構		第211号井戸跡出土遺物
図版157	第5号方形周溝墓出土遺物		第196号井戸跡出土遺物
	第6号方形周溝墓出土遺物		第213号井戸跡出土遺物
図版158	第74号住居跡出土遺物		第207号井戸跡出土遺物
	第80号住居跡出土遺物	図版169	第213号井戸跡出土遺物
	第81号住居跡出土遺物	図版170	第216号井戸跡出土遺物
図版159	第81号住居跡出土遺物	図版171	第216号井戸跡出土遺物
	第82号住居跡出土遺物	図版172	第216号井戸跡出土遺物
図版160	第82号住居跡出土遺物	図版173	第219号井戸跡出土遺物
図版161	第84号住居跡出土遺物		第222号井戸跡出土遺物
	第85号住居跡出土遺物	図版174	第222号井戸跡出土遺物
	第88号住居跡出土遺物	図版175	第222号井戸跡出土遺物

凶版176	第224号井戸跡出土遺物		第389号土坑出土遺物
	第225号井戸跡出土遺物		第393号土坑出土遺物
	第223号井戸跡出土遺物		第395号土坑出土遺物
	第231号井戸跡出土遺物	凶版184	第404号土坑出土遺物
凶版177	第231号井戸跡出土遺物		第412号土坑出土遺物
	第233号井戸跡出土遺物		第418号土坑出土遺物
	第235号井戸跡出土遺物		第440号土坑出土遺物
	第243号井戸跡出土遺物		第463号土坑出土遺物
	第257号井戸跡出土遺物	凶版185	第472号土坑出土遺物
	第258号井戸跡出土遺物		第516号土坑出土遺物
凶版178	第234号井戸跡出土遺物		第488号土坑出土遺物
	第236号井戸跡出土遺物		第530号土坑出土遺物
	第241号井戸跡出土遺物		第525号土坑出土遺物
	第245号井戸跡出土遺物		第553号土坑出土遺物
	第256号井戸跡出土遺物	凶版186	F 23G P 8出土遺物
	第246号井戸跡出土遺物		E 23G P 17出土遺物
凶版179	第264号井戸跡出土遺物		M22G P 146出土遺物
	第263号井戸跡出土遺物		H21G P 61出土遺物
	第268号井戸跡出土遺物		M23G P 68出土遺物
	第276号井戸跡出土遺物		F 23G P 4出土遺物
凶版180	第286号井戸跡出土遺物		F 23G P 11出土遺物
	第287号井戸跡出土遺物		P 23G P 16出土遺物
凶版181	第288号井戸跡出土遺物	凶版187	H22G P 25出土遺物
	第294号井戸跡出土遺物		E 19G P 2出土遺物
	第292号井戸跡出土遺物		F 23G P 2出土遺物
	第298号井戸跡出土遺物		L 22G P 136出土遺物
凶版182	第199号土坑出土遺物	凶版188	第 2 号溝跡出土遺物
	第226・227号土坑出土遺物		第275号溝跡出土遺物
	第276号土坑出土遺物		第130号溝跡出土遺物
	第280号土坑出土遺物		第276号溝跡出土遺物
	第301号土坑出土遺物		第270号溝跡出土遺物
	第309号土坑出土遺物		第281号溝跡出土遺物
	第322号土坑出土遺物		第 4 号溝跡出土遺物
	第336号土坑出土遺物	凶版189	第286号溝跡出土遺物
凶版183	第341号土坑出土遺物	凶版190	第286号溝跡出土遺物
	第352号土坑出土遺物	凶版191	第286号溝跡出土遺物
	第379号土坑出土遺物	凶版192	第286号溝跡出土遺物

図版193	第286号溝跡出土遺物	灰釉陶器 4
図版194	第286号溝跡出土遺物	図版215 灰釉陶器 5
図版195	第286号溝跡出土遺物	灰釉陶器 6
図版196	第286号溝跡出土遺物	図版216 灰釉陶器 7
図版197	第286号溝跡出土遺物	灰釉陶器 8
	第287号溝跡出土遺物	図版217 土師器 甕 1
	第290号溝跡出土遺物	土師器 甕 2
図版198	第325号溝跡出土遺物	図版218 打製石斧 1・打製石斧 2
	第345号溝跡出土遺物	図版219 須恵器 蓋
	第369号溝跡出土遺物	羽釜
図版199	第372号溝跡出土遺物	須恵器 甕 1
図版200	第372号溝跡出土遺物	須恵器 甕 2
図版201	第372号溝跡出土遺物	須恵器 甕 3
図版202	第372号溝跡出土遺物	須恵器 甕 4
図版203	第372号溝跡出土遺物	須恵器 甕 5
図版204	第372号溝跡出土遺物	須恵器 甕 6
図版205	第377号溝跡出土遺物	図版220 石器 1
	第378号溝跡出土遺物	硯
	第488号溝跡出土遺物	砥石 1
	第419号溝跡出土遺物	砥石 2
	第489号溝跡出土遺物	砥石 3
	第442号溝跡出土遺物	土錘
	第485号溝跡出土遺物	鉄滓 1・羽口
図版206	第495号溝跡出土遺物	鉄滓 2・羽口
	第524号溝跡出土遺物	図版221 常滑 1
図版207	グリッド出土遺物	常滑 2
図版208	グリッド出土遺物	鉄滓 1・羽口
図版209	紡錘車	鉄滓 2・羽口
	石製模造品 1	陶器 鉢 1
図版210	石製模造品 2・石製模造品 3	陶器 鉢 2
図版211	緑釉陶器 1	陶器 鉢 3
	緑釉陶器 2	陶器 鉢 4
図版212	中世陶磁器	石器 2
	錢貨	石器 3
図版213	灰釉陶器 1	図版222 鉄製品 1・鉄製品 2
	灰釉陶器 2	図版223 骨 1
図版214	灰釉陶器 3	骨 2



骨 3

骨 4

骨 5

骨 6

骨 7

骨 8

# I 発掘調査の概要

## 1. 発掘調査に至る経過

国土交通省関東地方整備局荒川上流河川事務所では、洪水による被害を防ぐための治水事業として、スーパー堤防事業を行っている。

荒川右岸に面した大里町津田地先地区においても、洪水時における水防活動を支援するための、復旧活動の拠点や大里町公園整備、環境センター、プール、テニスコートなどのスポーツエリアなどを建設して、引き続きスーパー堤防と一体で整備を目指すこととなった。

県教育局生涯学習部文化財保護課では、この事業の推進に伴う埋蔵文化財の保護について、従前より荒川上流河川事務所と事前協議を重ね、調整を図ってきたところである。

当事業にかかる埋蔵文化財包蔵地の取扱いについては、建設省荒川上流工事事務所長（当時）より県教育長あて、平成12年11月13日付け荒上事計第30号で、埋蔵文化財の所在について照会があった。

これに対して文化財保護課では、確認調査を実施したうえで、平成13年1月18日付け教文第871号で、下田町遺跡の取扱いについて次のように回答した。

### 1 埋蔵文化財の所在

工事予定地には以下の埋蔵文化財が存在する。

名称 (No.)	種別	時代	所在地
下田町遺跡 (No.64-055)	集落跡	古墳・平安	大里町大字津田字 下田1542番地他

## 2 取扱い

上記の埋蔵文化財は、現状保存することが望ましいが、事業計画上やむを得ず現状を変更する場合は、事前に文化財保護法第57条3の規定に基づく、埼玉県教育委員会教育長あての発掘通知を提出し、記録保存のための発掘調査を実施すること。

発掘調査については、財団法人埼玉県埋蔵文化財調査事業団が実施機関としてあたることとし、事業団・荒川上流河川事務所・文化財保護課の三者により、調査方法・期間・経費等についての協議が行われた。その結果、調査は平成13年6月1日から平成17年3月31日までの予定で実施されることとなった。

荒川上流河川事務所長から文化財保護法第57条の3の規定による埋蔵文化財発掘通知が提出され、調査に先立ち、第57条1項の規定による発掘調査届が財団法人埼玉県埋蔵文化財調査事業団理事長から提出された。

発掘調査届に対する指示通知番号は、次のとおりである。

平成13年7月1日付け 教文第2-37号

平成14年6月19日付け 教文第2-58号

(文化財保護課)

## 2. 発掘調査と報告書作成の経過

### 発掘調査

国土交通省による大里地区高規格堤防整備事業に伴う下田町遺跡の発掘調査は、平成13年度から平成16年度までの予定で開始された。

平成13年度の調査は、平成13年6月1日から平成14年3月22日まで実施した。調査区は、水路により東西に分断され、工事との兼ね合いから西区を先行して調査し、続いて東区の調査を行った。本書の第1分冊において報告を行うのは、この平成13年度の東区の後半に行った調査成果である。

調査着手前に、あらかじめ事業者によって土留めのためのシートパイルの打ち込みと、調査区内の表土約1mの土取りを行ってもらった。6月の調査準備期間を経て、7月から12月まで西区の調査を進め、引き続き12月から3月にかけて、東区の調査を行った。遺構確認と精査の結果、特に調査区南西半分において、次々に住居跡、掘立柱建物跡、井戸跡、溝跡、土坑、ピット等を検出し、北東端では遺跡の範囲を確認することができた。東区の調査は、平成14年3月5日に空中写真撮影を実施し、調査期間内にすべての作業を終了した。調査においては、遺構精査の後、遺物の出土状況や遺構の写真撮影、図面作成を行い、遺跡の記録保存に万全を期した。

平成14年度の調査は、平成14年5月10日から平成15年3月24日まで実施した。今回本書の第2分冊・第3分冊・写真図版において報告を行うのは、この平成14年度の東区と西区両方の成果である。

前年度と同様、調査着手前に、土留めのためのシートパイル打ち込みと、調査区の表土約1mの掘削を行ってもらった。5月に事務手続き、事務所設置等の調査準備を行い、6月から重機による表土掘削を開始した。その結果、西区では遺構面が2面確認されたため、まず西区から調査に着手した。6月中旬から人力による遺構確認を始め10m方眼の基準点測量を実施し、遺構精査も順次行った。

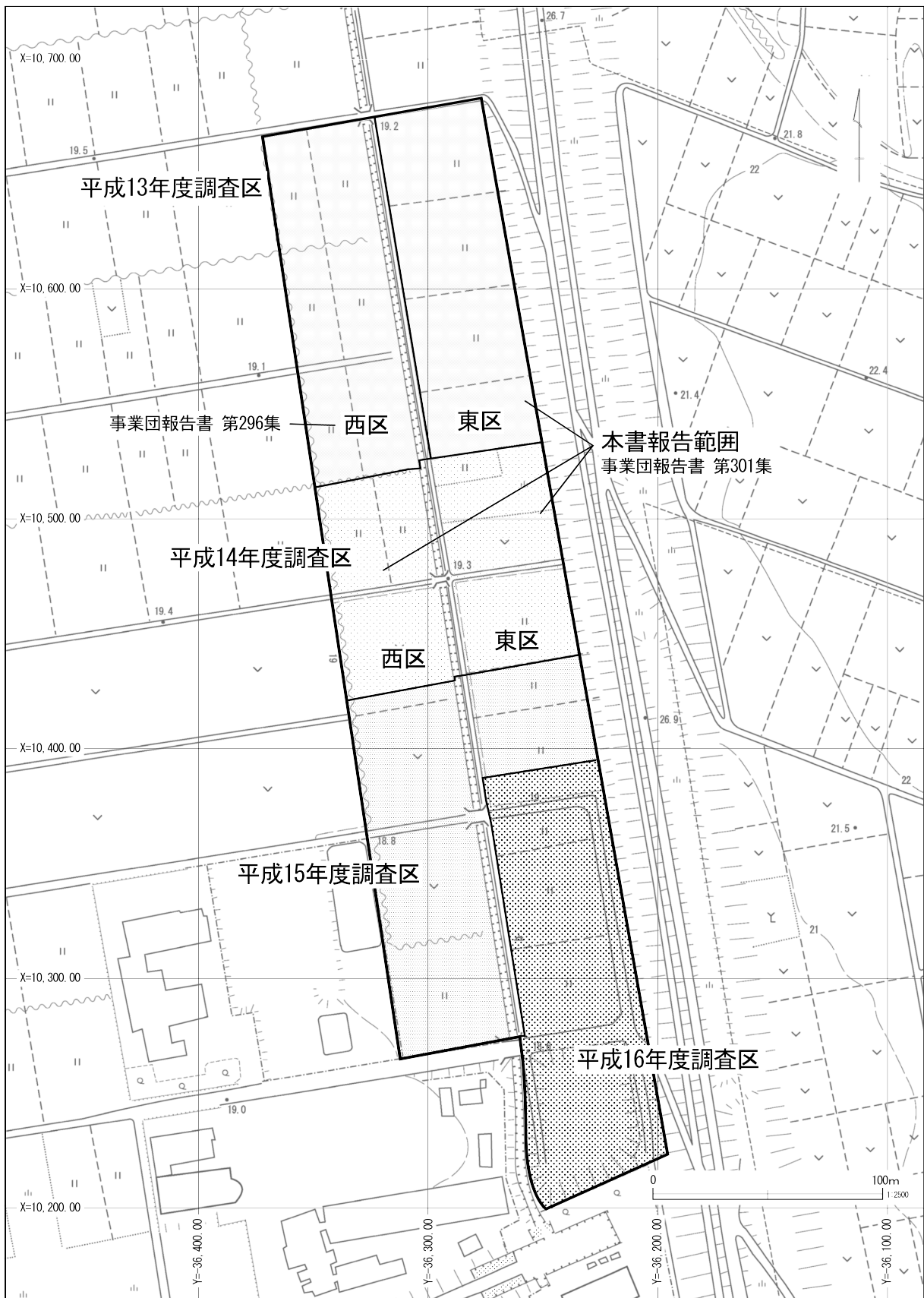
遺構確認と精査の結果、方形周溝墓、住居跡、掘

立柱建物跡、井戸跡、土坑、溝跡、火葬土坑、ピット等を数多く検出した。遺構精査の後、遺物出土状況や遺構の写真撮影および図面作成を行い、遺跡の記録保存に万全を期した。

8月初旬に西区の調査完了後、確認面が1面のみである東区の遺構確認および精査と重機による第二遺構面までの西区の掘削を並行して進めた。東区の1/3の調査を西区一面と同様に終了した8月下旬、東区の調査を一時中断して西区二面の調査に移った。西区二面の調査の際には、再度10m方眼の基準点測量を実施し、同様に遺構確認・精査を行った。

本遺跡は、今年度も埋蔵文化財を教育・普及に活用する場として利用された。11月18日から11月20日には、大里町大里中学校の1年生3名が、職場体験として3日間、下田町遺跡での発掘の仕事を経験した。また、12月14日には、大里町教育委員会・国土交通省・埋蔵文化財センター・埋蔵文化財調査事業団の4者共催による遺跡見学会が開催された。調査で検出された遺構、出土した遺物を見学してもらうだけでなく、見学の後で実際に発掘をしたり、火おこしの体験ができる場も設けた。当日は193名の参加者があり、多くの方々に実際に出土する遺物や遺構という生の資料を目にいただき、地域の歴史に触れ、理解を深めていただく、またとない機会となった。

平成15年1月20日に空中写真撮影を実施し、同日、事業者引渡しを行った。続いて東区の残り2/3も同様に遺構確認および精査を進め、平成15年3月6日に空中写真撮影を行い、調査期間内にすべての作業を終了した。



第1図 下田町遺跡調査区分図

## 整理・報告書の作成

平成15年度の下田町遺跡の整理事業は、平成15年4月8日から平成16年3月24日まで行った。

本書で報告する東区については、西区の整理作業終了後の1月から出土遺物の水洗・注記、接合・復元作業および写真や図面整理を開始した。遺構図については、図面整理の後、第二原図を作成してパソコンに取り込み、パソコンによるトレース作業を行った。遺物についてもパソコンを活用しながら実測を進め、トレースの後、版下の作成を行った。続いて遺物写真の撮影を行い、図面・写真・本文の割付作業と原稿執筆を進めて3月末には大部分の作業を完了し、平成16年度の整理事業で作成する部分の報告書の割付ができるのを待って、平成16年12月には4冊を通しての編集作業に入った。

平成16年度の整理・報告書刊行作業は、平成16年4月8日から平成17年3月24日まで行った。

4月から出土遺物の水洗・注記、接合・復元作業、遺構図及び写真や図面整理を開始した。作業の方法は平成15年度と同様である。遺構図に関しては、図面整理を経て第二原図を作成し、スキャナーで取り込んだ後にパソコンによるトレース作業および土層注記を挿入し編集する作業を進めた。遺物については水洗・注記・接合を経て、9月には実測、10月にはトレースを完了した。復元作業も同時に進め、10月中旬には完了し、遺物の写真撮影を行った。10月に遺物版下作成を開始し、12月に終了。並行して11月から12月にかけて割付作業と原稿執筆を進め、1月に入札。平成17年3月に報告書を刊行した。



大里町大里中学校の1年生3名が職場体験として、発掘の仕事に参加した。3日間、寒い中で、固い地面を土の色を判断しながら掘り、重たい土を運ぶ大変さを経験した。



遺跡見学会では、調査員が遺跡の中を案内しながら解説した後、見学者に溝跡を掘ってもらう機会を設けた。多くの遺物が出土し、見学者は出土品に興味を持ったり、発掘の楽しさ、歴史や考古学の面白さを体験した。





### 3. 発掘調査・整理・報告書刊行の組織

主体者 財団法人 埼玉県埋蔵文化財調査事業団

発掘調査 (平成14年度)

#### (1) 発掘調査 (平成13年度)

理事長 中野 健一  
副理事長 飯塚 誠一郎  
常務理事兼管理部長 大舘 健

(管理部)

管理幹 持田 紀男  
主任 江田 和美  
主任 長滝 美智子  
主任 福田 昭美  
主任 腰塚 雄二  
主任 菊池 久

(調査部)

調査部長 高橋 一夫  
調査部副部長 坂野 和信  
専門調査員(調査第一担当) 村田 健二  
統括調査員 宮井 英一  
統括調査員 赤熊 浩一  
統括調査員 関 義則  
主任調査員 岡本 健一

理事長 桐川 卓雄

副理事長 飯塚 誠一郎

常務理事兼管理部長 大舘 健

(管理部)

管理幹 持田 紀男

主任 江田 和美

主任 長滝 美智子

主任 福田 昭美

主任 腰塚 雄二

主任 菊池 久

(調査部)

調査部長 高橋 一夫

調査部副部長 坂野 和信

専門調査員(調査第一担当) 村田 健二

統括調査員 木戸 春夫

統括調査員 西井 幸雄

統括調査員 瀧瀬 芳之

主任調査員 君島 勝秀

主任調査員 福田 聖

調査員 松岡 有希子

調査員 根岸 洋

(2) 整理作業 (平成15年度)

理 事 長	桐 川 卓 雄
副 理 事 長	飯 塚 誠一郎
常務理事兼管理部長	中 村 英 樹
(管理部)	
副 部 長	村 田 健 二
主 席	田 中 由 夫
主 任	江 田 和 美
主 任	長 滝 美智子
主 任	福 田 昭 美
主 任	腰 塚 雄 二
主 任	菊 池 久
(調査部)	
調 査 部 長	宮 崎 朝 雄
調 査 部 副 部 長	坂 野 和 信
主席調査員(資料整理担当)	金 子 直 行
統 括 調 査 員	赤 熊 浩 一
主 任 調 査 員	岡 本 健 一

整理作業 (平成16年度)

理 事 長	福 田 陽 充
副 理 事 長	飯 塚 誠一郎
常務理事兼管理部長	中 村 英 樹
(管理部)	
副 部 長	村 田 健 二
主 席	田 中 由 夫
主 任	江 田 和 美
	(~6月30日)
主 任	長 滝 美智子
主 任	福 田 昭 美
主 任	菊 池 久
主 事	海老名 健
	(6月1日~)
主 事	石 原 良 子
	(6月1日~)
(調査部)	
調 査 部 長	宮 崎 朝 雄
調 査 部 副 部 長	坂 野 和 信
主席調査員(資料整理担当)	金 子 直 行
統 括 調 査 員	赤 熊 浩 一
調 査 員	松 岡 有 希 子

## II 遺跡の立地と環境

### 1 地理的環境

下田町遺跡は、埼玉県大里郡大里町大字津田字埋田町1775番地他に所在する。埼玉県大里町は、地形的に見て、関東平野のなかでも西縁にあって、関東構造盆地の周縁部と中央部の中間地帯にあたり、荒川中流域右岸に位置し、西にある比企丘陵と荒川に挟まれた低地帯に位置する。

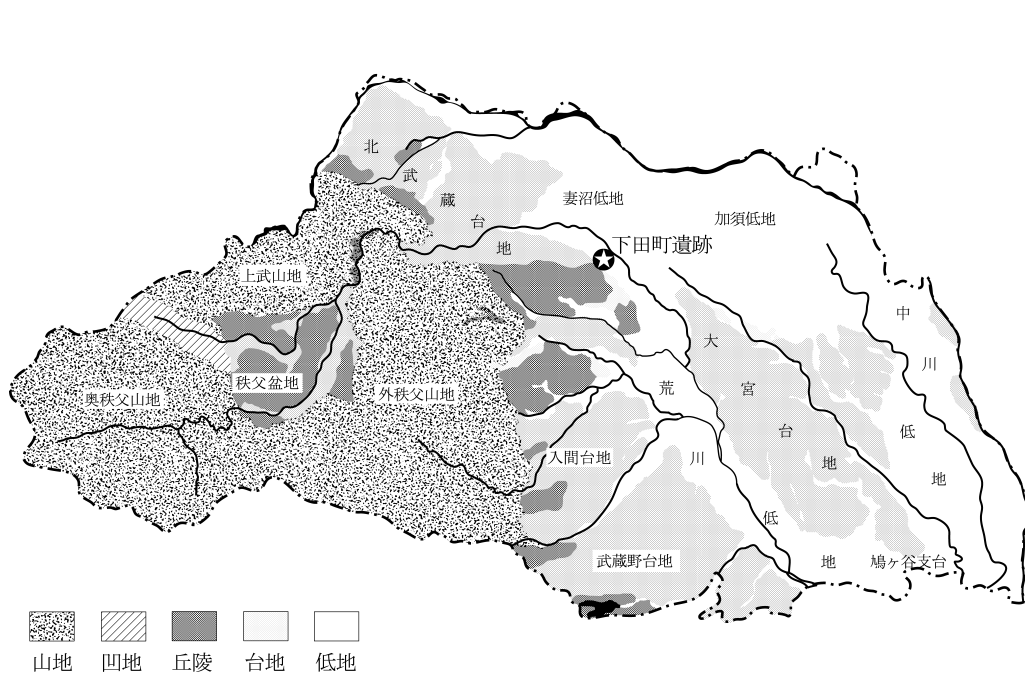
大里町は、近年の宅地化と人口増加もあり、平成13年に町制が施行された。大里町の西側を南北に国道407号線が走る。国道は熊谷市と東松山市を結び、大里町はその中間にあたる。町全体は、畑地と水田の広がる農村地帯である。大里町には鉄道の駅はなく、下田町遺跡は隣町にある JR 高崎線吹上駅から西北西の方向に約2.75kmの位置にある。

西側にある比企丘陵は、荒川右岸に分布する江南台地、吉見丘陵、東松山台地、岩殿丘陵、高坂台地、入間台地などの複数の丘陵の一つである。比企丘陵は、北の江南台地と南の東松山台地に挟まれ、秩父山地の中で秩父盆地より東の山地である外秩父山地から半島状に長く突き出した丘陵である。丘陵の東

縁には二つの段丘面が形成されている。高い方の段丘面Ⅰは最終間氷期に形成された面、低い方の段丘面Ⅱは最終氷期前期に形成された面である。

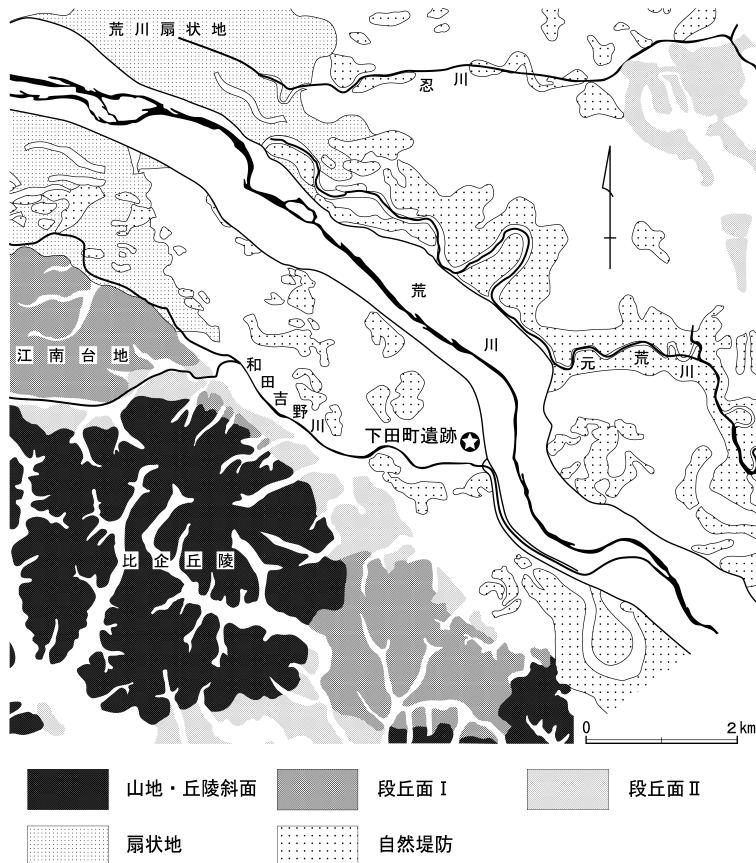
東側に広がる低地部は、砂やシルトが堆積して微高地となっている自然堤防と後背湿地とに区別される。これらの微地形は、主に江戸時代以降に繰り返した洪水による地形である。現在の荒川の流路は、江戸時代に人工的に作られたことが知られている。荒川は大里町の町界となる河川であるが、寛永六年(1629)に関東郡代伊奈備前守忠治の命により、熊谷市久下で元荒川を締め切り、和田吉野川につなぐ新川の開削を行い、入間川に合流させて現在の荒川の本流を形成した。このため、江戸時代の河川改修以前の生活史を残す遺構面は、江戸時代以降の新たな荒川本流に起こった洪水の土砂の堆積によって地中深くに埋没することとなった。本遺跡所在地の現地表面は18.7m、遺構確認面は16.7mであり、このようにして埋没した遺跡の一つである。

遺跡は、和田吉野川左岸の自然堤防上に立地しており、水的環境にも恵まれた土地にあった。和田吉野



第2図 埼玉県の地形

0 20km



大矢雅彦・高山一・久保純子・応用地質株式会社 1996  
『荒川流域地形分類図』（建設省関東地方建設局荒川上流工事事務所）を改変

第3図 下田町遺跡の周辺地形

川左岸の自然堤防上に立地する。和田吉野川は、西方の寄居町を水源として、比企丘陵の北側を東へ流れる吉野川と和田川が大里町下恩田地区で合流し、さらに下流で荒川と合流している。遺跡が立地する場所は、和田吉野川と現在の荒川の合流地点にあたる。遺跡の南西には、近年、和田吉野川に造られた玉作水門が隣接する。

地名に時々みられる「津」という字は、水上交通の拠点としての機能を持つ土地につけられることがある。下田町遺跡の所在地名にある津田という大字は、この地が和田吉野川の河川交通の要衝であったことをうかがわせている。

## 2 歴史的環境

下田町遺跡では、縄文時代、弥生時代中期後半・後期末～古墳時代前期、古墳時代中期・後期、奈良・

平安時代、鎌倉・室町時代の各時代の遺構・遺物が検出された。周辺でこれまでに確認されている遺跡および各時代の歴史的環境の概要については、既に『下田町遺跡 I』において記載した。ここでは、今回報告する第2次調査と第3次調査において検出された遺構・遺物の属する時期に絞り、周辺遺跡および歴史的環境について触れることにする。

下田町遺跡で、縄文時代の遺構は検出されていないが、縄文時代後期の土器片がわずかに出土しており、周辺に活動域が存在したことがうかがわれる。縄文時代後期は、全体的に遺跡数の減少傾向と規模の縮小傾向がみられる時期である一方、沖積地でも遺跡の検出例が知られるようになる。下田町遺跡の周辺では、台地上の桜谷遺跡で堀之内1式期の住居跡と土壌が検出されているほか、桜谷東遺跡や東山遺跡でも住居跡と土壌がみついている。これらの台地の遺跡だ

けではなく、自然堤防上に立地する成願遺跡でも、遺構こそ検出されなかったものの、縄文時代後期の深鉢が出土しており、沖積地での当時の活動の展開がうかがわれる。

下田町遺跡で次に人々の活動の痕跡が確認されるのは、弥生時代中期後半になってからである。周辺にみられる該期の遺跡には、西南西の台地上に立地し、方形周溝墓が検出されている船木遺跡のほか、船木遺跡に隣接し、一段階古い中期中葉の壺形土器が出土している円山遺跡がある。近隣地域では、東方で自然堤防上に立地する袋・台遺跡でも該期の住居跡が検出されている。7 kmほど北側の荒川扇状地扇端部は、弥生時代中期から後期にかけての遺跡が集中する地域で、中期中葉の池上・小敷田遺跡、中期後半から末にかけての北島遺跡、前中西遺跡、諏訪木遺跡など複数の遺跡で遺構および遺物が出土し

ている。

下田町遺跡でも確認されている方形周溝墓は、西日本から稲作農耕を伴って伝播した弥生文化の一要素であり、埼玉県域ではその分布から、荒川を遡上して広がったものと考えられている。注目されるのは、下田町遺跡での検出例が、荒川扇状地扇端部を除く低地部で弥生中期後半の方形周溝墓が検出された初めての例であり、低地部への進出は荒川扇状地扇端部だけではないことが示されたことである。周辺の低地部にも該期の遺跡が埋没している可能性があり、今後の調査が期待される。

弥生時代後期から古墳時代前期にかけての周辺地域では、比企丘陵などに分布する櫛描文を主体とする櫛描文系土器と、県北部などに分布する縄文施文を主体とする吉ヶ谷式土器の両者の土器がみられる。遺跡数の増加もみられ、比企丘陵や県北部との交流が活発であったことがうかがえる。周辺では、桜谷遺跡、大境遺跡、船木遺跡、円山遺跡、箕輪遺跡、北廓遺跡、東松山市玉太岡遺跡など低地を望む台地上の遺跡と、成願遺跡など低地の自然堤防上の集落遺跡がある。成願遺跡や下田町遺跡のような低地に立地する集落は、近年の調査によって明らかにされたものである。両遺跡では、遺物にも共通性がみられ、関係が注目される。また、これらの低地部の集落と台地の集落との関係についても今後の調査研究で注目される場所である。古墳時代前期には、東松山市五領遺跡のように住居跡100軒以上から成る大規模集落が形成されるようになる。遺物には、東海地方など各地域の影響がみられるようになり、周辺各地との交流もさらに盛んなものとなる。全国的には古墳の造営が始まる時期だが、下田町遺跡周辺では、墓制は依然として方形周溝墓が営まれている。遺跡周辺では、楓山西遺跡、大境遺跡、大境南遺跡、大林南遺跡、玉太岡遺跡、箕輪遺跡、船木遺跡などで中・小規模の集落が確認されている。

古墳時代後期になると周辺に古墳が築造される。東松山市冑山古墳は、全長90mの円墳で、円墳とし

ては埼玉古墳群の丸墓山古墳に次ぐ大きさをもち全国屈指の規模である。墳丘からは埴輪片が表採され6世紀前半の築造とされている。また、とうかん山古墳は、全長74mの前方後円墳で、墳丘から表採された埴輪や土器片から6世紀中葉前後とされている。このとうかん山古墳は、隣接する箕輪遺跡や五反林遺跡などの古墳を含め古墳群を形成している。このほか、円山古墳群、阿諏訪野古墳群、東山古墳群、楓山古墳群、賢木丘古墳群などが所在し、いずれも6世紀以降の後期古墳群である。

古墳時代後期の集落は、沖積地に積極的に進出する。下田町遺跡ではこれまでに79軒の竪穴住居跡、38棟の掘立柱建物跡を検出した。また、集落域の北側は大規模な溝を掘削し、灌漑・治水事業を積極的に行ったと考えられる。和田吉野川を挟んだ対岸の成願遺跡は、自然堤防上に形成された集落で住居跡58軒、掘立柱建物跡21棟を検出した。

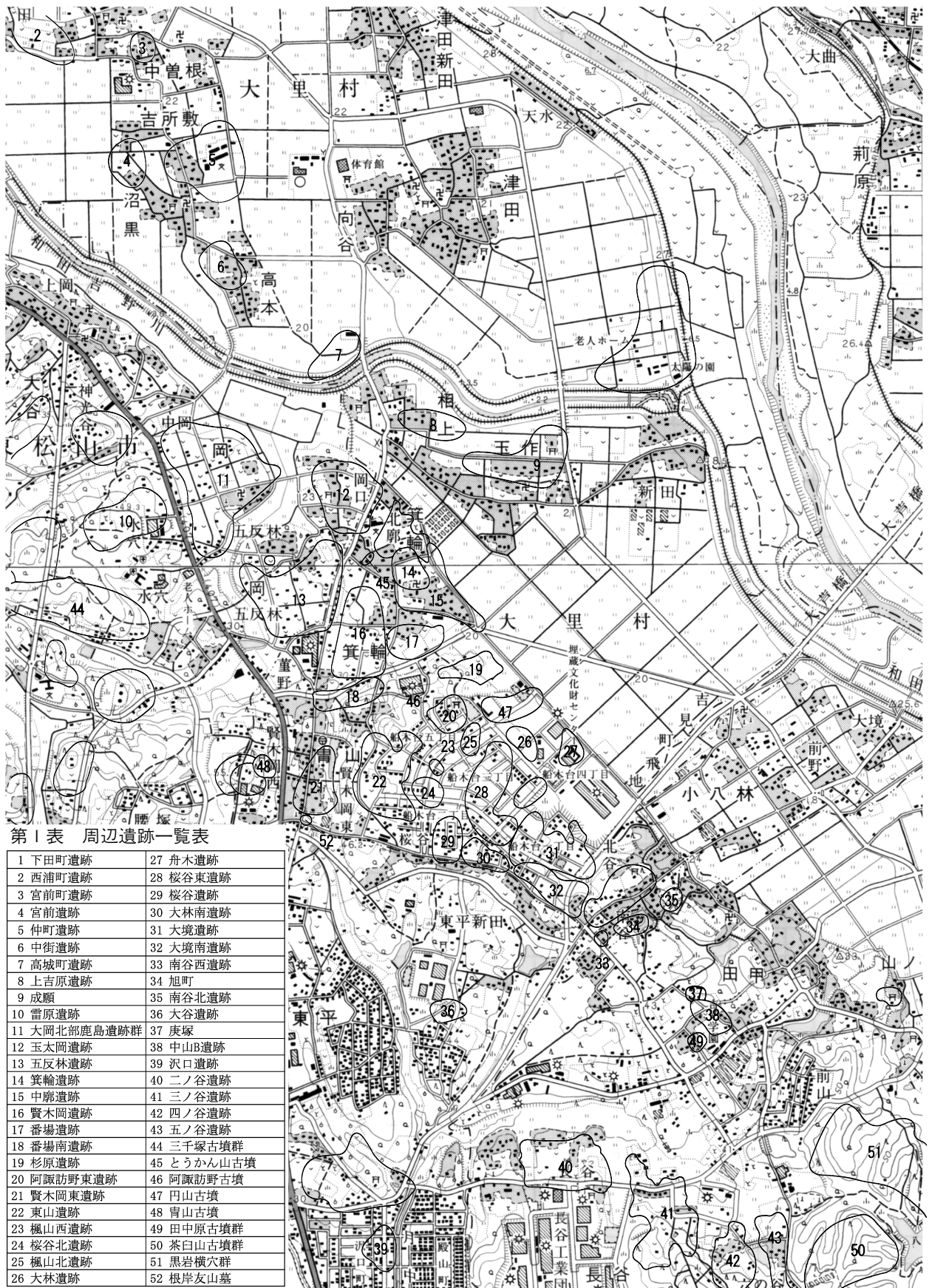
下田町遺跡のように低地を居住空間とした集落の特徴は、治水事業を伴う集落景観であったと理解する。このため、集落内においても排水機能を備えた多くの溝跡を掘削している。

奈良・平安時代になると、律令体制の機構のもと下田町遺跡は大里郡に帰属する。大里郡は、郡家郷、市田郷、楊井郷、余戸郷の4郷からなる小郡である。

周辺には、竪穴住居跡300件以上を検出した北島遺跡や出拳木簡を出土した小敷田遺跡などが位置する。このほか、諏訪の木遺跡、池上遺跡、一本木前遺跡などの集落跡が存在し、古墳時代後期以降この地域は継続的に集落が形成されている。

この時代の注目される遺物に、下田町遺跡第412号土坑から出土した滑石製紡錘車がある。この紡錘車には、広面には「占部豊川」と読める線刻が施されている。文字の存在は、遺跡における識字層の存在ともつながり、遺跡の性格を考える上で重要な発見である。共伴する須恵器坏から平安時代の9世紀前半であると考えられる。

岡部町熊野遺跡1次調査出土の紡錘車は狭面・広



第1表 周辺遺跡一覧表

1 下田町遺跡	27 舟木遺跡
2 西浦町遺跡	28 桜谷東遺跡
3 宮前町遺跡	29 桜谷遺跡
4 宮前遺跡	30 大林南遺跡
5 仲町遺跡	31 大境遺跡
6 中街遺跡	32 大境南遺跡
7 高城町遺跡	33 南谷西遺跡
8 上吉原遺跡	34 旭町
9 成願	35 南谷北遺跡
10 雷原遺跡	36 大谷遺跡
11 大岡北部鹿島遺跡群	37 庚塚
12 玉太岡遺跡	38 中山B遺跡
13 五反林遺跡	39 沢口遺跡
14 箕輪遺跡	40 二ノ谷遺跡
15 中廓遺跡	41 三ノ谷遺跡
16 賢木岡遺跡	42 四ノ谷遺跡
17 番場遺跡	43 五ノ谷遺跡
18 番場南遺跡	44 三千塚古墳群
19 杉原遺跡	45 とうかん山古墳
20 阿諏訪野東遺跡	46 阿諏訪野古墳
21 賢木岡東遺跡	47 円山古墳
22 東山遺跡	48 冨山古墳
23 楓山西遺跡	49 田中原古墳群
24 桜谷北遺跡	50 茶白山古墳群
25 楓山北遺跡	51 黒岩横穴群
26 大林遺跡	52 根岸友山墓

第4図 周辺の遺跡



面の両面に線刻が見られ、狭面には「観・朋・良・大」などで判読できない文字がある。広面には「道・乙・朋・道・具・伏・状」の線刻が見られる。熊野遺跡からは「弓成」、御林遺跡からは「武蔵」、上里町若宮台遺跡からは「天安二年十二月二八日工成人(戊午?)」と判読できる線刻紡錘車を検出した。

このほか、本庄市南大通り線内遺跡からは「武蔵国児玉郡草田郷戸主大田部身万呂」の線刻紡錘車が発見され、本庄市東五十子田端屋敷遺跡出土紡錘車は狭面、広面の両面に線刻文字が見られ、狭面には「工・大・里・有・田・直・身・生・本か木・有・□・牝?・大?」、広面には、「郡・大・里・身・朱・石・全・金・様?」が見える。児玉町枇杷橋遺跡出土紡錘車は文字が複数記載され、人面のようなものも含まれており、「(人面)・蔵・□・□・有・児・武・□・蔵・□・玉・大」と判読できる。

次に、平安時代の漆付着の容器である。検出点数は須恵器環・高台付壺6点、須恵器壺1点である。漆付着土器の出土位置を検討すると、その分布は西区の北側から中央付近にかけて見られる。検出した遺構は、井戸跡及び溝跡である。特に、第286号溝跡出土の須恵器環は刷毛の痕跡が見られる。また、第222号井戸跡からは3点の漆付着の須恵器高台付壺が出土している。このほか、表採資料ではあるが須恵器長頸瓶の口縁部破片の内面には漆が全体に付着し、漆容器と考えられる。

漆の付着する容器は奈良・平安時代に多く見られる。この時代の漆は、漆採集に使用した容器なのか、下田町遺跡出土の木製黒漆塗壺蓋や第2号井戸跡出土の木製黒漆塗鞍など、漆製品の生産にかかわる遺跡であったのか、生活の中で容器として使用していたのか様々な可能性が指摘できる。

漆壺が検出された遺跡には、行田市築道下遺跡、熊谷市北島遺跡、さいたま市根切遺跡が知られる。また、平安時代の遺跡からは土師器・須恵器の環や壺類が主に出土し、熊谷市北島遺跡、行田市築道下遺跡、鴻巣市新屋敷遺跡、上里町中堀遺跡が知られる。

漆を土器の表面に塗った漆塗り土器が使われていたと考えられ、平安時代も9世紀後半になると土器は、須恵器・土師器の食器セットが、焼成温度の低い軟質の須恵器・内面黒色処理された内黒土器・わずかに検出される土師器・灰釉陶器・緑釉陶器などの食器セットへと変化すると考えられる。この中に漆塗り土器が存在したことになるだろう。

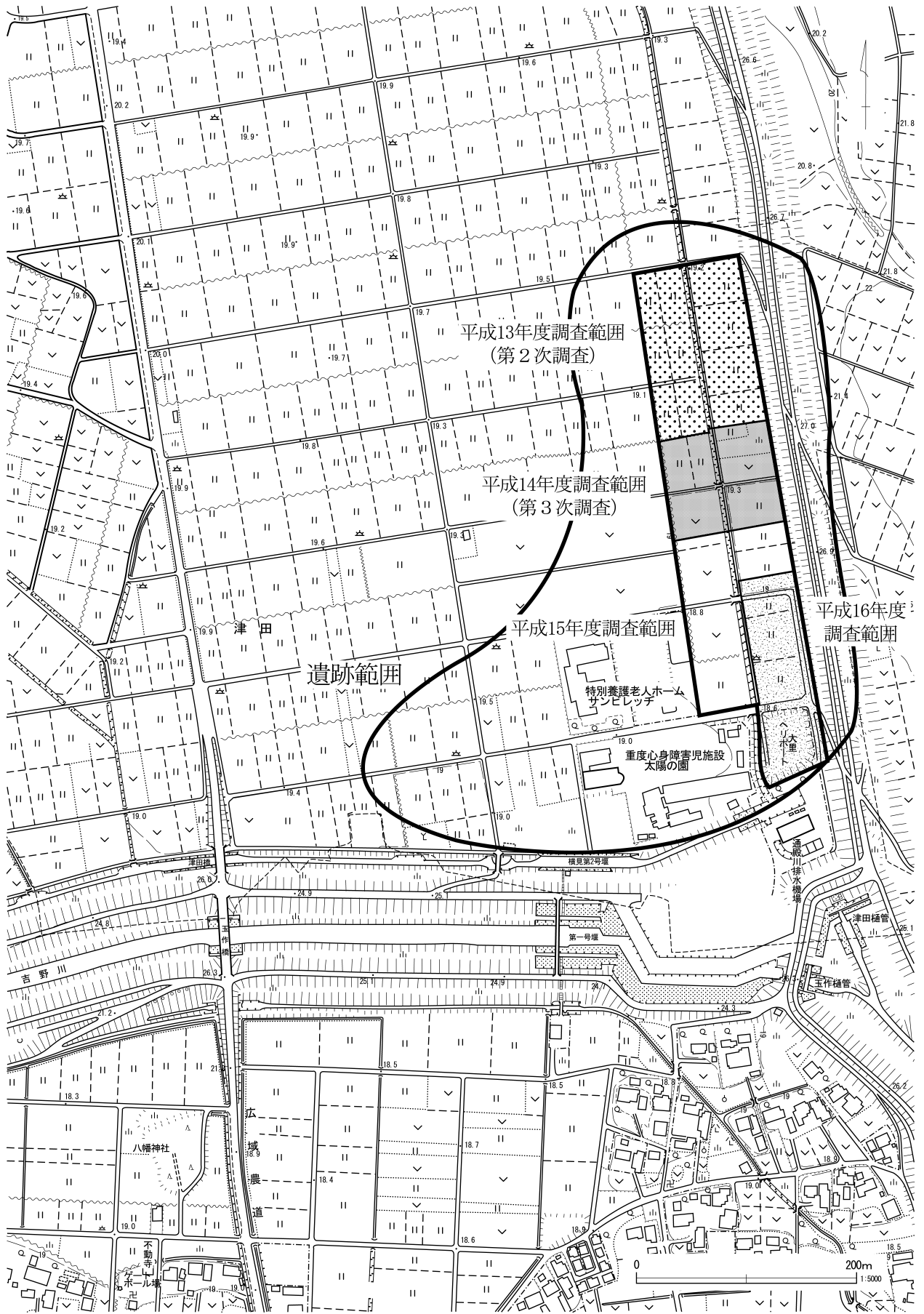
さらに貴重な行政文書として、平安時代の大里郡を記録した「武蔵国大里郡坪付」とよばれる文書が残されている。この文書は、九条家本『延喜式』の裏文書の中に記され大里郡印が押されている。大里郡の役所の下で条里制が施行され、各坪単位に田畑の面積を把握し、記載されていたことがわかる。記された地域がどこの地域の条里地割に比定できるのか注目される。

本遺跡の調査は、平安時代の東西・南北方向の溝跡を検出でき、条里の坪付け畦畔を推定する上で貴重な成果である。また、集落域にまで坪並みの区画が見られるとすれば注意され、下田町遺跡が低地に展開していることに要因があると考えられる。

鎌倉・室町時代には、幅2～3m、深さ1～2mの溝跡が見られる。この溝跡は二条が南北方向に平行して伸び、さらに東西方向に分岐して伸びる。屋敷地の区画を意味させる堀割りと考えられるが、この遺構が防衛的機能を持つのか、あるいは、通運などの機能があったのか検討する必要がある。このほか、井戸跡や火葬土坑の遺構も確認でき、中世の屋敷跡が存在していたものと考えられ、周辺の中条館跡、河越館跡、真鏡寺館、ミカド遺跡など中世館のあり方を検討する必要がある。また、中国製の緑釉盤が検出された。東国の館では三彩の盤または洗が出土し、河越館跡、阿保氏館、大久保山遺跡などから出土している。白磁四耳壺、青磁梅瓶とセットで出土することが多く貴重な遺物である。<sup>(註1)</sup>

下田町遺跡における中世については、比企氏や大申氏など武蔵武士の活躍と合わせ注目される。

(註1) 緑釉盤について栗岡真理子氏のご教示を受けた。



第5図 下田町遺跡の範囲

### Ⅲ 第2次調査の概要

下田町遺跡の発掘調査は平成13年度から平成16年度の4ヶ年計画で実施された。初年度は平成13年6月から平成14年3月まで行った。この発掘調査が第2次調査にあたる。下田町遺跡第1次調査は大里町教育委員会によって平成12年1月から2月に行われている。

今回報告の第2次調査は、調査区が南北に長く中央部分に用水路が存在する。このため、用水路を挟んで西側調査区（西区）と東側調査区（東区）に分割した。西区の記録保存による報告書は平成15年度に整理作業を行い、埼玉県埋蔵文化財調査事業団報告書第296集として刊行した。本報告書は、第2次調査における東区の記録保存のための記載である。

整理作業は、平成15年度に西区に引き続き実施し、編集および印刷は、今年度の実施である。

東区は、南北に細長く、南北150m、東西45m、調査面積6750㎡である。

検出した遺構は、住居跡16軒、掘立柱建物跡6棟、井戸跡48基、土坑34基、ピット356基、溝跡112条である。

住居跡は、いずれも、古墳時代後期の時期にあたる。住居跡の分布は北側の第80号溝跡を境に南側に展開し、数軒単位で重複する地点が、三箇所ほどみられる。また、それぞれの居住域を取り囲むように溝跡が巡り、さらに、個々の住居跡を巡る溝跡が確認された。

一箇所は、調査区北側の大溝に隣接したG・H—8グリッド付近である。第60・66・67号住居跡が軸方向をわずかに替えながら重複する。各住居跡は、住居跡外側周溝をもつ。第60号住居跡は、第171・189号溝跡に囲まれている。また、第66号住居跡は、第171・166号住居跡に囲まれている。さらに、第67号住居跡は第171号溝跡に囲まれている。いずれの住居跡も第171号溝跡を延長し共有していることから、三軒が同じ位置で連続的に建て替えが行われて

いたことがわかる。

二箇所目は、調査区の中央部分にあたる。第52～61号住居跡が検出された部分で、これらの住居跡は、さらに小単位を形成している。また、全体を南側の第21号溝跡、北側の第169号溝跡に囲まれている。小単位は、第52・53号住居跡、第55・58号住居跡、第56・61号住居跡、第57・59号住居跡である。さらに、小単位を取り囲む住居外側周溝が第178・192・248・184号溝跡である。

三箇所目は、調査区南端である。第62～65号住居跡である。明瞭な住居外側周溝は検出されていないが、住居群を取り囲むように東側は第213・220号溝跡、西側は第250号溝跡、中央を第218・219号溝跡が存在している。

円形周溝状遺構は、溝跡番号を付したが、調査区中央部分に第182号溝跡、調査区南端に第224号溝跡の2ヶ所である。円形周溝状遺構は、居住区内に存在し、竪穴住居跡・掘立柱建物跡とセット関係にある遺構と捉えることができる。

掘立柱建物跡は、第22～27号の6棟を検出した。

第22・23号掘立柱建物跡は平安時代の四面庇建物跡である。第22号掘立柱建物跡は、2間×5間の母屋部分に四面庇をもつ南北棟の建物である。また、第23号掘立柱建物跡は、2間×3間の母屋部分に四面庇をもつ東西棟の建物である。これらの建物跡は、自然堤防上の東側縁辺部にあたる。

第23・24・25号掘立柱建物跡は古墳時代後期の倉庫建物跡である。規模はいずれも2間×2間の総柱である。これらの建物跡は、道路側溝跡と考えられる第213・220号溝跡とほぼ平行して建てられていると考えられる。また、第25号掘立柱建物跡は南東側に「コ」の字状の囲いが存在したと考えられ、第201号溝跡が巡る。このほか、第26・23号掘立柱建物跡は重複するが、時期は不明である。

井戸跡は、48基を確認し古墳時代後期、奈良時代、



第6図 第2次調査東区グリッド配置図

平安時代の三時期に別れる。

古墳時代後期の井戸跡は、第87・90～93・97・99・102・117・118・121・124・126～131号井戸跡である。集落の東側にあたり、自然堤防の縁辺部に位置する。形態はいずれも円形である。規模は径42～69cm程の細長いものである。

奈良時代の井戸跡は、第98・103号井戸跡である。規模は、径123cmほどでやや大きな井戸跡である。

平安時代になると円形で規模が大きくなる。第84～86・88・89・94・100・104・105・107～110・115・125号井戸跡がこの時期と考えられる。

井戸跡の検出された地点は、古墳時代後期と平安時代ではほぼ同じである。一方、奈良時代はいずれもI—15グリッドに位置し、同時期の溝跡は検出されているが、空地のようなエリアである。井戸跡からみて、奈良時代の土地利用の形態は古墳時代後期や平安時代と異なることがうかがえる。また、中世の井戸跡は検出できなかった。

土坑は34基を検出した。遺物を大量に検出した土坑は2基である。まず、第171号土坑から平安時代の遺物が大量に検出された。須恵器坏・高台付坑にとまって、灰釉陶器・緑釉陶器を共伴する。第85図2は灰釉陶器坑であるが、底部外面の高台付部分に朱墨の痕跡が見られる。このことは、朱墨の硯として使用したものと考えられる。第86図69は椀型滓の破片である。このほか、在地産の「し」の字状口縁の甕を共伴している。

次に、第181号土坑からは古墳時代後期の第92・93図1～29に図示した遺物が検出された。方形の一辺4m前後、深さ1m程の竪穴状遺構である。覆土中層の第2・3層から大量の遺物を検出した。その多くは煮沸に使われた遺物が主体で、土師器甕・甌・丸甕である。そのほか、土師器坏も共伴する。このほかの土坑では、第179号土坑からは木製の木槌が検出されている。

溝跡は112条を検出した。調査区は、中央部分を南北に農業用水路が走るため、東西に区分されている。

このため、西側調査区で検出された溝跡が東側調査区に伸びているため、同一番号を付している。

古墳時代後期の溝跡は、まず、調査区の北側に第80号溝跡が西から東方向に流れをもち、開鑿されていた。集落のほぼ北域を画する溝跡であり、集落の排水機能を集約した水路でもある。幅4m、深さ1m程である。また、調査区中央付近で検出された第169号溝跡と第21号溝跡のような集落内を巡って、第80号溝跡と合流する地点では、溝幅が大きく広がりをもっている。検出はできなかったが堰のような施設があった可能性も考えられる。

調査区南東部分では、平行する二条の溝跡を検出した。直線的に北東方向に伸び、道路状遺構の可能性も考えられる。両溝跡間の距離は4m前後である。

奈良・平安時代の溝跡のあり方は、前代までと大きく変化する。特に、集落内の溝跡は少なく、集落の東縁辺を北西から南東方向に直線的に走る溝跡が何条も検出された。

この時代の溝跡で注目すべき点は、調査区北側で検出した第95号溝跡と調査区南端でわずかであるが検出した第253号溝跡である。これら両溝跡は、ほぼ東西方向に直線的に伸びている。規模も他の溝跡に比べ、幅も深さも大きく、幅4m、深さ1m以上を測り、大溝跡である。溝跡間の距離は100mを超え約105mである。条里地割の一坪を想定させる距離でもある。本遺跡は、この時代の建物跡を検出していることから、条里水田として利用されてはいない、しかし、集落内においても、条里の坪付けが反映されていることが溝跡の検出において明らかになったとも考えられる。

中世の溝跡とは、前代と同様に、第85号溝跡に見られるような、集落の東縁辺を北西から南東方向に自然地形に沿って走る溝跡が検出された。また、この溝跡と平行するように第127号溝跡が南東方向に伸びる。この時期の他の遺構は検出されず、自然堤防の縁辺であることから中世の居住区からはやや離れてしまったと考えられる。





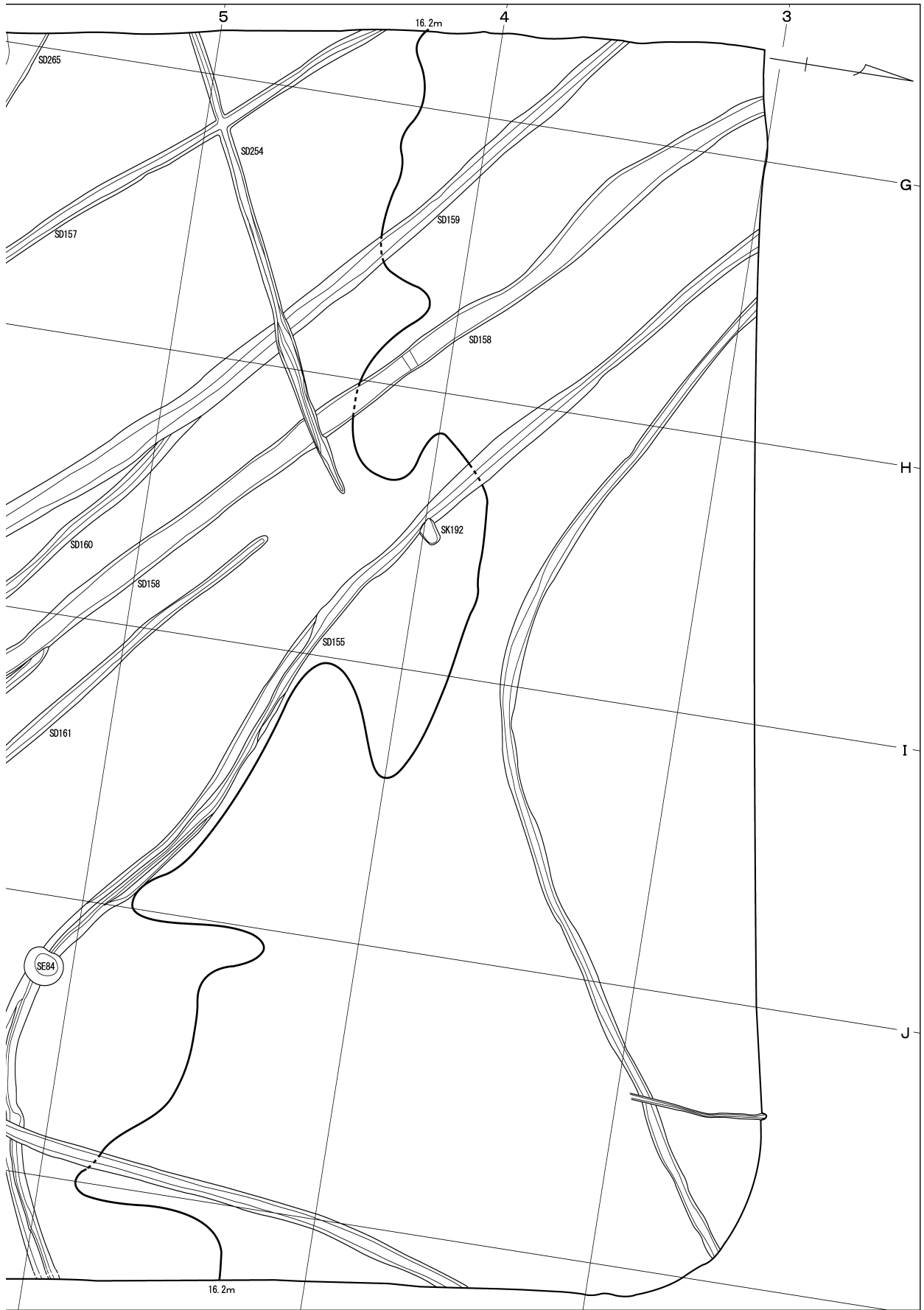


第 8 図 第 2 次調査東区遺跡全体図 (2)





第10図 第2次調査東区遺跡全体図(4)



第11図 第2次調査東区遺跡全体図 (5)

## IV 遺構と遺物

### 1. 住居跡

住居跡は当該調査区においては、16軒を検出した。いずれも古墳時代後期に相当するもので、平成13年度調査の西側調査区（既報告）と同様である。

カマドをもつ住居跡は第55・58・62・63号住居跡の4軒に過ぎず、3/4もの住居跡にはカマドがない。また貯蔵穴は第55・62号住居跡でのみ検出し、いずれもカマドをもつ住居跡である。

平面図はカマドがある場合はカマドを上にし、カマドがない場合は北方向を上にした。

#### 第52号住居跡（第14図）

I・J-11グリッドに位置する。北側には第94号溝跡が重複しており、北辺の輪郭は不明である。また住居跡の中央付近には第179号溝跡が東西に貫通している。平面規模は東西が5.7m、南北は5.9m以上である。床面の深さは遺構確認面から2～4cmと浅い。主軸（南北）方向はN-36°-Eである。

カマド及び貯蔵穴は検出しなかった。壁溝は全周すると想定され、幅は12～24cm、深さは1～8cmである。ピットは6基検出した。主柱穴はP1・P3・P4・P5であると想定される。P1～P6の深さはそれぞれ、31・16・40・39・20・10cmである。

出土遺物のうち、図示できたものは第15図のとおり、土師器坏5点、土師器甕1点である。1は蓋模倣坏、2～5は有段口縁坏である。

#### 第53号住居跡（第16図）

I-11・12グリッドに位置する。北側は第52号住居跡と重複しているが、その新旧関係は不明である。住居跡の中央部付近や南辺付近に、それぞれ第175・178号溝跡が重複する。平面規模は南北3.7m、東西5.2mである。床面の深さは遺構確認面から2～4cmと浅い。主軸方向（南北）はN-40°-Eである。

カマド・貯蔵穴・壁溝とも検出しなかった。ピッ

トは4基検出したが規則性がみられず、主柱穴を推定することはできなかった。P1～P4の深さはそれぞれ、44・29・11・40cmである。

平面が不自然に細長いことや、壁溝・主柱穴等がみられないことから、住居跡ではない可能性もある。

出土遺物のうち、図示できたものは第17図のとおり、土師器坏2点、土師器甕2点、砥石1点である。

#### 第54号住居跡（第18図）

I-12グリッドに位置する。第175・180号溝跡が住居跡内を横断し、また第22号掘立柱建物跡や第89号井戸跡等も重複している。いずれも住居跡よりも新しい遺構と考えられる。平面は南北5.2m、東西4.7mで、床面の深さは遺構確認面から1～8cmである。主軸（南北）方向はN-42°-Wである。

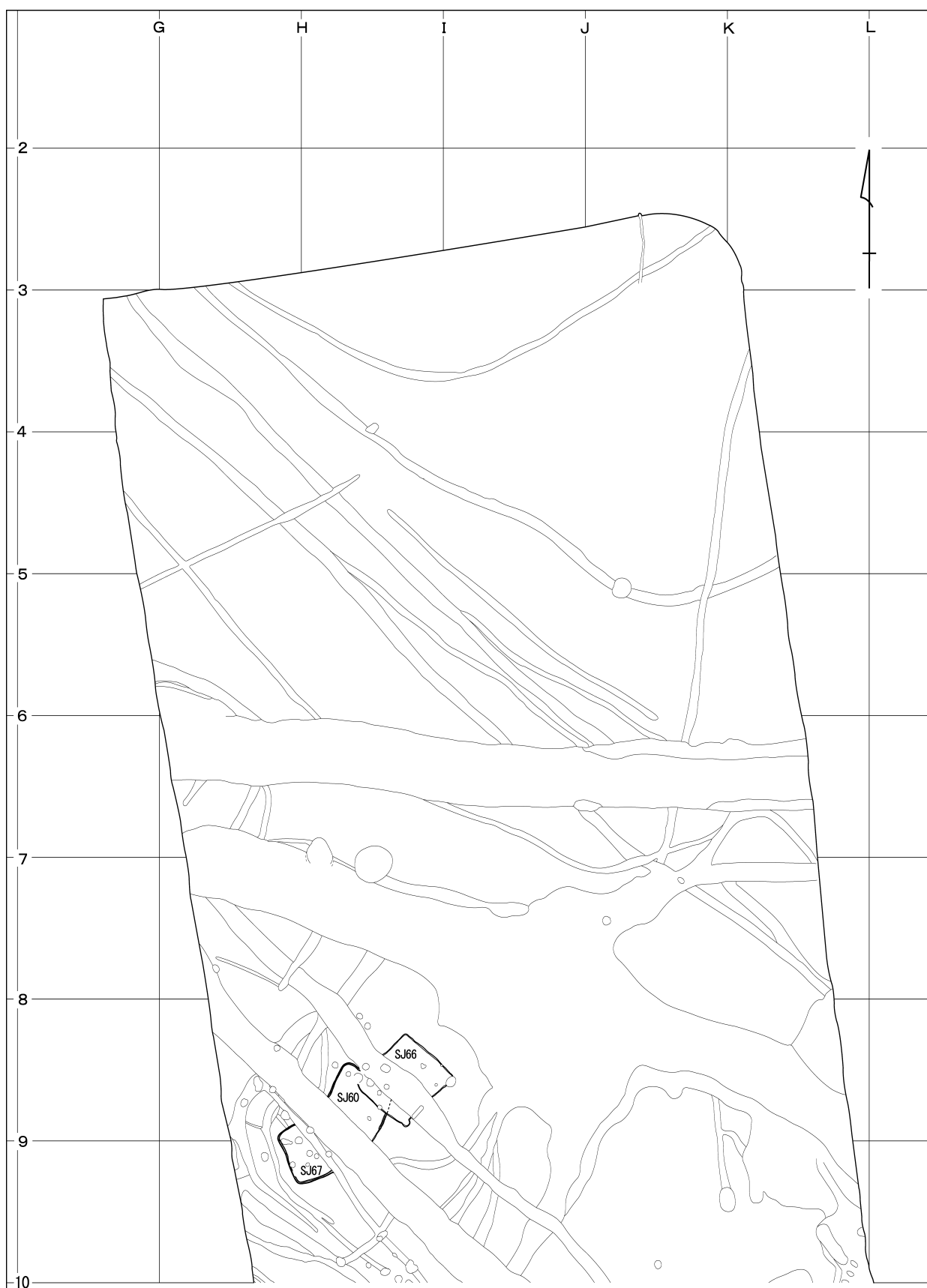
カマド及び貯蔵穴は検出しなかった。壁溝は全周し、幅は12～18cm、深さは5～10cmである。ピットは3基検出し、いずれも主柱穴になると想定される。本来は溝跡との重複部分に、もう1基の主柱穴があったと考えられる。P1～P3の深さはそれぞれ、27・25・47cmである。

出土遺物のうち、図示できたものは第19図のとおり、土師器坏3点、土師器甕1点、石製紡錘車1点である。2・3は北武蔵型坏で、3は内面に粗い暗文がみられる。5は表面に多くの擦痕がある。

#### 第55号住居跡（第20図）

I-12・13グリッドに位置する。第22号掘立柱建物跡のピットがところどころ重複している。平面は南北4.4m、東西4.4mのほぼ正方形で、遺構確認面から床面の深さは9～16cmと、他の住居跡に比べると深い方である。主軸方向はN-21°-Wである。

カマドは北壁中央付近に設置され、約1.3mが残存している。カマドの袖は検出できなかったが、小

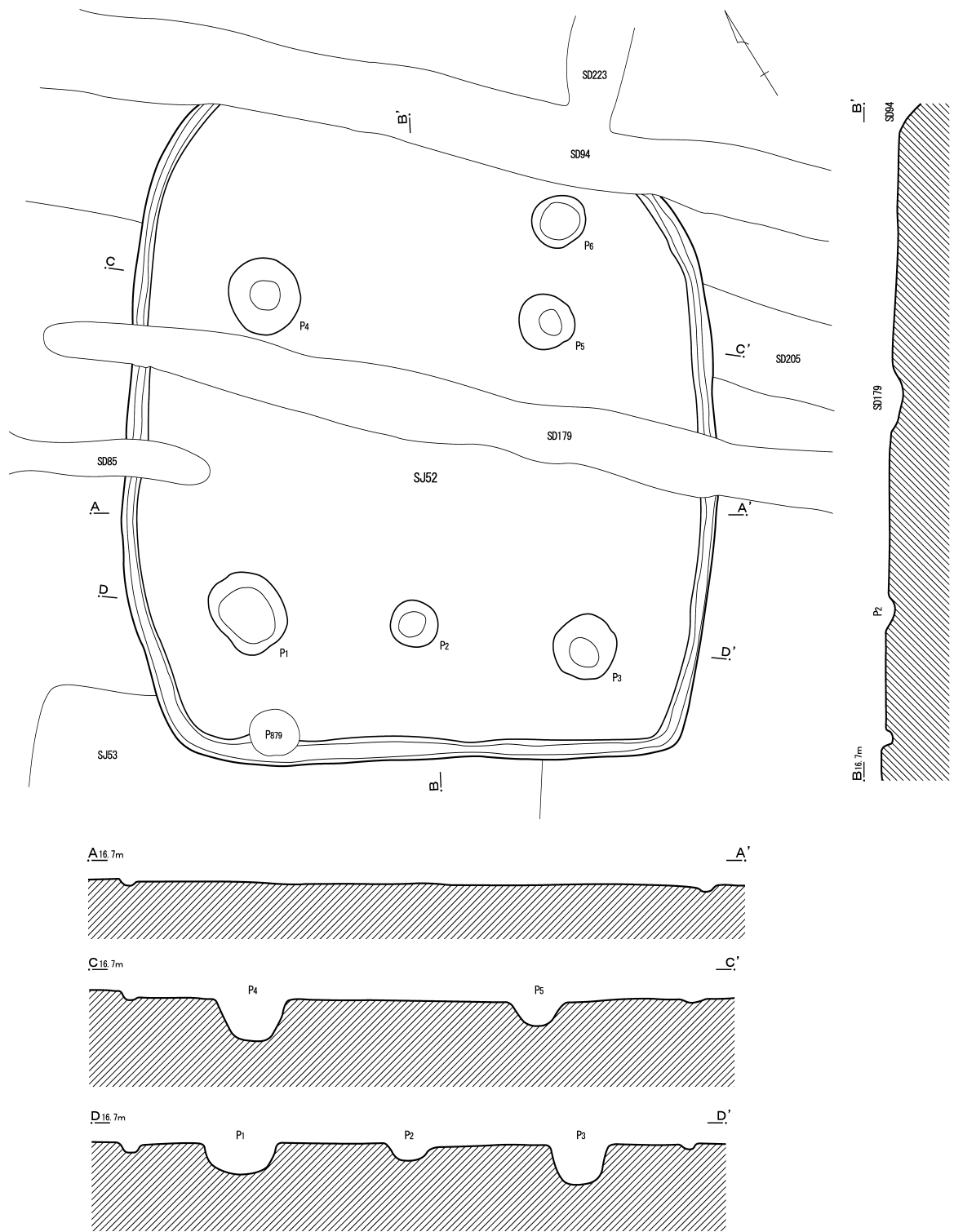


第12図 住居跡・掘立柱建物跡全体図 (I)

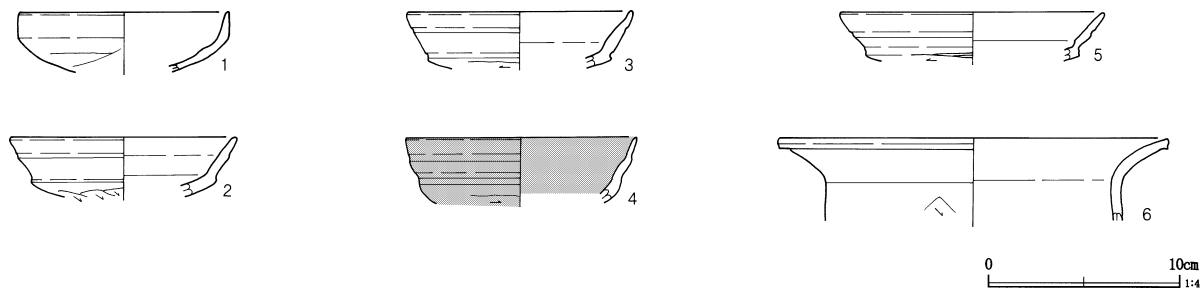




第13図 住居跡・掘立柱建物跡全体図 (2)



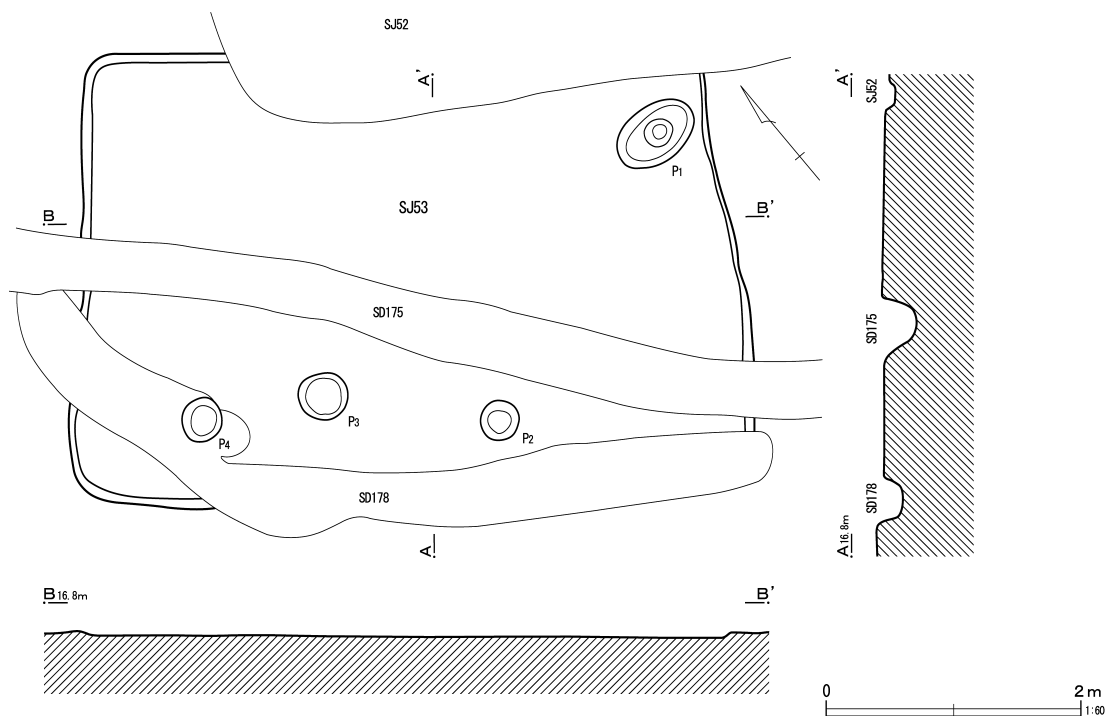
第14图 第52号住居跡



第15図 第52号住居跡出土遺物

第2表 第52号住居跡出土遺物観察表 (第15図)

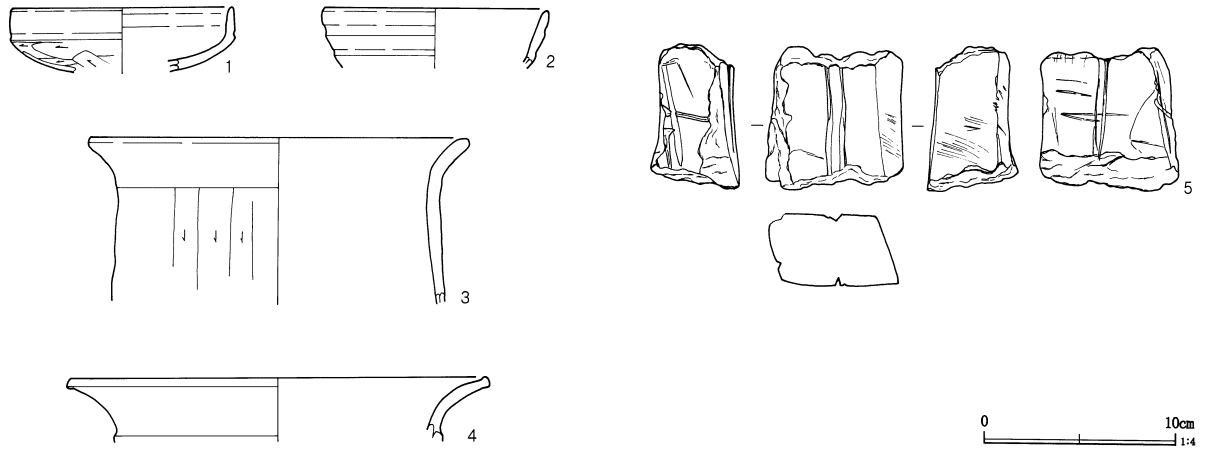
番号	種別	器種	口径	器高	底径	残存	胎土	焼成	色調	出土位置・備考	図版
1	土師器	坏	(11.0)	[3.1]	—	破片	雲角白粒	良好	橙	P4、黑色処理	
2	土師器	坏	(12.0)	[3.1]	—	破片	角白粒黒粒	不良	浅黄橙		
3	土師器	坏	(12.0)	[3.8]	—	破片	雲角赤粒白粒黒粒	良好	赤褐		
4	土師器	坏	(12.2)	[3.4]	—	破片	角赤粒白粒	普通	黒		
5	土師器	坏	(14.0)	[2.6]	—	破片	雲角赤粒白粒黒粒	普通	橙		
6	土師器	甕	(10.6)	[4.3]	—	破片	赤粒白粒	普通	にぶい褐		



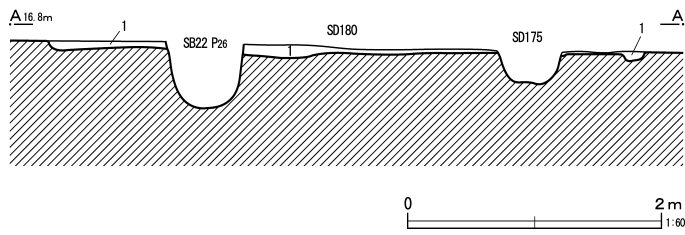
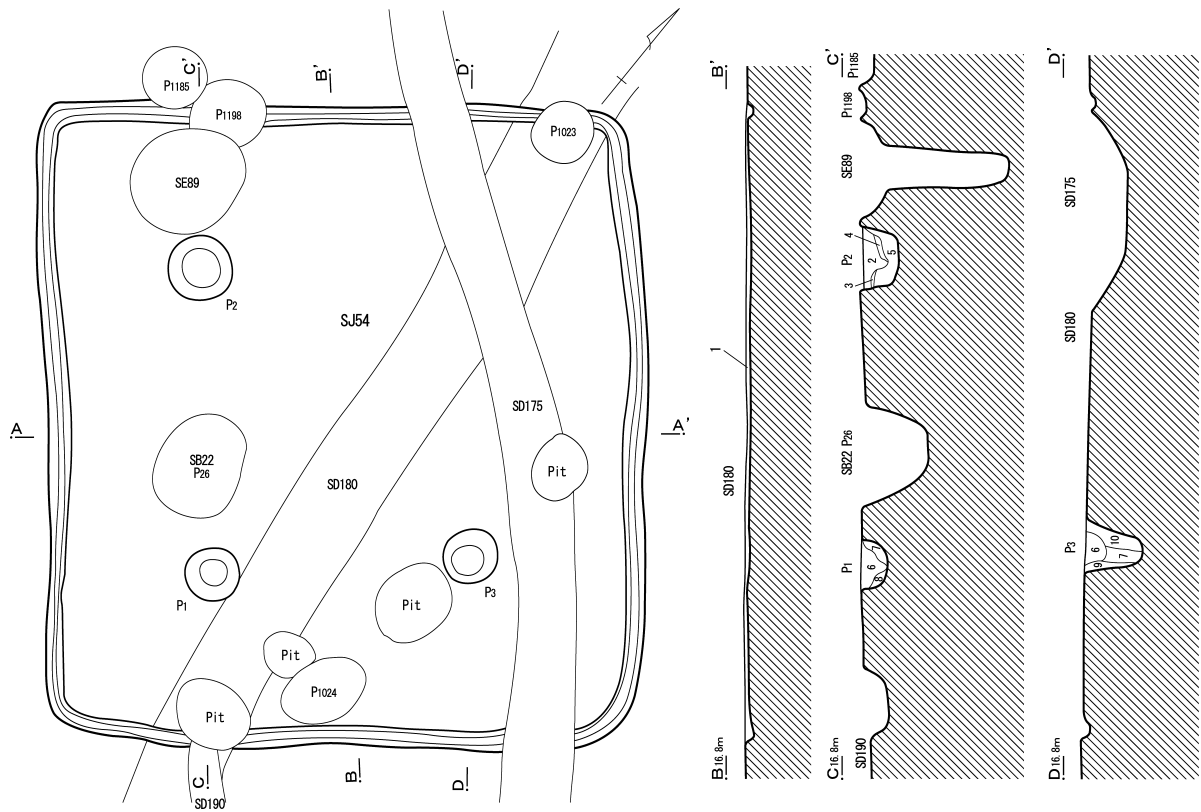
第16図 第53号住居跡

第3表 第53号住居跡出土遺物観察表 (第17図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	残存	胎土	焼成	色調	出土位置・備考	図版
1	土師器	坏	(11.6)	[3.3]	—	1/5	雲角赤粒白粒	普通	にぶい橙		50
2	土師器	坏	(12.0)	[2.8]	—	口縁破片	雲白粒	普通	橙		
3	土師器	甕	(20.2)	[8.8]	—	口縁破片	雲角砂粒赤粒白粒	普通	にぶい黄橙		
4	土師器	甕	(22.0)	[3.3]	—	口縁破片	雲石英赤粒白粒礫	普通	にぶい黄橙		
5	石製品	砥石	長さ5.6	幅5.4	厚さ2.3						



第17図 第53号住居跡出土遺物

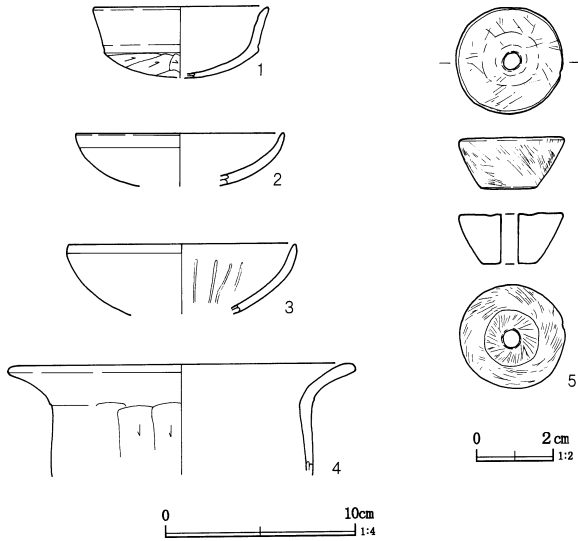


- 第54号住居跡
- 1 黒灰色土 粘性なし。青灰色土粒子少量
  - 2 暗褐色土 黄褐色土ブロック (φ0.5cm)、焼土ブロック (φ1.0cm) 少量
  - 3 暗褐色土 黄褐色土ブロック (φ0.2cm) 少量
  - 4 暗褐色土 黄褐色土ブロック (φ0.4cm) 多量
  - 5 暗褐色土 黄褐色土ブロック (φ0.5~0.7cm)、青褐色土多量
  - 6 暗褐色土 黄褐色土粒子少量
  - 7 暗褐色土 黄褐色土粒子多量
  - 8 暗褐色土 黄褐色土ブロック (φ0.2~0.7cm) 多量
  - 9 暗褐色土 上部に黄褐色土粒子 (φ0.3~0.7cm) 多量
  - 10 暗褐色土 黄褐色土ブロック (φ0.5~1.0cm) 多量

第18図 第54号住居跡

第4表 第54号住居跡出土遺物観察表 (第19図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	残存	胎土	焼成	色調	出土位置・備考	図版
1	土師器	坏	(9.2)	3.7	—	1/2	雲 角 石英 白粒	良好	黒褐	壁溝	12
2	土師器	坏	(11.0)	[2.7]	—	破片	雲 角 石英 白粒	不良	橙		
3	土師器	坏	(12.0)	[3.7]	—	口縁破片	雲 石英 赤粒	普通	灰黄		
4	土師器	甕	(18.2)	[5.9]	—	口縁破片	雲 角 石英 赤粒 白粒	普通	にぶい橙		
5	石製品	紡錘車	上径2.1 下径4.2 厚さ1.9			完形				P3 P5	44



第19図 第54号住居跡出土遺物

型のピットが2基あった。壁溝がカマドの部分にも巡っており、住居の築造当初はカマドがなかった可能性もある。貯蔵穴はカマドの東側にあり、平面規模は長径95cm、短径93cmで、深さは27cmである。壁溝は全周し、幅12~24cm、深さは4~9cmである。

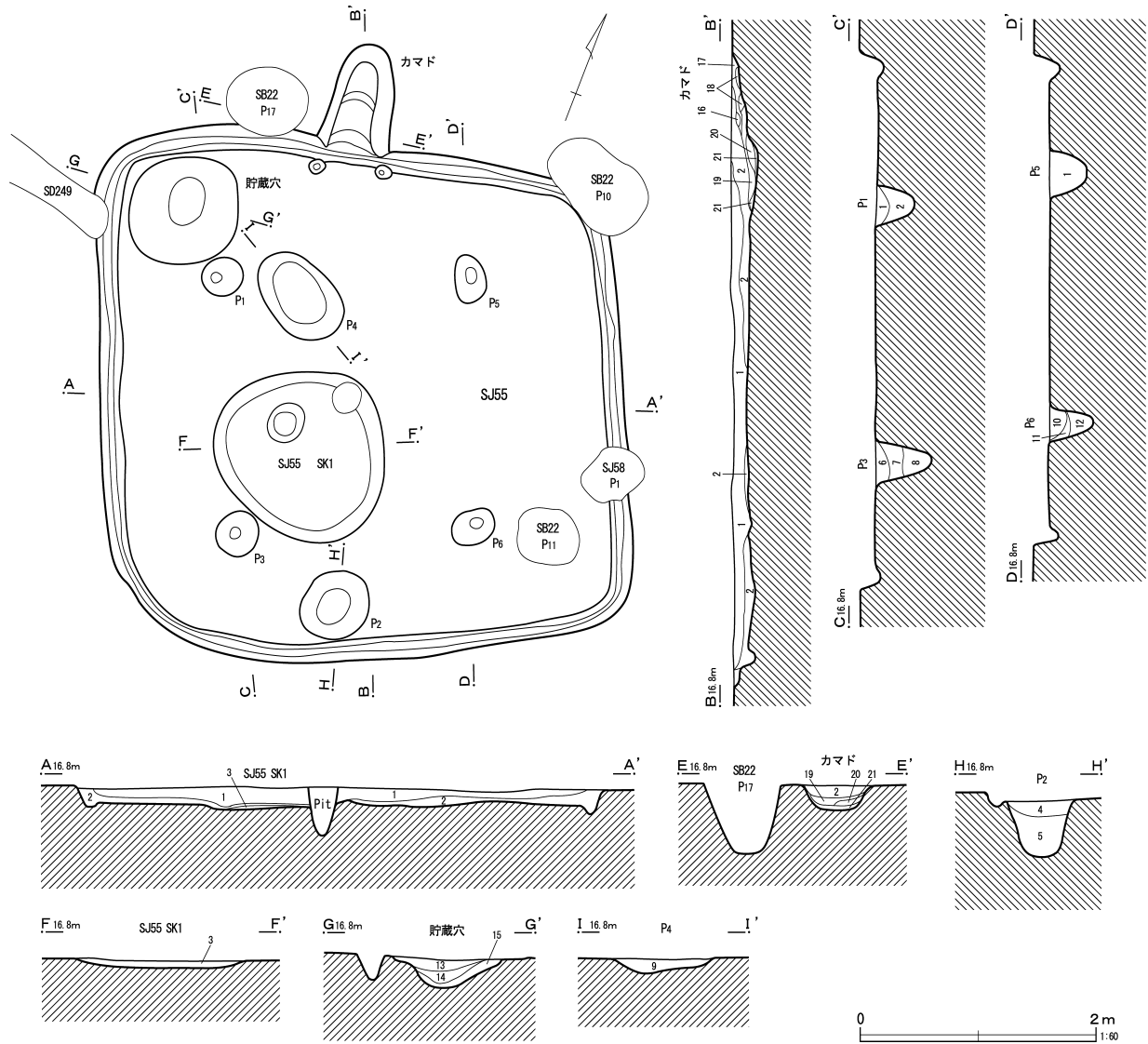
ピットは6基検出したが、P1・P3・P5・P6が主柱穴になると想定される。P1~P6の深さはそれぞれ、36・47・48・10・32・32cmである。

出土遺物のうち、図示できたものは第21図のとおりである。1は須恵器坏蓋でやや小ぶりのもの。2~7は蓋模倣坏、8~16は有段口縁坏、17~19は比企型坏である。他に土師器鉢5点、土師器高坏2点、須恵器壺1点、土師器甕口縁部7点である。

第5表 第55号住居跡出土遺物観察表 (第21図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	残存	胎土	焼成	色調	出土位置・備考	図版
1	須恵器	蓋	(12.0)	[2.8]	—	破片	雲 白粒	良好	灰白	P4	12
2	土師器	坏	(11.0)	3.4	—	1/3	雲 角 石英 赤粒 白粒	普通	黄灰		
3	土師器	坏	(18.0)	[4.9]	—	口縁1/4	雲 砂粒 赤粒 白粒	良好	にぶい橙		
4	土師器	坏	(11.0)	[3.0]	—	破片	雲 角 白粒 黒粒	不良	にぶい褐		
5	土師器	坏	(12.0)	[2.5]	—	破片	雲 角 赤粒 白粒	普通	明赤褐		
6	土師器	坏	(11.0)	[2.4]	—	1/5	雲 角 石英 赤粒 白粒	不良	橙		
7	土師器	坏	(11.0)	[3.0]	—	破片	雲 角 石英 白粒	不良	にぶい橙		
8	土師器	坏	(11.0)	[3.2]	—	破片	雲 角 赤粒 白粒	普通	橙		
9	土師器	坏	(11.0)	[3.4]	—	破片	雲 白粒	普通	灰褐		
10	土師器	坏	(11.6)	[3.5]	—	1/5	雲 角 石英 赤粒 白粒	良好	灰褐		
11	土師器	坏	(12.0)	[3.2]	—	破片	雲 石英 赤粒 白粒	普通	黒褐		
12	土師器	坏	(12.0)	[4.2]	—	破片	雲 角 石英 赤粒 白粒	普通	にぶい褐		
13	土師器	坏	(13.0)	[2.3]	—	破片	雲 角 白粒	普通	暗褐		
14	土師器	坏	(12.6)	[3.3]	—	破片	雲 角 石英 赤粒 白粒	普通	灰黄褐		
15	土師器	坏	(12.0)	[2.8]	—	破片	雲 角 石英 白粒 黒粒	普通	にぶい橙		
16	土師器	坏	(13.0)	[2.8]	—	破片	雲 角 赤粒 白粒	不良	にぶい黄橙		
17	土師器	坏	(13.0)	[2.4]	—	破片	雲 赤粒 白粒	良好	黒褐		
18	土師器	坏	(14.0)	[2.8]	—	破片	赤粒 白粒 黒粒	普通	橙		
19	土師器	坏	(14.0)	[2.5]	—	破片	雲 白粒 黒粒	普通	浅黄橙		
20	土師器	鉢	(17.0)	[8.6]	—	1/4	雲 角 赤粒 白粒 黒粒	良好	にぶい黄橙		
21	土師器	鉢	(14.0)	[5.0]	—	1/4	雲 角 石英 赤粒 白粒	不良	にぶい橙		
22	土師器	鉢	(17.0)	[4.8]	—	口縁破片	雲 角 石英 赤粒 白粒	良好	褐灰		
23	土師器	鉢	(15.8)	[5.0]	—	破片	雲 角 白粒	良好	黒褐		
24	土師器	鉢	(21.0)	[3.2]	—	破片	雲 赤粒 白粒	良好	黒褐		
25	土師器	高坏	(18.0)	[4.5]	—	破片	角 石英 赤粒 白粒 針	普通	灰黄		
26	土師器	高坏	—	[3.2]	(18.0)	脚部破片	雲 角 石英 白粒 黒粒	普通	黒褐		

番号	種別	器種	口径	器高	底径	残存	胎土	焼成	色調	出土位置・備考	図版
27	須恵器	壺	(16.0)	[3.5]	—	口縁破片	白粒 黒粒	普通	灰白	赤彩	12
28	土師器	甕	(12.0)	[4.6]	—	口縁破片	雲 角 石英 白粒	普通	暗赤灰		
29	土師器	甕	(12.0)	[4.4]	—	口縁1/4	雲 角 赤粒 白粒	普通	にぶい褐		
30	土師器	甕	(19.2)	[9.1]	—	口縁完形	雲 角 石英 白粒 黒粒	良好	にぶい黄橙		
31	土師器	甕	(18.2)	[7.2]	—	口縁1/4	雲 石英 赤粒 黒粒	普通	にぶい橙		
32	土師器	甕	(20.0)	[4.6]	—	口縁1/5	雲 角 石英 赤粒 白粒	良好	にぶい橙		
33	土師器	甕	(19.6)	[7.5]	—	口縁破片	雲 石英 赤粒 白粒 黒粒	普通	にぶい橙		
34	土師器	甕	(10.8)	[2.8]	—	口縁1/4	雲 黒粒	良好	橙		



第55号住居跡

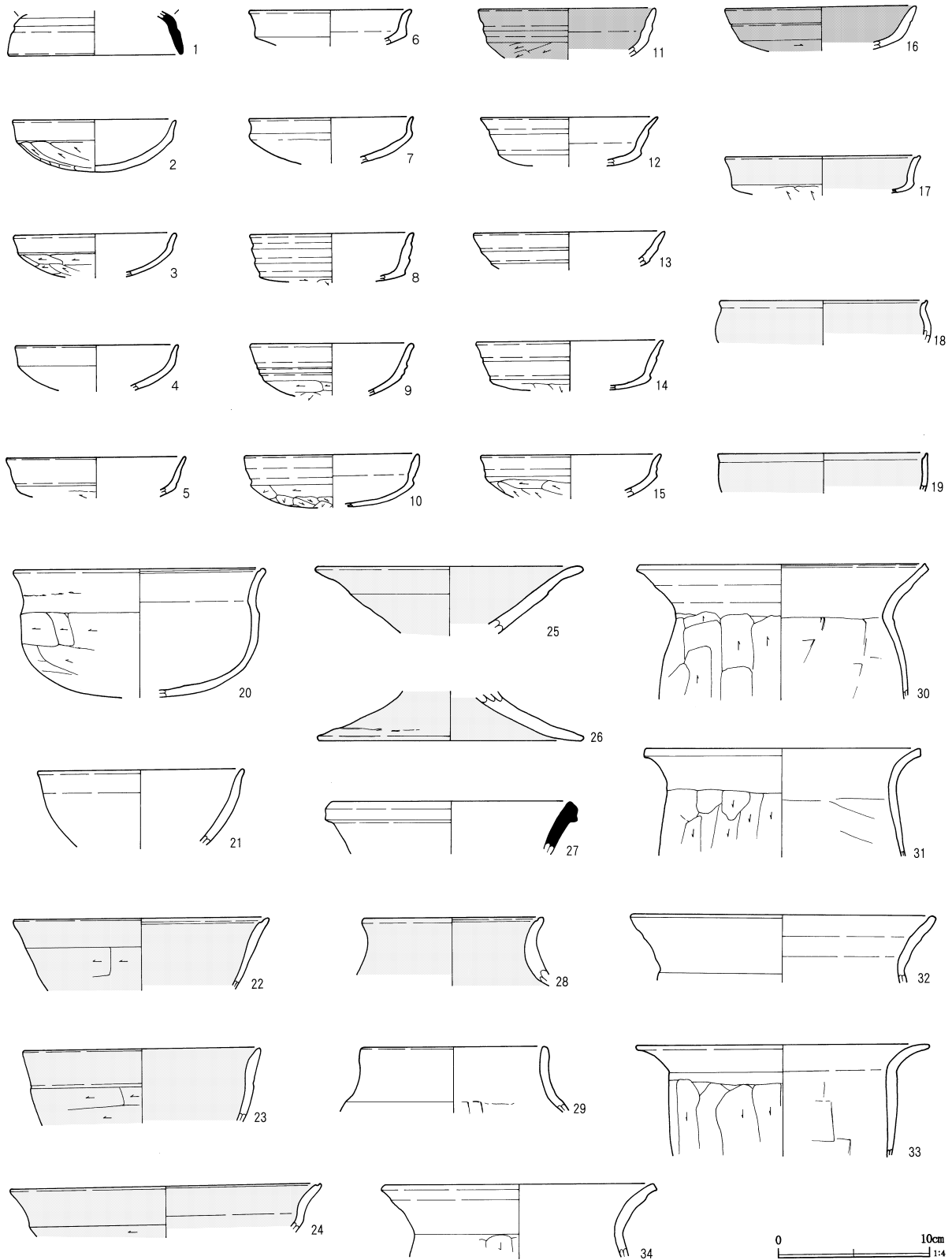
- 1 暗褐色土 黄褐色土粒子・ブロック (φ1.0~2.0cm)・焼土粒子・炭化物粒子が斑状に多量に混入
- 2 暗褐色土 1層と同じ。1層との間に黒色炭化物層が入る
- 3 暗褐色土 黄褐色土・青灰色土ブロック含む
- 4 暗褐色土 焼土粒子・炭化物粒子含む。青灰色土粒子が中央付近に集中して混入し、その下部に黒色炭化物層入る
- 5 暗褐色土 青灰色土粒子含む。やや粘性あり
- 6 暗褐色土 焼土・炭化物含む
- 7 暗褐色土 黄褐色土ブロック含む
- 8 暗褐色土 やや灰色帯びる。粘性あり
- 9 暗褐色土 青灰色ブロック (φ1.0~2.0cm) 含む
- 10 暗褐色土 青灰色~黄褐色土ブロック (φ1.0~2.0cm) 含む。焼土粒子・炭化物粒子少量
- 11 暗褐色土 黒色炭化物層を間層とする
- 12 暗褐色土 やや灰色を帯び粘性あり。暗褐色土と灰色土の混合層

貯蔵穴

- 13 暗褐色土 3層の黒色炭化物が間層として入る。焼土粒子が斑状に多量に混入
- 14 暗褐色土 黄褐色土ブロックと炭化物粒子が斑状に混入
- 15 暗褐色土 やや灰色を帯び、粘性強い
- カマド
- 16 暗白色土 灰層
- 17 暗褐色土 焼土粒子・ブロック多量
- 18 暗褐色土 黄褐色土粒子少量
- 19 黒色土 炭化物層。灰層を間にはさむ。焼土粒子・ブロック含む
- 20 暗褐色土 炭化物粒子・黄褐色土粒子少量
- 21 暗褐色土 黄褐色土ブロック多量

第20図 第55号住居跡





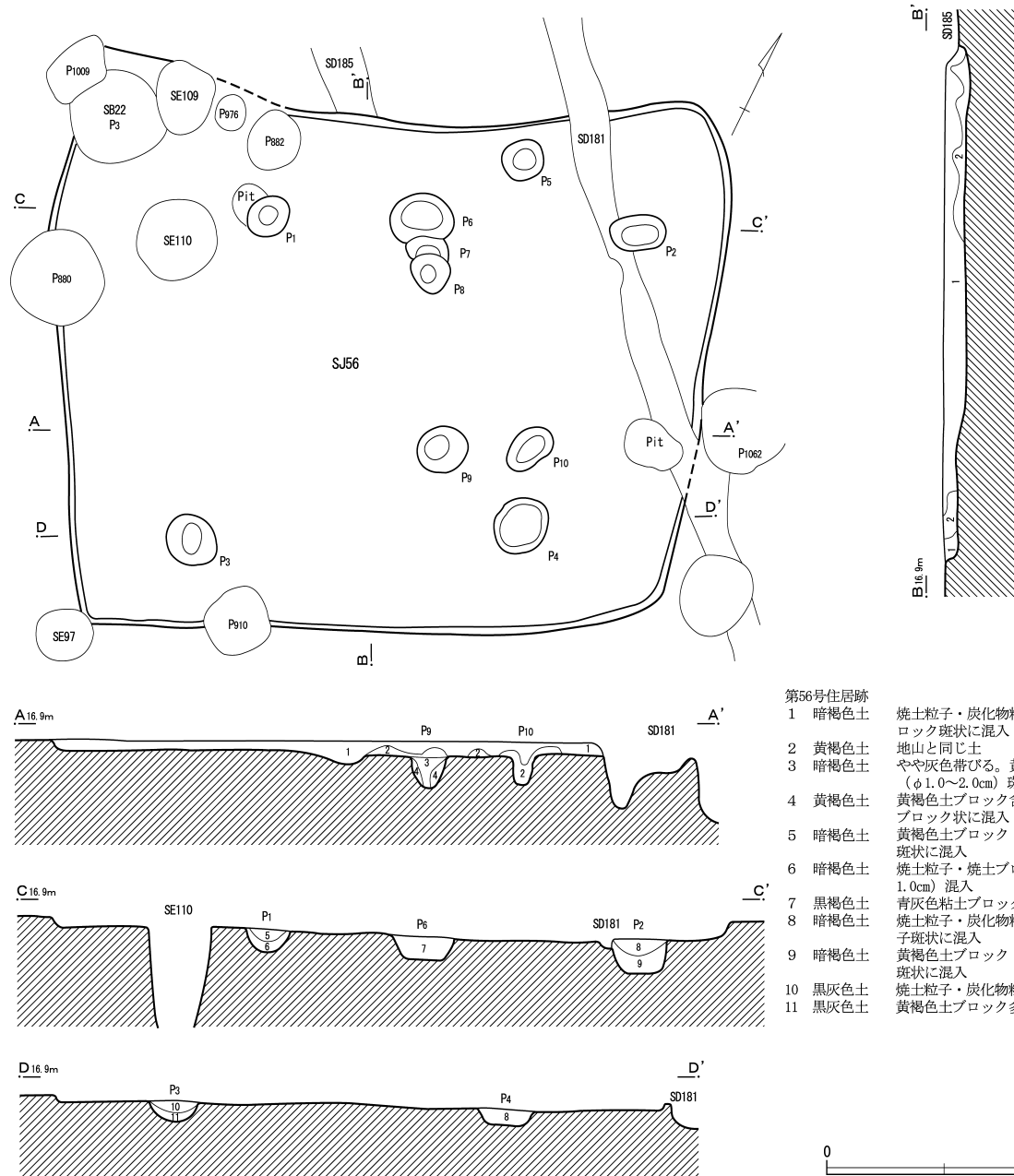
第21図 第55号住居跡出土遺物

**第56号住居跡 (第22図)**

I-13グリッドに位置する。平面規模は南北4.3m、東西5.5mのややいびつな台形を呈し、床面の深

さは遺構確認面から6~14cmである。主軸(南北)方向はN-27°-Wである。

カマド、貯蔵穴、壁溝とも検出しなかった。ピツ



第22図 第56号住居跡

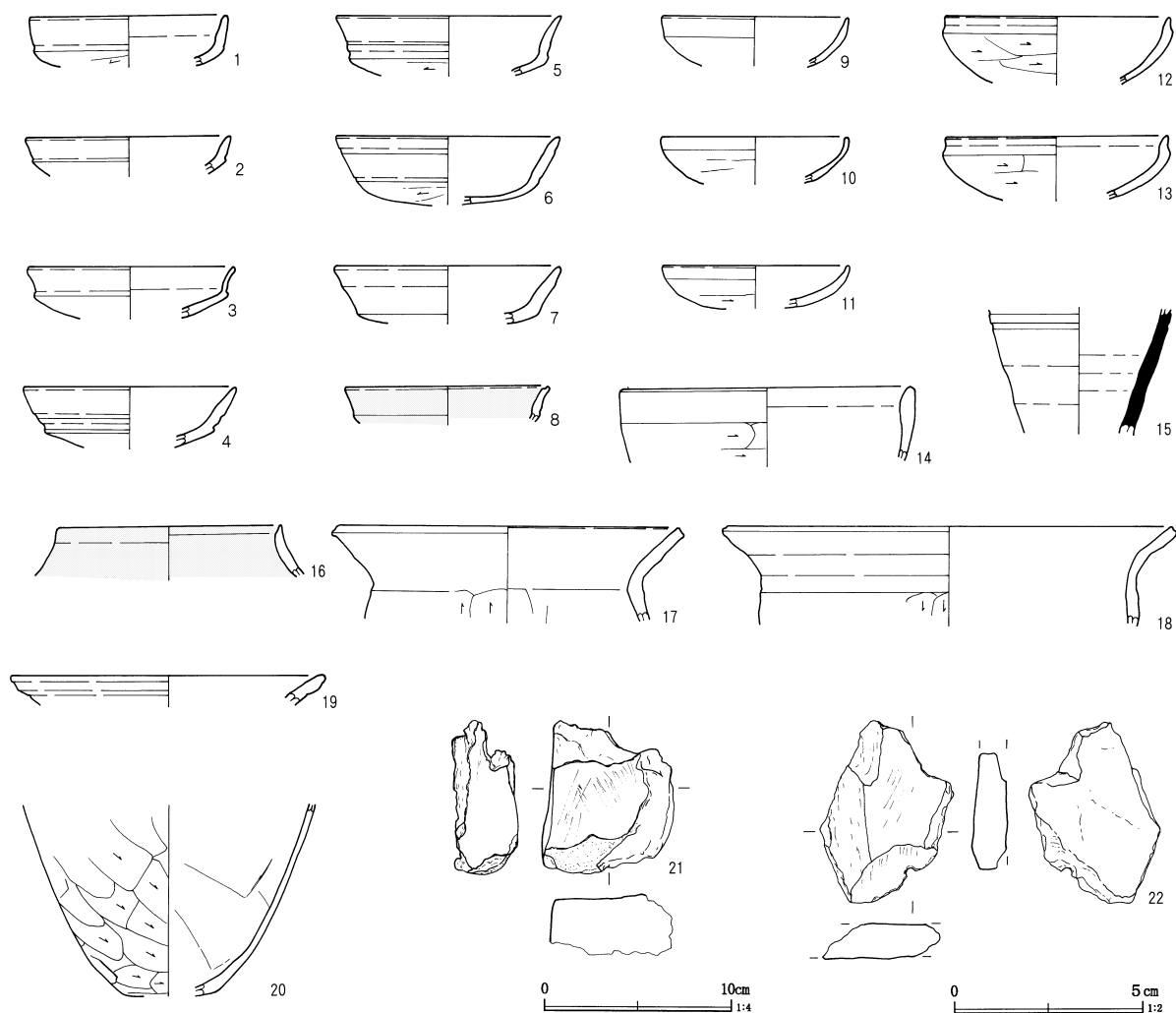
トは10基検出したが、配列は不規則で、支柱穴になりそうなピットはP3・P4のみである。P1~P10の深さはそれぞれ、17・29・16・11・30・15・10・40・31・33cmである。

出土遺物は比較的多いが、図示できたものは第23図のとおりである。土師器環13点、土師器鉢1点、須恵器壺1点、土師器壺1点、土師器甕5点、砥石1点、滑石製模造品1点。1~3は蓋模倣環、4~7

は有段口縁環、8は比企型環、9~11は北武蔵型環、12・13は口縁がS字形に屈曲するものである。15は長頸壺の頸部と考えられる。16は小型の壺であるが、赤彩を施している。22は滑石製模造品の破片で、未製品である可能性がある。

### 第57号住居跡 (第24図)

H-12グリッドに位置する。住居跡の西側約半分



第23図 第56号住居跡出土遺物

第6表 第56号住居跡出土遺物観察表 (第23図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	残存	胎土	焼成	色調	出土位置・備考	図版
1	土師器	坏	(10.5)	[2.6]	—	破片	雲 角 赤粒 白粒	普通	橙	赤彩	
2	土師器	坏	(11.0)	[1.8]	—	破片	雲 角 石英 赤粒	普通	橙		
3	土師器	坏	(11.0)	[2.7]	—	口縁破片	雲 角 白粒 黒粒	普通	にぶい橙		
4	土師器	坏	(11.4)	[3.2]	—	破片	雲 角 砂粒 赤粒 白粒	普通	明赤褐		
5	土師器	坏	(12.0)	[3.1]	—	口縁破片	雲 角 白粒	普通	橙		
6	土師器	坏	(12.0)	[3.6]	—	1/5	雲 角 石英 白粒	普通	褐灰		
7	土師器	坏	(12.0)	[3.0]	—	破片	雲 角 赤粒 白粒	普通	褐灰		
8	土師器	坏	(11.0)	[1.9]	—	破片	雲 白粒 黒粒	普通	橙		
9	土師器	坏	(10.0)	[2.6]	—	破片	雲 角 石英 砂粒 白粒	普通	橙		
10	土師器	坏	(10.0)	[2.4]	—	破片	雲 角 白粒 黒粒	普通	にぶい黄橙		
11	土師器	坏	(10.0)	[2.2]	—	1/5	雲 黒粒	不良	浅黄橙		
12	土師器	坏	(12.0)	[3.5]	—	破片	雲 角 石英 白粒 黒粒	普通	橙		
13	土師器	坏	(11.8)	[3.3]	—	1/5	雲 角 石英 白粒 黒粒	普通	黒褐		
14	土師器	鉢	(13.6)	[3.7]	—	口縁破片	雲 石英 赤粒 白粒	普通	にぶい橙		
15	須恵器	壺	—	[6.6]	—	1/4	白粒 黒粒	良好	暗灰		
16	土師器	壺	(12.0)	[2.6]	—	破片	雲 角 赤粒 白粒 針	普通	にぶい橙		
17	土師器	甕	(19.0)	[5.0]	—	1/4	雲 赤粒 白粒	普通	にぶい黄橙		
18	土師器	甕	(24.0)	[5.3]	—	口縁破片	雲 赤粒 白粒	普通	にぶい橙		
19	土師器	甕	(17.0)	[1.5]	—	破片	雲 赤粒 白粒	普通	にぶい橙		

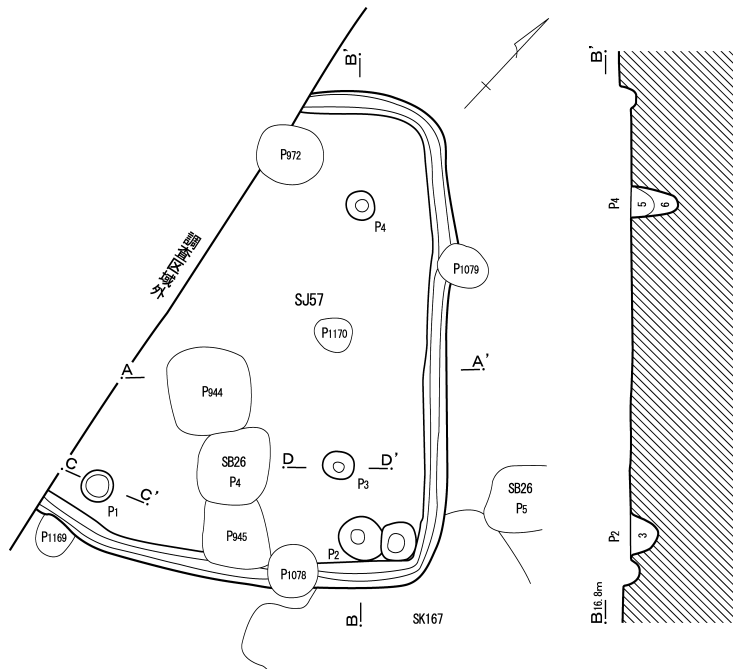
番号	種別	器種	口径	器高	底径	残存	胎土	焼成	色調	出土位置・備考	図版
20	土師器	甕	—	[10.4]	(5.0)	底部1/4	雲 角 石英 白粒 黒粒	普通	黒褐	未製品、穿孔痕	50
21	石製品	砥石	長さ8.2	幅6.6	厚さ3.1						
22	石製品	模造品	長さ4.9	幅3.2	厚さ0.9		滑石				

は調査区域外となっている。第26号掘立柱建物跡や、第167号土坑、P944・945・972等が重複している。平面規模は南北が3.9m、東西は2.2m以上で、床面の深さは遺構確認面から1～8cmである。主軸（南北）方向はN-42°-Wである。

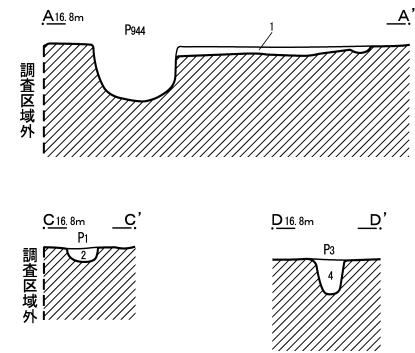
カマド及び貯蔵穴は検出しなかった。壁溝は調査範囲内では全周している。幅は15～21cm、深さは3

～7cmである。ピットは4基検出し、P1・P3・P4は主柱穴になる可能性が高い。P1～P4の深さはそれぞれ、12・24・24・36cmである。

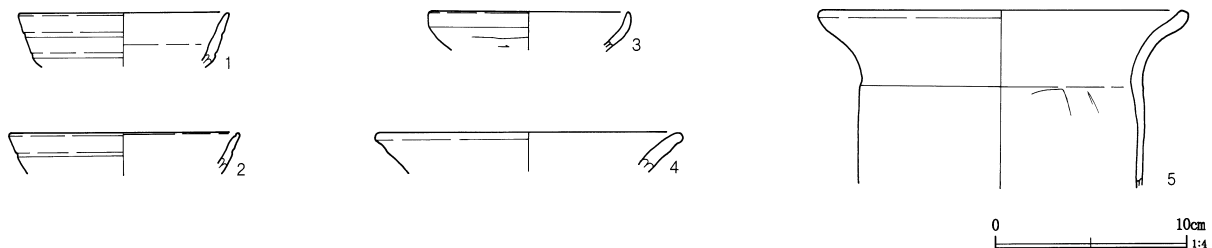
出土遺物のうち、図示できたものは第25図のとおり、土師器環3点、土師器甕口縁部2点である。1・2は有段口縁環、3は北武蔵型環である。



第24図 第57号住居跡



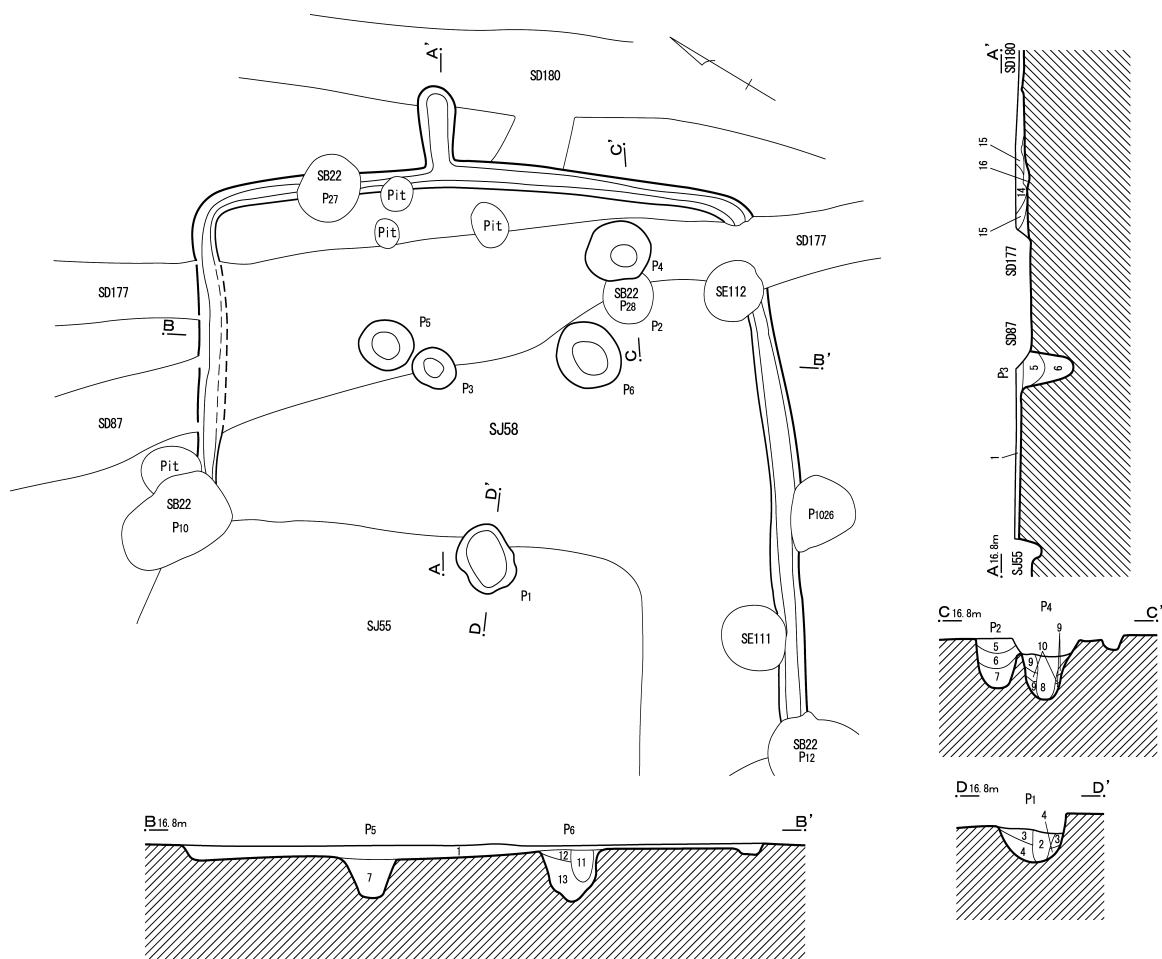
- 第57号住居跡
- 1 暗褐色土 やや灰色帯び粘性あり。青灰色土ブロック含む
  - 2 暗褐色土 やや灰色帯び粘性あり。壁際に青灰色土ブロック(φ3.0～4.0cm)混入
  - 3 暗褐色土 やや灰色帯び粘性あり。焼土粒子、炭化物粒子含む
  - 4 黒褐色土 黄褐色土ブロック少量
  - 5 黒褐色土 黄褐色土粒子、炭化物粒子多量
  - 6 暗青灰色土 黒色土少量



第25図 第57号住居跡出土遺物

第7表 第57号住居跡出土遺物観察表（第25図）

番号	種別	器種	口径	器高	底径	残存	胎土	焼成	色調	出土位置・備考	図版
1	土師器	環	(11.0)	[2.7]	—	口縁破片	雲 角 白粒	普通	黒褐	P2	
2	土師器	環	(12.0)	[2.2]	—	口縁破片	雲 角 石英 赤粒 白粒	普通	褐		
3	土師器	環	(10.4)	[2.0]	—	口縁破片	雲 角 白粒 黒粒	普通	橙		
4	土師器	甕	(16.0)	[2.1]	—	口縁破片	雲 角 赤粒 黒粒	普通	褐灰	P1	
5	土師器	甕	(18.8)	[9.4]	—	口縁1/4	雲 角 石英 赤粒 白粒	普通	にぶい褐		

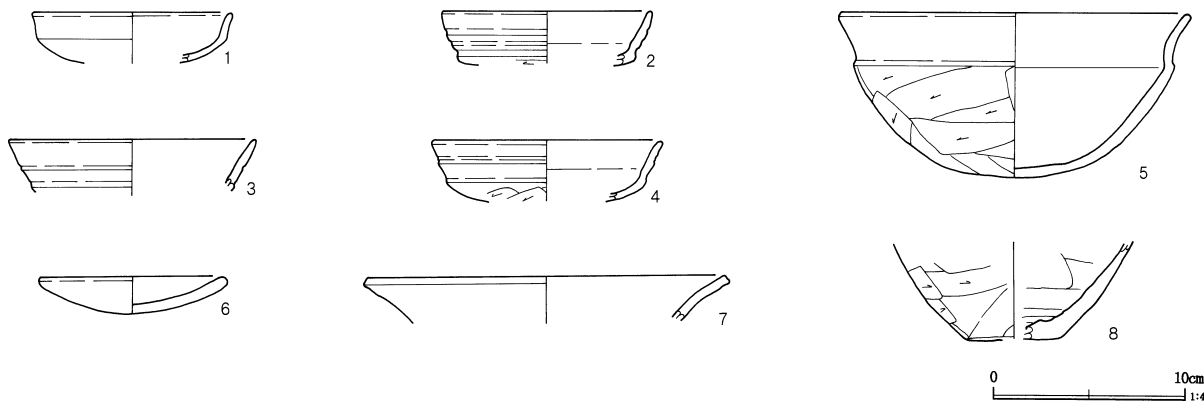


第58号住居跡

- |        |                                    |         |                        |
|--------|------------------------------------|---------|------------------------|
| 1 暗褐色土 | 焼土粒子、炭化物粒子少量                       | 10 黄褐色土 | 黄褐色土ブロック多量             |
| 2 黒褐色土 | 焼土、炭化物少量                           | 11 暗褐色土 | やや粘性あり。炭化物粒子、黄褐色土粒子少量  |
| 3 暗褐色土 | やや灰色帯びる。焼土・炭化物少量                   | 12 暗褐色土 | 焼土粒子、炭化物粒子、黄褐色土粒子斑状に混入 |
| 4 暗褐色土 | 黄褐色～青灰色土ブロック (φ1.0～2.0cm) 斑状に混入    | 13 暗褐色土 | 暗褐色土ブロックと黄褐色土ブロックの混合層  |
| 5 暗褐色土 | 焼土粒子、炭化物粒子、黄褐色土粒子斑状に混入             |         | カマド                    |
| 6 暗褐色土 | やや灰色帯びる。黄褐色土ブロック (φ5.0cm) 含む       | 14 暗褐色土 | 焼土多量                   |
| 7 暗褐色土 | 灰色～明灰色の粘質土ブロック (φ1.0～3.0cm) 斑状に混入。 | 15 暗褐色土 | 1層よりも焼土が少ない            |
| 8 暗褐色土 | やや粘性あり。黄褐色土ブロック (φ2.0～3.0cm) 少量    | 16 暗褐色土 | 黄褐色土ブロック多量             |
| 9 暗褐色土 | 1層よりもやや明るい                         |         |                        |



第26図 第58号住居跡



第27図 第58号住居跡出土遺物

第8表 第58号住居跡出土遺物観察表 (第27図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	残存	胎土	焼成	色調	出土位置・備考	図版
1	土師器	坏	(10.6)	[2.7]	—	口縁1/4	雲角 石英 赤粒 白粒	普通	橙	P5	12 12
2	土師器	坏	(11.0)	[3.2]	—	口縁破片	雲角 赤粒 白粒	普通	橙	P5	
3	土師器	坏	(13.0)	[2.8]	—	口縁破片	雲角 石英 赤粒 黒粒	普通	にぶい褐	P5	
4	土師器	坏	(12.0)	[3.2]	—	口縁破片	雲角 石英 白粒 黒粒	普通	褐灰		
5	土師器	鉢	18.5	8.7	—	1/2	角 赤粒 白粒 黒粒	普通	橙	P5	
6	土師器	皿	9.6	1.9	—	1/2	雲 石英 黒粒	普通	にぶい黄橙		
7	土師器	甕	(19.0)	[2.4]	—	口縁破片	雲 白粒 黒粒	良好	にぶい橙	P3	
8	土師器	甕	—	[5.1]	(5.0)	底部破片	雲角 白粒 黒粒	普通	黄灰		

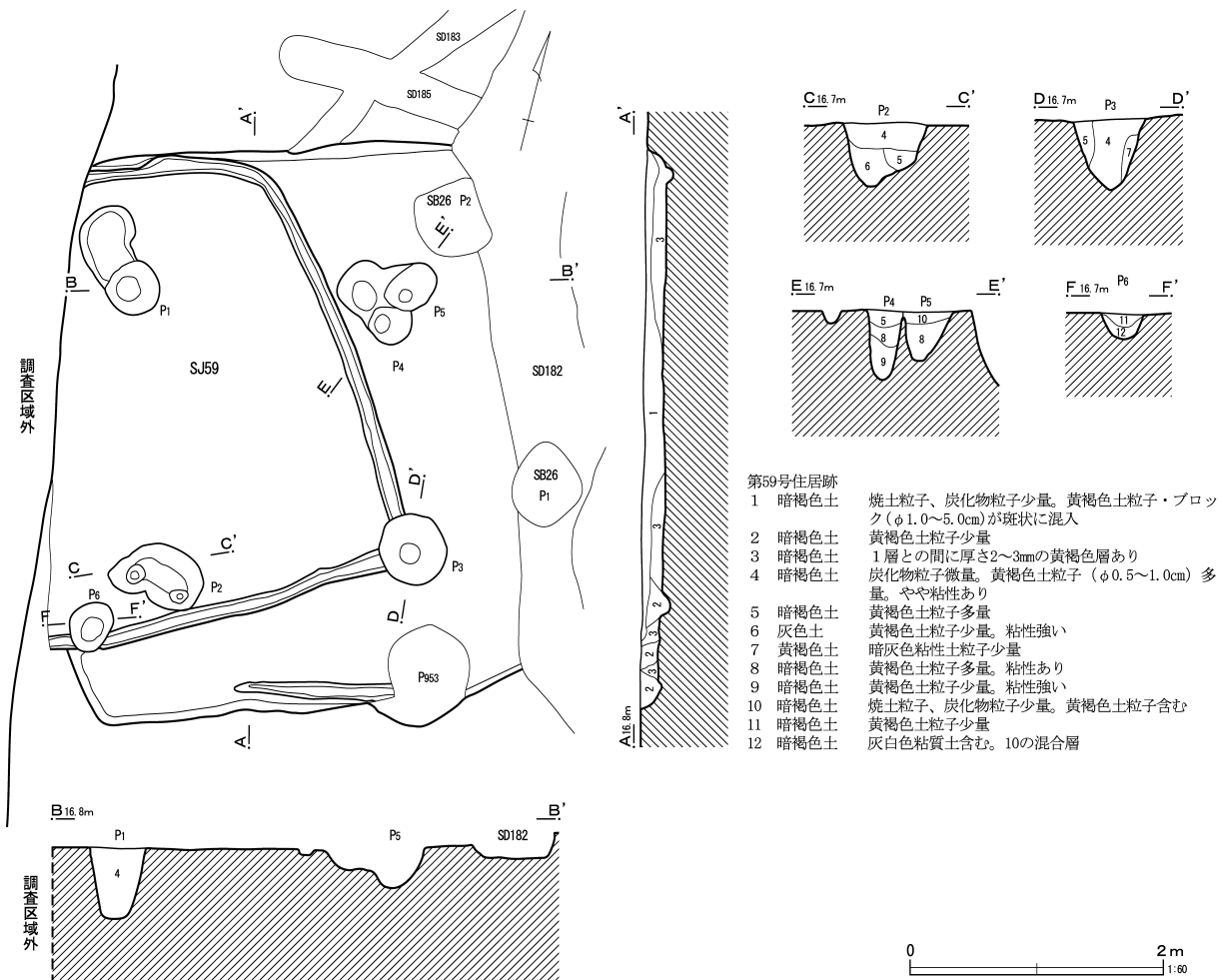
第58号住居跡 (第26図)

I-12・13グリッドに位置する。西側は第55号住居跡と、東側では第177・87号溝跡と重複する。溝跡の方が住居跡よりも新しい時期のものである。平面規模は南北4.7m、東西は3.0m以上で、床面に深さは遺構確認面から2~5cmと非常に浅い。主軸方向はN-58°-Eである。

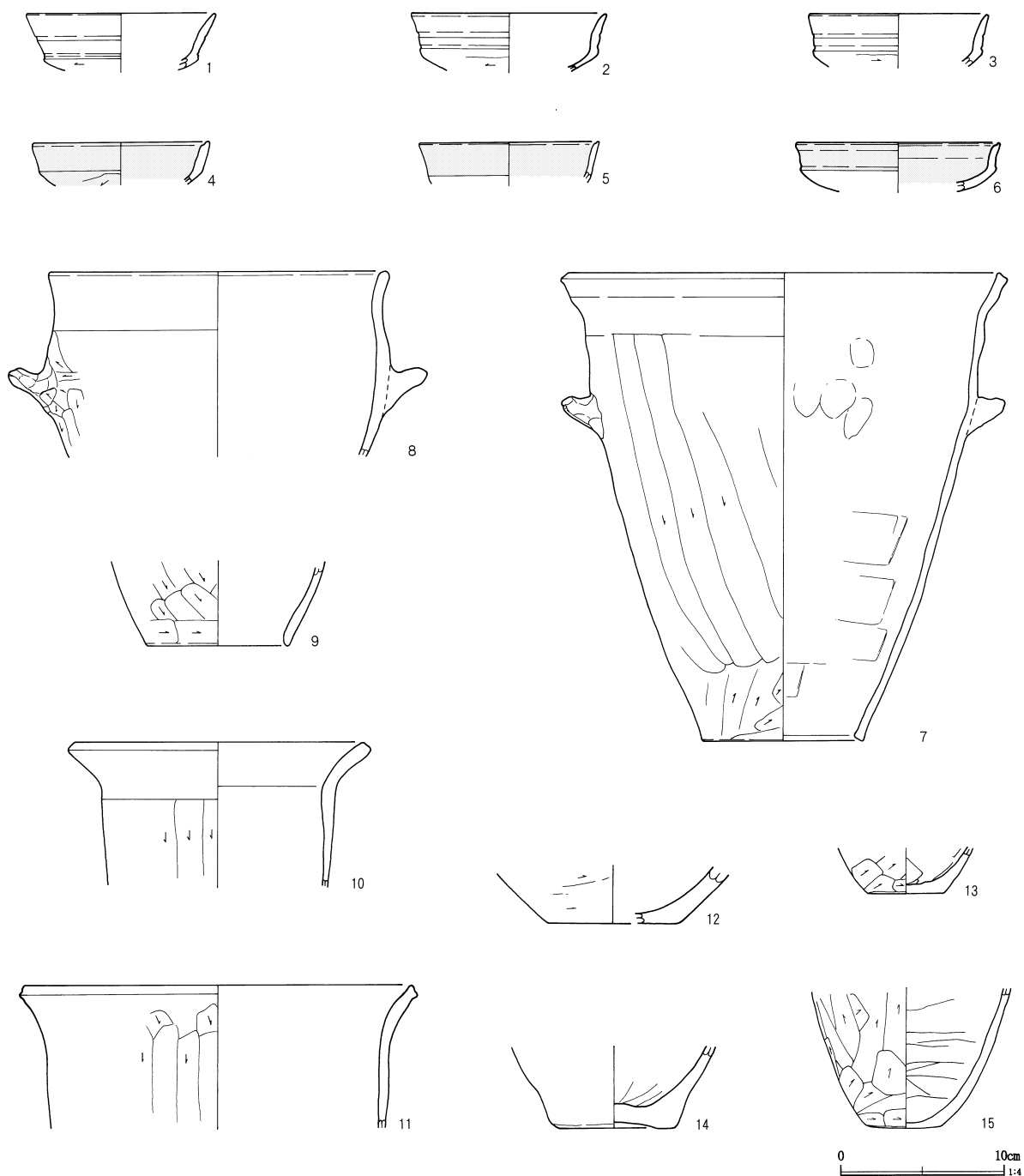
カマドは東壁中央よりやや北寄りに設置されている。残存状態は悪く、カマドの東側は第180号溝跡に

よって切られている。貯蔵穴として調査した遺構はなかった。壁溝は全周しており、幅15~24cm、深さは3~8cmである。ピットは6基検出した。P6・P8が主柱穴になると想定される。また、位置や規模からみてP4が貯蔵穴となる可能性がある。P1~P6の深さはそれぞれ、36・36・37・40・31・40cm。

出土遺物のうち、図示できたものは第27図のとおりである。いずれも土師器で、1は蓋模倣坏、2~4は有段口縁坏、他に鉢1点、皿1点、甕2点がある。



第28図 第59号住居跡



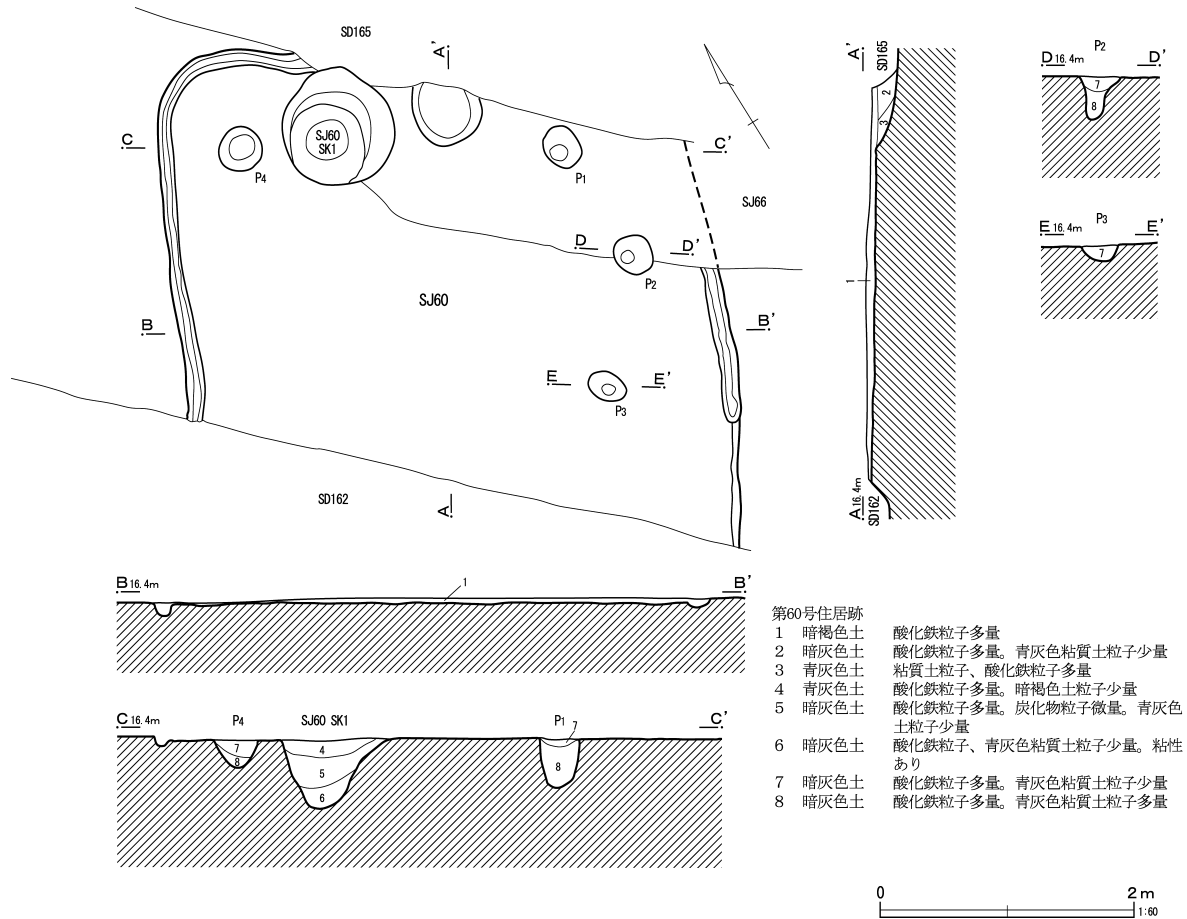
第29図 第59号住居跡出土遺物

第9表 第59号住居跡出土遺物観察表 (第29図)

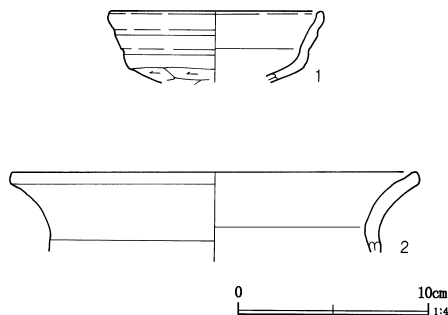
番号	種別	器種	口径	器高	底径	残存	胎土	焼成	色調	出土位置・備考	図版
1	土師器	坏	(11.6)	[3.5]	—	1/4	雲 角 砂粒 赤粒 白粒	普通	黒褐		
2	土師器	坏	(12.0)	[3.5]	—	破片	角 石英 赤粒 白粒 黒粒	普通	橙		
3	土師器	坏	(11.0)	[3.2]	—	破片	雲 角 石英 赤粒 黒粒	普通	橙		
4	土師器	坏	(11.0)	[2.6]	—	1/5	雲 角 石英 赤粒 白粒	普通	にぶい黄橙	P5、赤彩	
5	土師器	坏	(11.0)	[2.4]	—	破片	雲 角 石英 赤粒 白粒	普通	褐灰	赤彩	
6	土師器	坏	(12.6)	[2.8]	—	破片	赤粒 白粒 黒粒	普通	明赤褐	赤彩	
7	土師器	甑	(27.4)	28.8	(10.0)	1/3	雲 角 石英 赤粒 白粒	普通	黒褐		
8	土師器	甑	20.8	[11.5]	—	破片	雲 石英 赤粒 黒粒	普通	浅黄橙	P2	
9	土師器	甑	—	[5.0]	(9.0)	1/5	雲 石英 赤粒 白粒	普通	褐灰		



番号	種別	器種	口径	器高	底径	残存	胎土	焼成	色調	出土位置・備考	図版
10	土師器	甕	(19.0)	[9.0]	—	破片	雲 赤粒 白粒	普通	にぶい褐	P1	
11	土師器	甕	(22.0)	[8.7]	—	破片	雲 赤粒 白粒 黒粒	普通	にぶい黄橙		
12	土師器	甕	—	[3.4]	(8.0)	1/4	角 石英 白粒 黒粒	普通	赤橙		
13	土師器	甕	—	[2.8]	4.7	底部1/2	雲 角 赤粒 黒粒	普通	オリーブ黒		
14	土師器	甕	—	[5.0]	7.5	4/5	雲 角 白粒	普通	橙		
15	土師器	甕	—	[8.7]	4.6	底部のみ	雲 角 石英 赤粒 白粒	普通	黒褐	P8	



第30図 第60号住居跡



第31図 第60号住居跡出土遺物

### 第59号住居跡 (第28図)

H-13グリッドに位置する。2軒の住居跡が重複しているようだが、北壁が一致することから、建替えたものと想定して1軒とした。住居跡の東側は第182号溝跡によって切られていて、規模等を確認することができない。土層の観察から、壁溝がめぐる小さい方の住居跡が、大きい方の住居跡よりも新しい時期のものであることが明らかである。

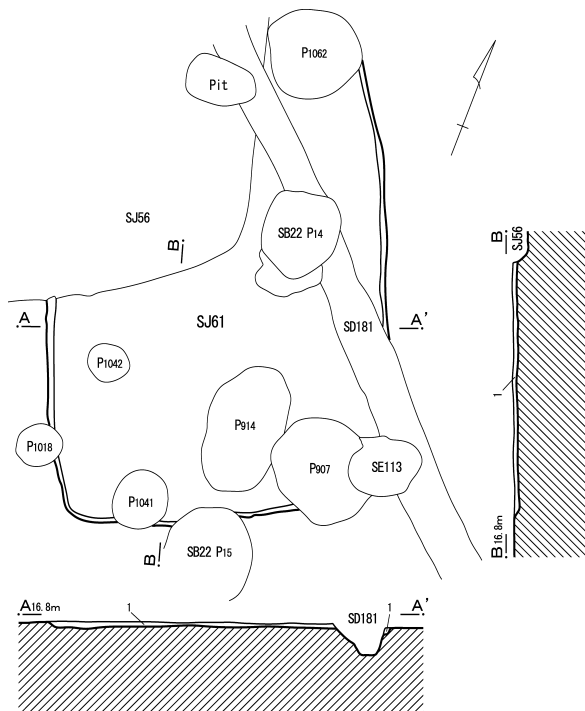
第10表 第60号住居跡出土遺物観察表 (第31図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	残存	胎土	焼成	色調	出土位置・備考	図版
1	土師器	坏	(11.4)	[3.7]	—	1/4	雲 石英 赤粒 白粒 黒粒	普通	明赤褐		
2	土師器	甕	(21.4)	[4.3]	—	口縁破片	雲 石英 赤粒	普通	浅黄橙	SK1	

平面規模は、大きい方の住居跡が南北4.4m、東西3.6m以上、床面の深さ8～11cm、主軸(南北)方向はN-20°-Wである。小さい方は南北3.7m、東西2.4m、床面の深さ1～3cm、主軸(南北)方向はN-29°-Wである。

カマドや貯蔵穴は検出しなかった。ピットは6基検出したが、P1・2・3・5は大きい住居跡の主柱穴になると考えられる。P1～6の深さはそれぞれ、55・49・55・54・40・22cmである。

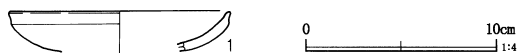
出土遺物のうち図示できたものは第29図のとおりである。1～3は有段口縁環、4は蓋模倣環、5・6は比企型環である。他に土師器甕3点、土師器甕6点である。



第61号住居跡  
1 暗褐色土 黄褐色土粒子・ブロック斑状に混入。焼土粒子、炭化物粒子少量



第32図 第61号住居跡



第33図 第61号住居跡出土遺物

第11表 第61号住居跡出土遺物観察表(第33図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	残存	胎土	焼成	色調	出土位置・備考	図版
1	土師器	環	(12.0)	[2.0]	—	破片	雲 赤粒 白粒	不良	橙		

### 第60号住居跡(第30図)

H-8グリッドに位置する。住居跡の南側は第162号溝跡が重複し、南壁は検出できなかった。また北側は第66号住居跡・第165号溝跡が重複している。平面規模は南北3.1m以上、東西4.4mで、床面の深さは1～3cmと非常に浅い。主軸(南北)方向はN-31°-Eである。

カマド及び貯蔵穴は検出できなかった。壁溝は東壁の南寄りで一部途切れていた。幅は9～15cm、深さは4～8cmである。ピットは4基検出したが、主柱穴を特定することは困難である。P1～P4の深さはそれぞれ38・34・13・24cmである。また住居跡に伴う土坑(SJ60-SK1)を1基検出したが、貯蔵穴になる可能性もある。

出土遺物のうち、図示できたものは第31図のとおり、土師器有段口縁環と甕口縁部1点ずつであった。

### 第61号住居跡(第32図)

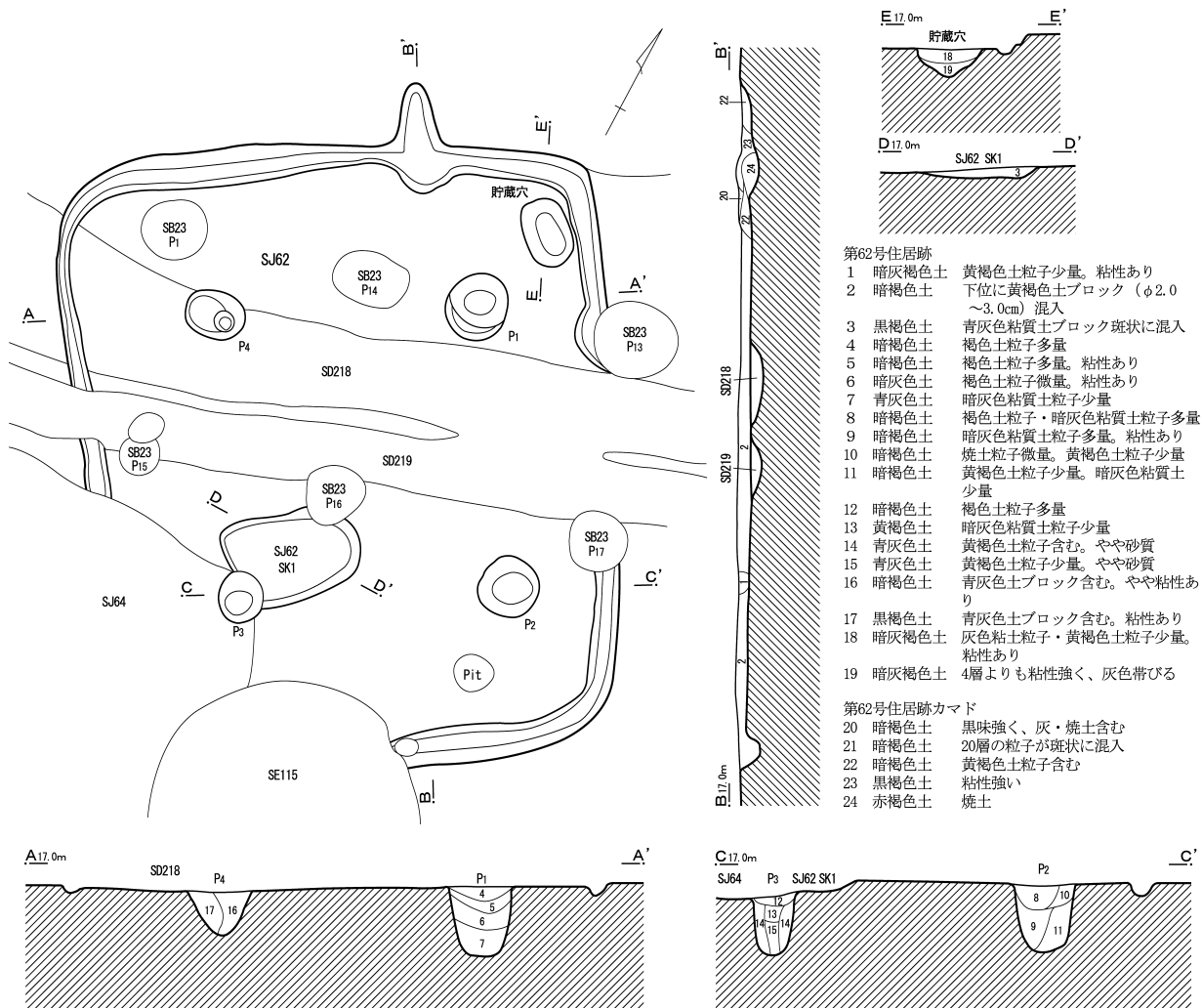
I-13グリッドに位置する。北側は第56号住居跡が重複し、中央東寄りには第181号溝跡が貫通し、第22号掘立柱建物跡や第113号井戸跡等も重複しているため、住居跡本来の状況を観察することはできなかった。平面規模は南北3.6m以上、東西2.7mで、床面の深さは遺構確認面から1～3cmと非常に浅い。主軸(南北)方向はN-20°-Wである。

カマド・貯蔵穴・壁溝とも検出することができなかった。この住居跡に伴うピットも検出できなかった。他の遺構によって失われたか、または本来住居ではなかった可能性もある。

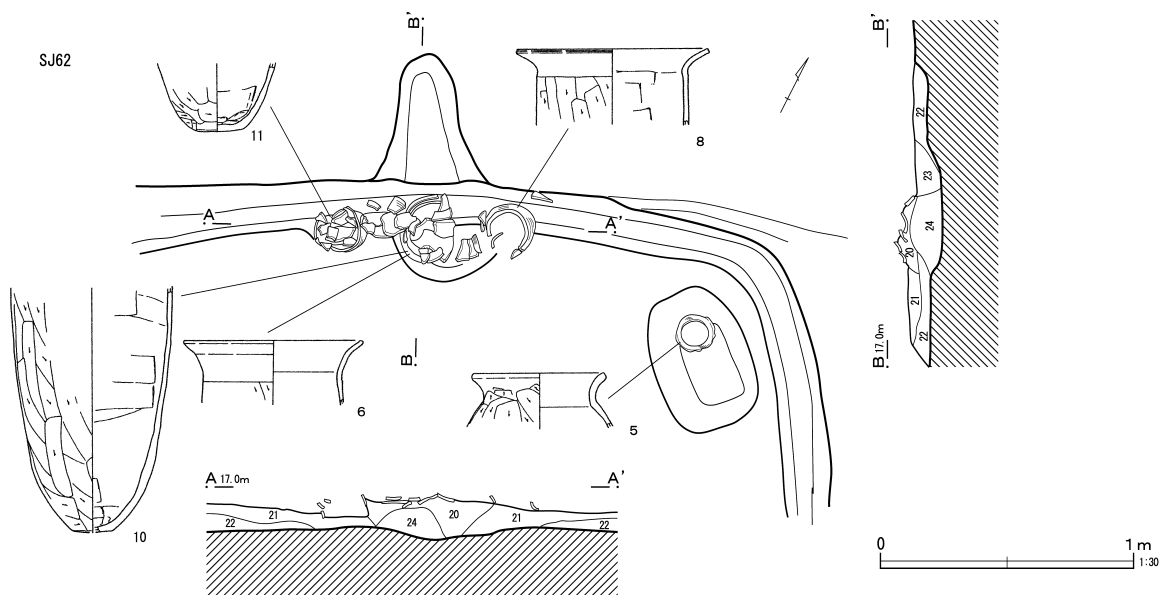
出土遺物は少なく、図示できたものは第33図のとおり、土師器環1点のみである。

### 第62号住居跡(第34・35図)

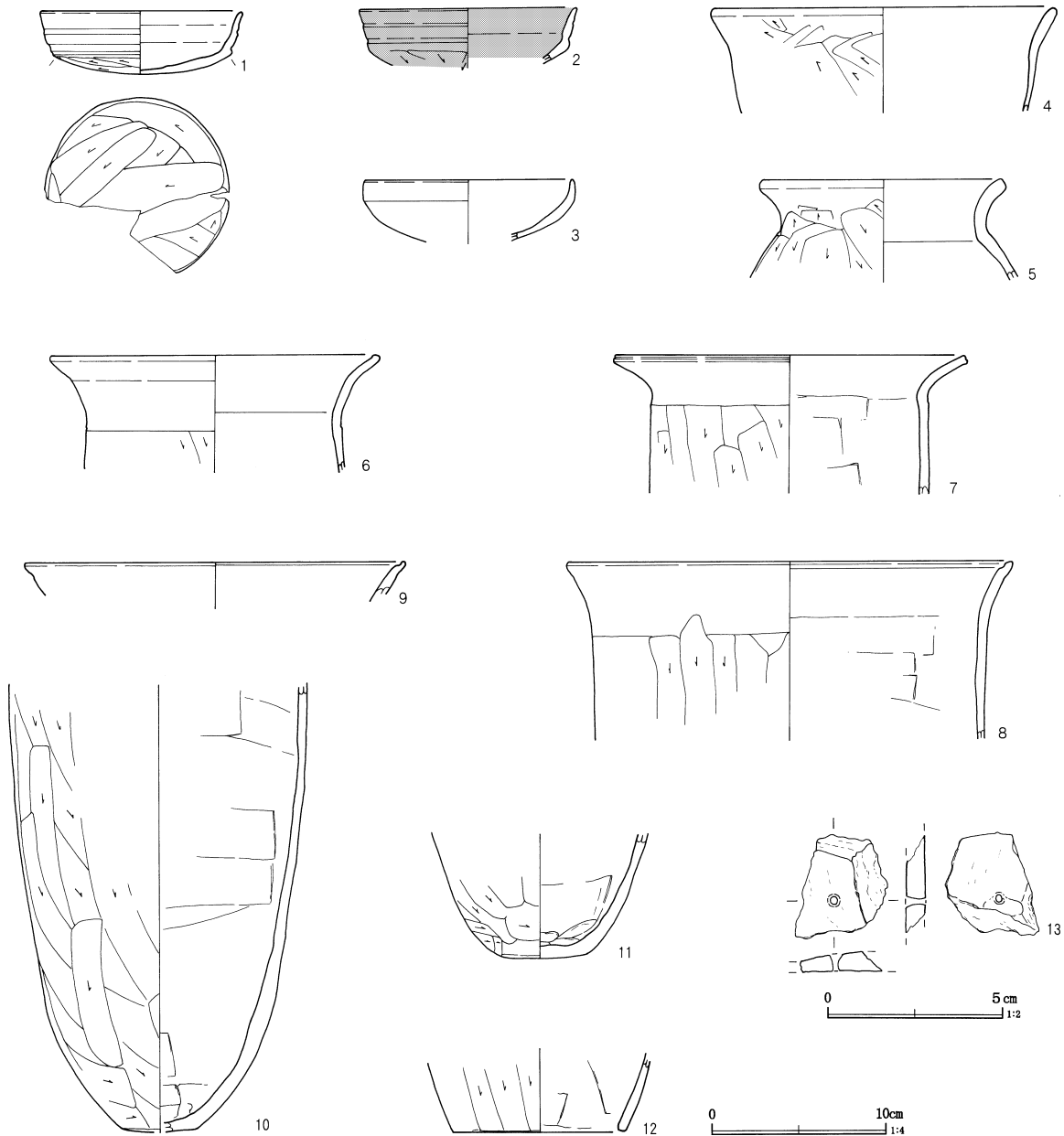
I-16・17グリッドに位置する。中央付近には第218・219号溝跡が東西に貫通し、南西隅付近には第



第34図 第62号住居跡



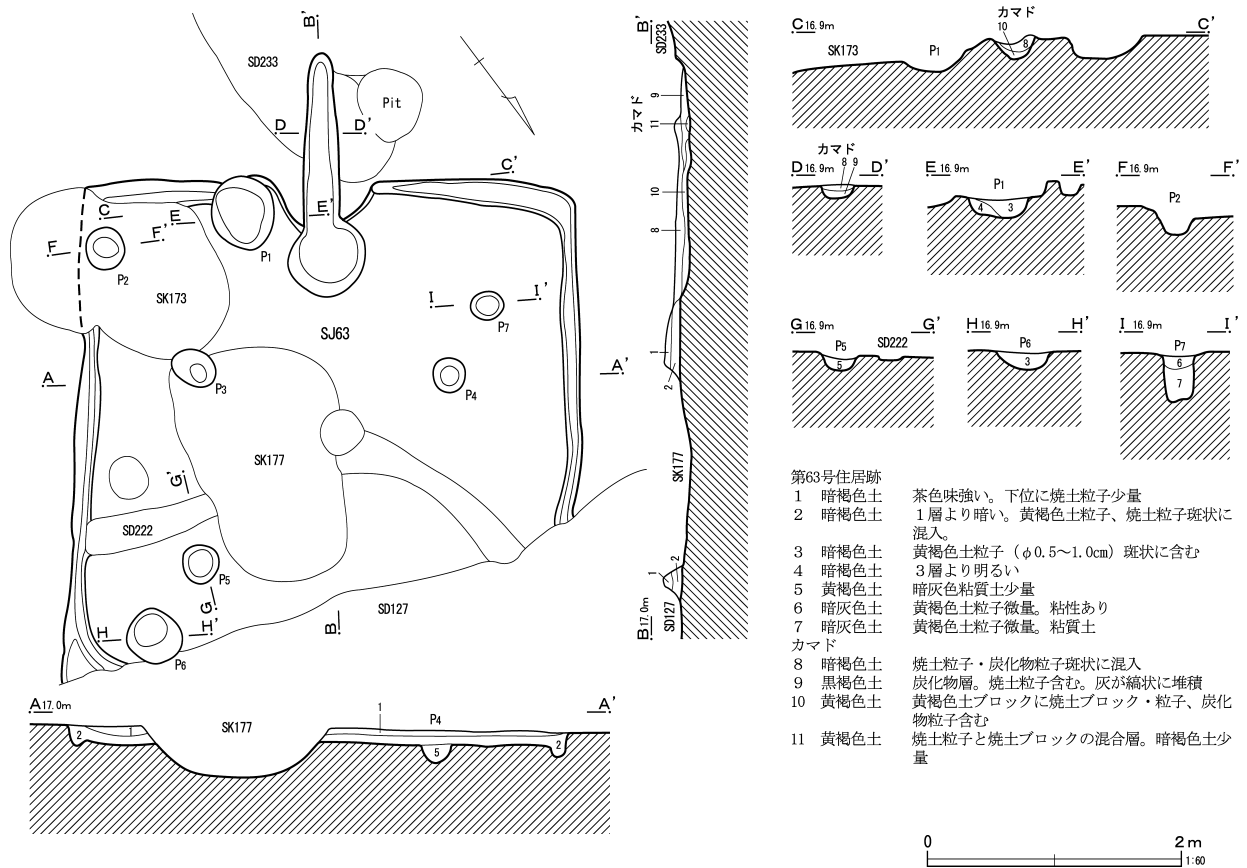
第35図 第62号住居跡カマド



第36図 第62号住居跡出土遺物

第12表 第62号住居跡出土遺物観察表 (第36図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	残存	胎土	焼成	色調	出土位置・備考	図版
1	土師器	坏	(11.7)	[3.6]	—	2/3	雲 赤粒 白粒	良好	褐灰		12
2	土師器	坏	(12.6)	[3.2]	—	破片	雲 赤粒 白粒 針	普通	褐灰	内外面黒色処理	
3	土師器	坏	(12.0)	[3.5]	—	破片	雲 角 赤粒	不良	明赤褐		
4	土師器	鉢	(20.0)	[6.0]	—	口縁破片	雲 角 石英 赤粒 白粒	普通	灰白		
5	土師器	甕	14.0	[5.5]	—	4/5	雲 砂粒 赤粒 白粒 黒粒	普通	明褐灰	P1	12
6	土師器	甕	(19.0)	[6.7]	—	3/4	角 赤粒 白粒	普通	にぶい黄橙	カマド	
7	土師器	甕	20.5	[8.0]	—	口縁2/3	雲 角 石英 赤粒 白粒	普通	橙	カマド	12
8	土師器	甕	(25.8)	[10.3]	—	口縁破片	雲 角 石英 赤粒 白粒	普通	にぶい橙		
9	土師器	甕	(22.1)	[2.3]	—	口縁破片	雲 角 赤粒 白粒	普通	にぶい橙		
10	土師器	甕	—	[26.0]	(4.4)	1/2	雲 角 赤粒 白粒 黒粒	普通	灰褐	カマド	
11	土師器	甕	—	[7.3]	—	底部のみ	雲 石英 赤粒 白粒 黒粒	普通	にぶい褐	カマド	
12	土師器	甕	—	[4.4]	(10.0)	底部破片	雲 赤粒 白粒 針	普通	にぶい橙		
13	石製品	模造品	長さ2.7	幅2.4	厚さ0.5	破片	滑石製			未製品	



第37図 第63号住居跡

第13表 第63号住居跡出土遺物観察表（第38図）

番号	種別	器種	口径	器高	底径	残存	胎土	焼成	色調	出土位置・備考	図版
1	土師器	坏	(12.8)	[3.0]	—	破片	雲 赤粒 白粒	普通	灰黄褐	内外面黒色処理	



第38図 第63号住居跡出土遺物

64号住居跡や第115号井戸跡が重複している。土層断面の観察から、溝跡は住居跡よりも古い時期の遺構と推測される。平面規模は南北5.0m、東西4.3mで、床面の深さは遺構確認面から5~11cmである。

カマドは北壁中央の東寄りに設置されている。残存状況は不良で、0.9mを残すのみであった。貯蔵穴はカマドの東側に設置され、平面は長径54cm、短径39cm、深さ21cmである。壁溝は全周しカマドの前にも巡る。幅は9~30cm、深さは4~8cmである。

ピットは4基検出し、いずれも支柱穴になると想定される。P1~P4の深さはそれぞれ、56・74・58・54cmである。また住居に伴う土坑を1基検出し、長

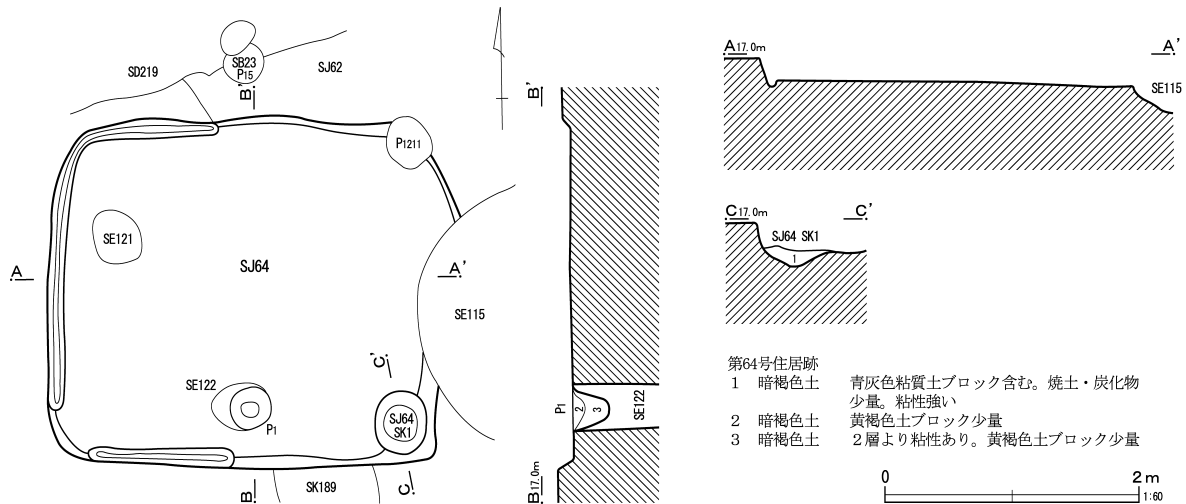
径108cm、短径75cm、深さ10cmを測る。

出土遺物のうち、図示できたものは第36図のとおりである。13は滑石製模造品の破片で、破片中央部に穿孔がみられる。

### 第63号住居跡（第37図）

H・I-16グリッドに位置する。北側は第127号溝跡が重複するため、北壁を検出することは出来なかった。平面規模は南北3.3m以上、東西4.0mで、床面の深さは遺構確認面から9~14cmと、比較的深い方である。主軸方向はN-37°-Eである。

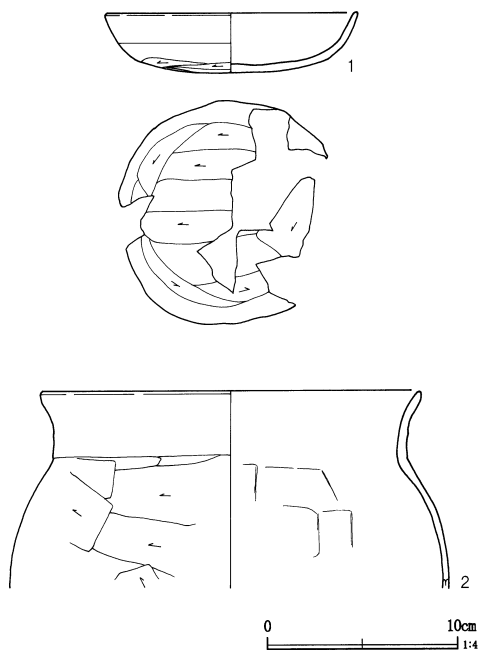
カマドは南壁の中央に設置されており、煙道部は1.4m残存していた。カマドの東側に隣接するP1は、おそらく貯蔵穴であろうと推定される。長径60cm、短径48cm、深さ27cmである。壁溝は全周しており、



第39図 第64号住居跡

第14表 第64号住居跡出土遺物観察表 (第40図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	残存	胎土	焼成	色調	出土位置・備考	図版
1	土師器	坏	13.4	3.1	—	3/4	雲角赤粒黒粒	良好	にふい赤褐		12
2	土師器	甕	(20.0)	[10.5]	—	口縁1/3	雲角赤粒白粒黒粒	普通	にふい橙		13



第40図 第64号住居跡出土遺物

幅11~24cm、深さ5~9cmである。

出土遺物のうち図示できたものは第38図のとおり。

第64号住居跡 (第39図)

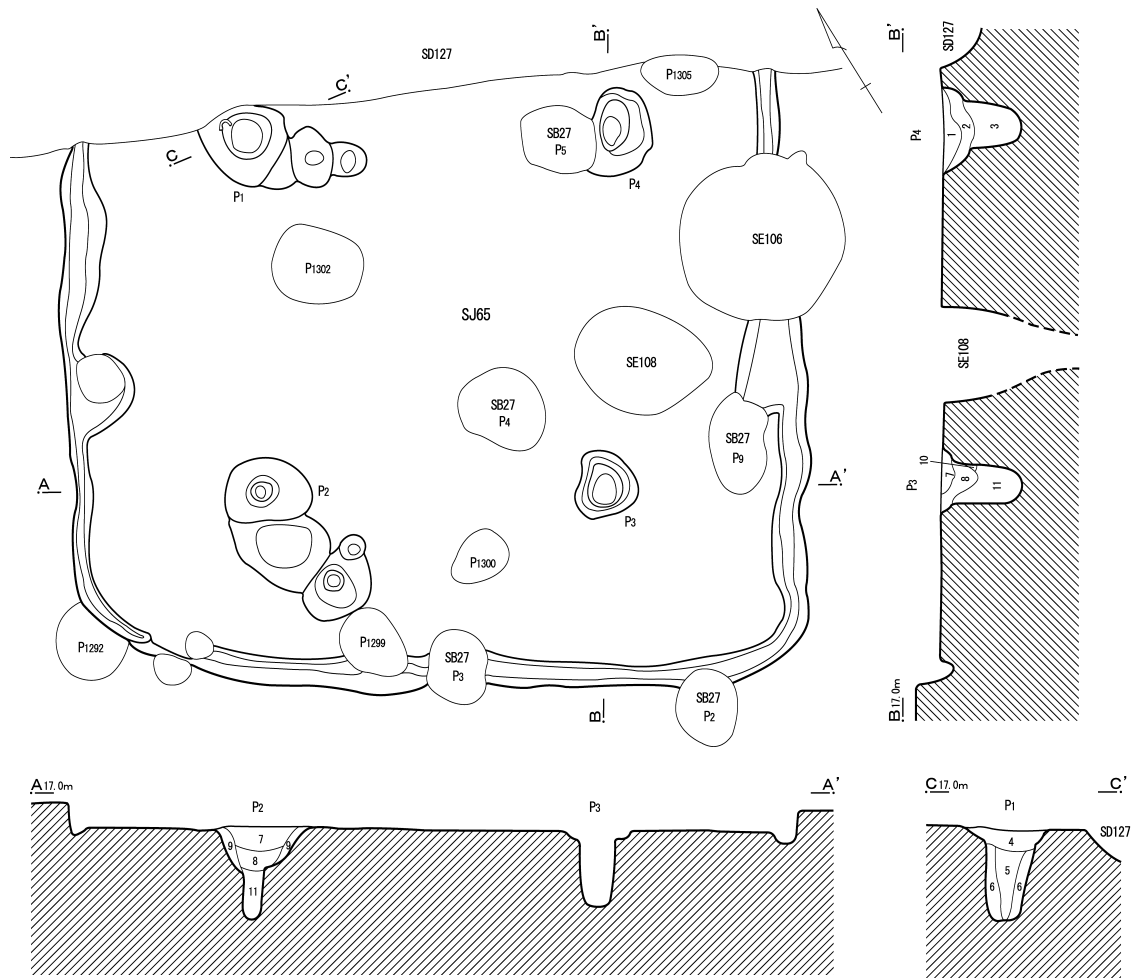
I-17グリッドに位置する。北側は第62号住居跡と、東側は第115号井戸跡が重複する。平面規模は南北2.8m東西3.2mで、床面の深さは遺構確認面から6~18cmである。主軸(南北)方向は、N-2°-E。

カマド、貯蔵穴は検出できなかった。壁溝は西壁及び南壁の西よりで検出し、東側では見られなかった。壁溝の幅は、7~15cm、深さは2~5cmである。住居跡に伴うピットは1基のみで深さは27cmである。南東隅で住居跡に伴うと思われる土坑を一基検出した。長径50cm、短径40cm、深さ15cmである。

出土遺物のうち図示できたものは第40図のとおり。

第15表 第65号住居跡出土遺物観察表 (第42図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	残存	胎土	焼成	色調	出土位置・備考	図版
1	土師器	坏	(12.6)	[3.4]	—	破片	雲角赤粒白粒	普通	灰褐		
2	土師器	坏	(11.4)	3.6	—	1/4	雲砂粒赤粒白粒黒粒	普通	にふい褐	P1	
3	土師器	坏	(12.0)	[2.6]	—	破片	砂粒赤粒白粒	普通	にふい赤褐	P1	
4	土師器	坏	(12.4)	3.7	(10.6)	1/4	雲角石英白粒黒粒	不良	にふい黄橙		
5	土師器	甕	—	[1.6]	(8.0)	1/4	雲角砂粒赤粒白粒	普通	にふい橙		
6	石製品	模造品	幅3.2	長さ2.8	厚さ0.5	完形	滑石製				45
7	鉄製品	耳環	径2.9	断面径0.6		完形					
8	鉄製品	鎌	刃幅3.2	長さ13.0	背幅0.6	ほぼ完形					

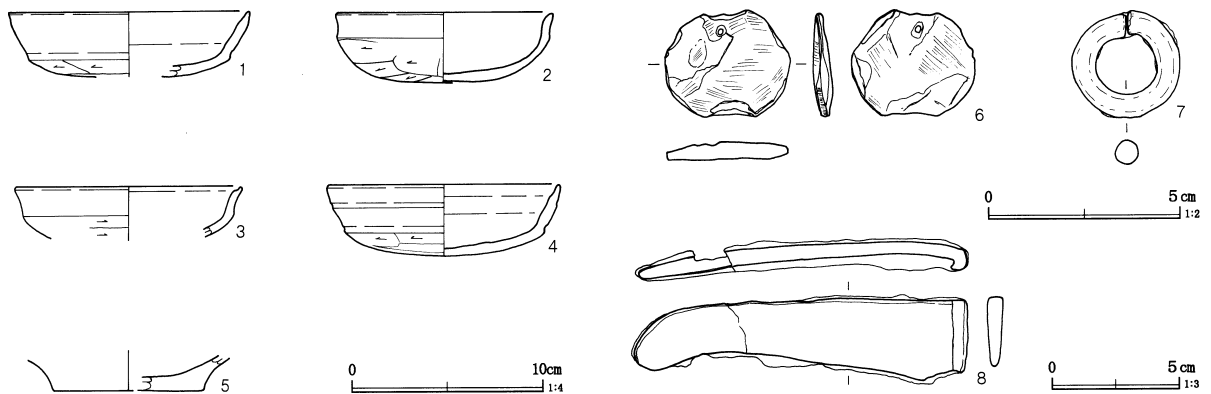


第65号住居跡

- |         |                              |         |                       |
|---------|------------------------------|---------|-----------------------|
| 1 暗褐色土  | 黄褐色土ブロック多量                   | 10 青灰色土 | 黄褐色土粒子少量。やや砂質。やや粘性あり  |
| 2 暗褐色土  | 黄褐色土ブロック少量                   | 11 青灰色土 | 暗灰色粘質土粒子含む。しまりなし。粘性あり |
| 3 暗褐色土  | 黄褐色土ブロック含む                   |         |                       |
| 4 暗褐色土  | 青灰色土ブロック多量                   |         |                       |
| 5 暗青灰色土 | 炭化材多量                        |         |                       |
| 6 暗青灰色土 | 砂質                           |         |                       |
| 7 暗褐色土  | 炭化物粒子微量。黄褐色土粒子(φ0.5~2.0cm)多量 |         |                       |
| 8 暗灰色土  | 黄褐色土粒子少量。暗灰色粘質土含む。粘性あり       |         |                       |
| 9 黄褐色土  | 暗褐色土粒子少量                     |         |                       |

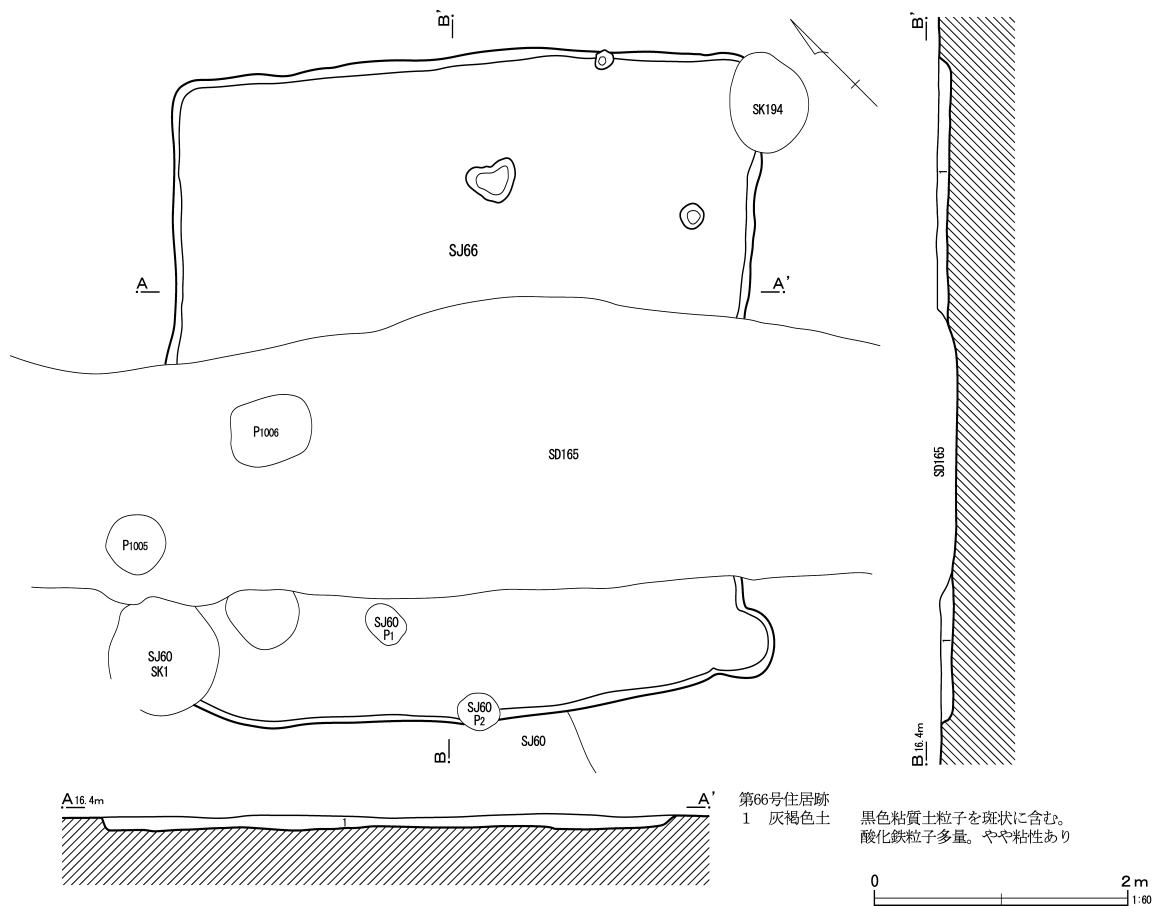


第41図 第65号住居跡



第42図 第65号住居跡出土遺物

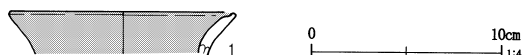




第43図 第66号住居跡

第16表 第66号住居跡出土遺物観察表（第44図）

番号	種別	器種	口径	器高	底径	残存	胎土	焼成	色調	出土位置・備考	図版
1	土師器	坏	(12.0)	[2.2]	—	破片	雲 赤粒 白粒	普通	にぶい褐	内外面黒色処理	



第44図 第66号住居跡出土遺物

### 第65号住居跡（第41図）

I-16グリッドに位置する。北側は第127号溝跡が重複しているため、北壁の輪郭は不明。平面規模は、南北4.7m以上、東西5.9mで、床面の深さは、5～19cmである。主軸（南北）方向はN-32°-E。

カマド及び貯蔵穴は検出できなかった。壁溝は全周し、幅12～30cm、深さ4～13cmである。ピットは4基検出した。いずれも支柱穴になると考えられる。P1～P4の深さはそれぞれ75・73・60・60cmである。

出土遺物のうち、図示できたものは第42図のとおりである。1～3は土師器蓋模倣坏、4は土師器有

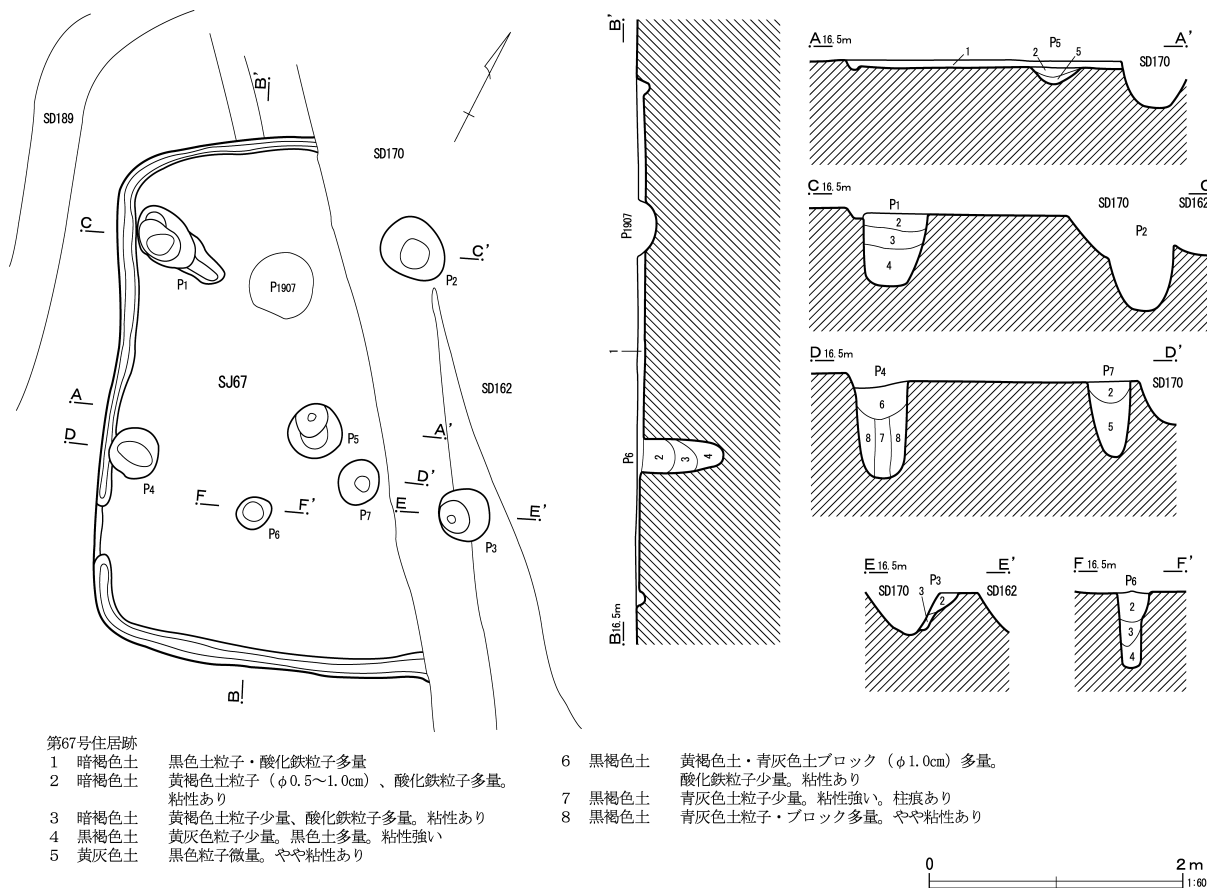
段口縁坏、5は土師器甕底部である。6は滑石製模倣品で、表面に擦痕がみられるが、未製品である可能性がある。中央上部に穿孔がある。7は鉄製の耳環で、表面が錆に覆われているため、メッキの材質等は不明である。8は鉄製の鎌である。

### 第66号住居跡（第43図）

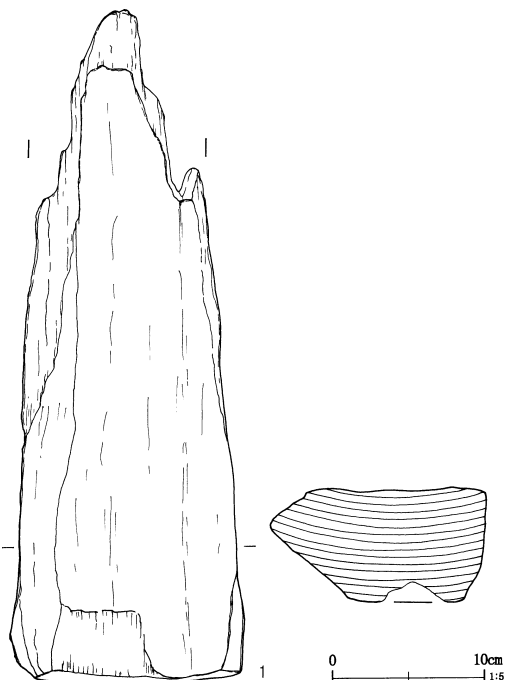
H-8グリッドに位置する。中央付近を第165号溝跡が東西に貫通している。平面規模は南北5.3m、東西4.6mで、床面の深さは、遺構確認面から4～10cmである。主軸（南北）方向はN-44°-Eである。

カマド、貯蔵穴及び壁溝は検出できなかった。また、住居跡に伴うピットも検出しなかった。

出土遺物のうち図示できたものは第44図のとおりである。



第45図 第67号住居跡



第46図 第67号住居跡出土遺物

第67号住居跡 (第45図)

G・H-8・9 グリッドに位置する。東側は第162・170号溝跡が重複しているため、全体の形態を把握することはできなかった。平面規模は南北4.2m、東西2.1m以上で、床面の深さは遺構確認面から1~6cmと非常に浅い。主軸(南北)方向はN-23°-W。

カマド及び貯蔵穴は検出できなかった。壁溝は、ほぼ全周すると思われる。壁溝の幅は、8~18cm、深さは、2~4cmである。ピットは7基検出したが、配置が不規則なため、主柱穴を想定することは難しい。なお、P1は位置や規模から貯蔵穴となる可能性がある。P1~P7の深さは、56・75・35・76・29・61・61cmである。

出土遺物は少なく、図示できるものはなかったが、P4から出土した柱材を図示した(第46図)。

第17表 第67号住居跡出土遺物観察表 (第46図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	残存	胎土	焼成	色調	出土位置・備考	図版
1	木製品	柱	長[44.3]	幅15.4	厚7.3		樹種: コナラ属コナラ亜属コナラ節			P4	13

## 2. 掘立柱建物跡

平成13年度東調査区においては、掘立柱建物跡を6棟検出した。

建物構造は、第22・23号掘立柱建物跡が四面廂が付く建物、第24・25・27号掘立柱建物跡が2間×2間の総柱建物、第26号掘立柱建物跡が側柱建物である。平成13年度西側調査区の成果から、四面廂の建物は平安時代、総柱建物は古墳時代後期に属すると想定される。

建物方向は、総柱建物が地形に沿って建てられているのに対し、四面廂建物は方位を意識した方向を示している。

### 第22号掘立柱建物跡（第47～50図）

H・I—12～14、J—13・14グリッドに位置する。4件の住居跡やその他多くの溝跡、土坑などが重複している。土層断面の観察から各住居跡が掘立柱建物跡より古い時期のものであると判断された。

母屋は桁行5間×梁行2間で、四面に廂を持つ建物に復元した。建物の規模は、廂を含めた桁行は18.54m～18.81m、梁行は11.76m～11.79m。母屋のみの桁行は12.84m～12.99m、梁行が5.91m～5.97mで、柱間は桁行が2.10m～3.18m（平均2.58m）、梁行が2.79m～3.12m（平均2.97m）と柱間にややばらつきが見られる。桁方向はN—10°—Wである。母屋と廂の間は2.64m～3.06mで建物の約1間分に相当する。廂の柱穴は、母屋の柱穴とほぼ対応して並んでいる。いずれの柱穴からも残存する柱材は検出しなかった。

出土した遺物のうち、図示できたものは第57図のとおりである。底部糸切痕のある須恵器坏と高台付埴を主体とする。

### 第23号掘立柱建物跡（第51・52図）

I・J—16・17グリッドに位置する。第62号住居跡や第127～129号溝跡、第106～108号井戸跡等が母屋の東側で重複している。住居跡や第127号溝跡は

掘立柱建物跡よりも古く、井戸跡はいずれも新しい時期のものである。

母屋は桁行3間×梁行2間で更に四面に廂を持つ建物に復元した。建物の規模は底を含めた桁行が9.90m、梁行は8.64m～8.70mで、母屋のみの桁行は6.18m、梁行は4.77mである。母屋の柱間は、桁行が1.83m～2.25m（平均2.03m）で、梁行は2.22m～2.55m（平均2.39m）である。桁方向はN—74°—E。母屋と廂の間隔は、北側が他に比べて広くなっており、2.35m、他の3面は1.50m～1.80mとなっている。廂の柱穴は配置にややばらつきが見られ、P14及びP21では柱材の根元が残存していた。

出土した遺物のうち、図示できたものは第58図のとおりである。1は須恵器蓋で、他の須恵器坏や高台付埴とは时期的な差異がみられる。

### 第24号掘立柱建物跡（第53図）

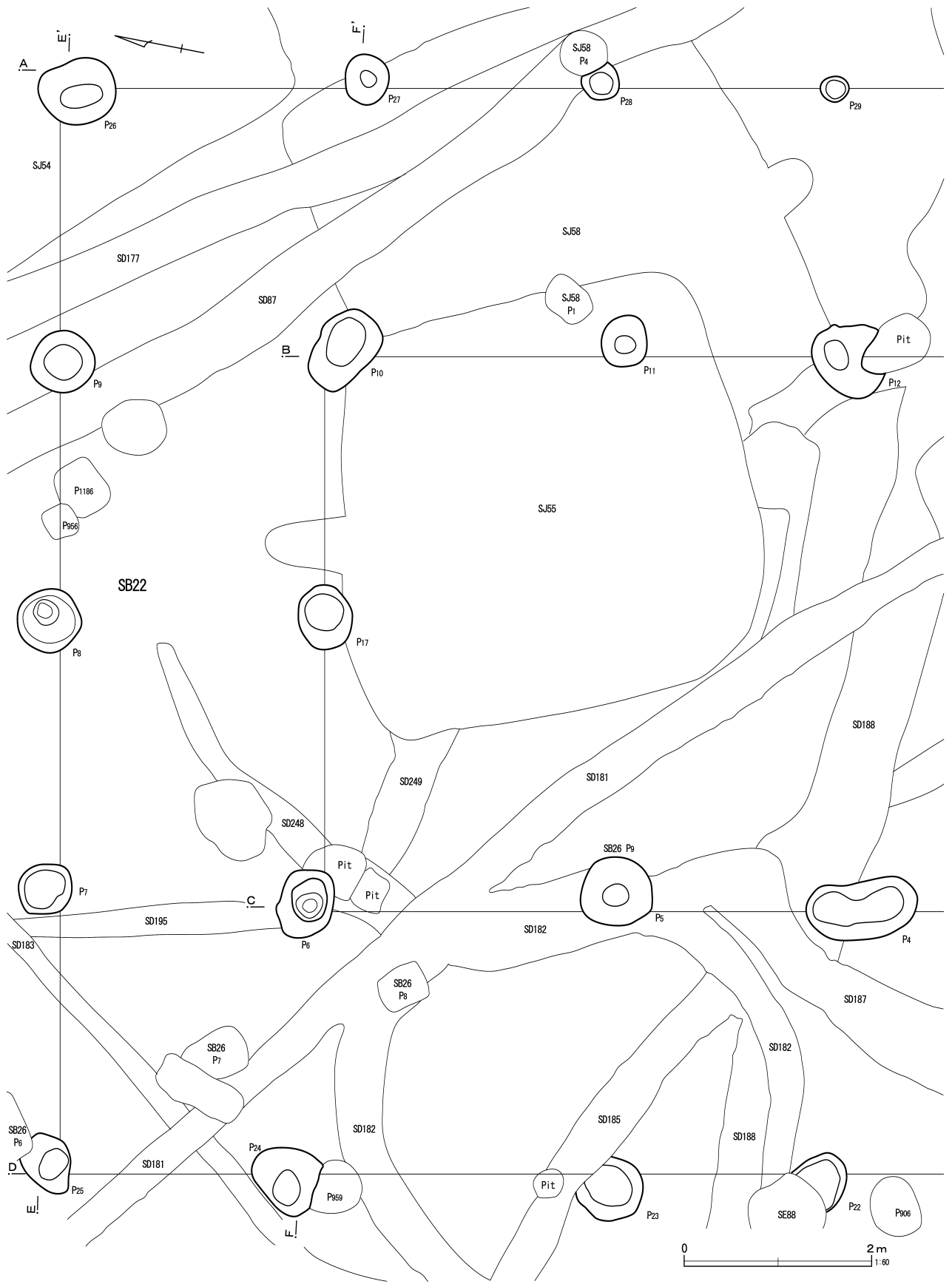
J・K—14グリッドに位置する。建物の南側で第175・177・185溝跡が重複しているが、いずれも掘立柱建物跡よりも新しい時期のものである。

桁行2間×梁行2間総柱建物で、規模は桁行が4.50m、梁行が4.44mである。桁方向は、N—60°—W。柱間は桁行で2.22m～2.28m（平均2.25m）、梁行2.19m～2.25m（平均2.22m）である。柱間のばらつきは小さく、柱穴の規模は比較的大きい。柱材が残存している柱穴はなかった。

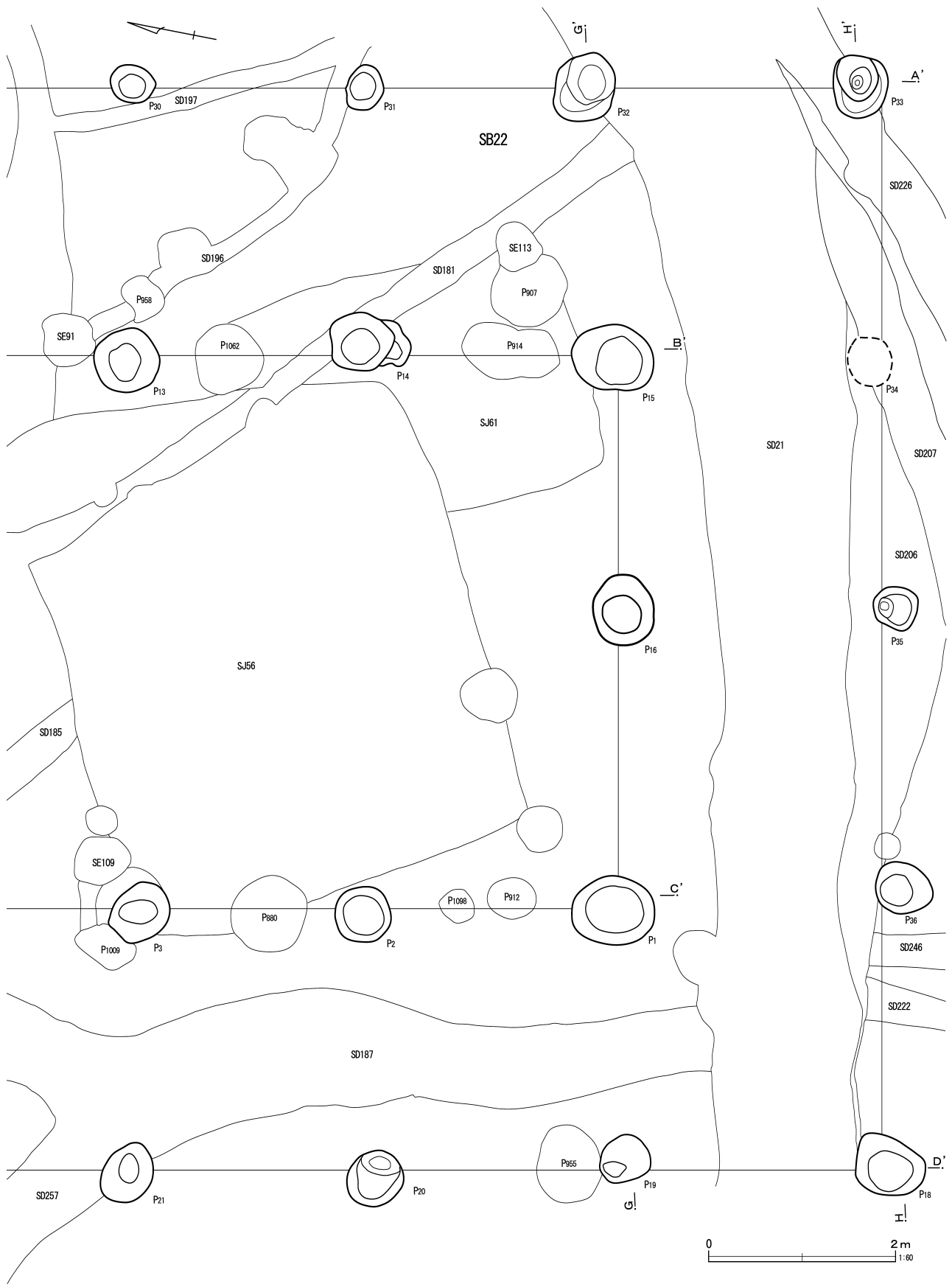
出土した遺物のうち、図示できたものは第59図のとおりである。1と2の坏は时期的に差異がみられる。

### 第25号掘立柱建物跡（第54図）

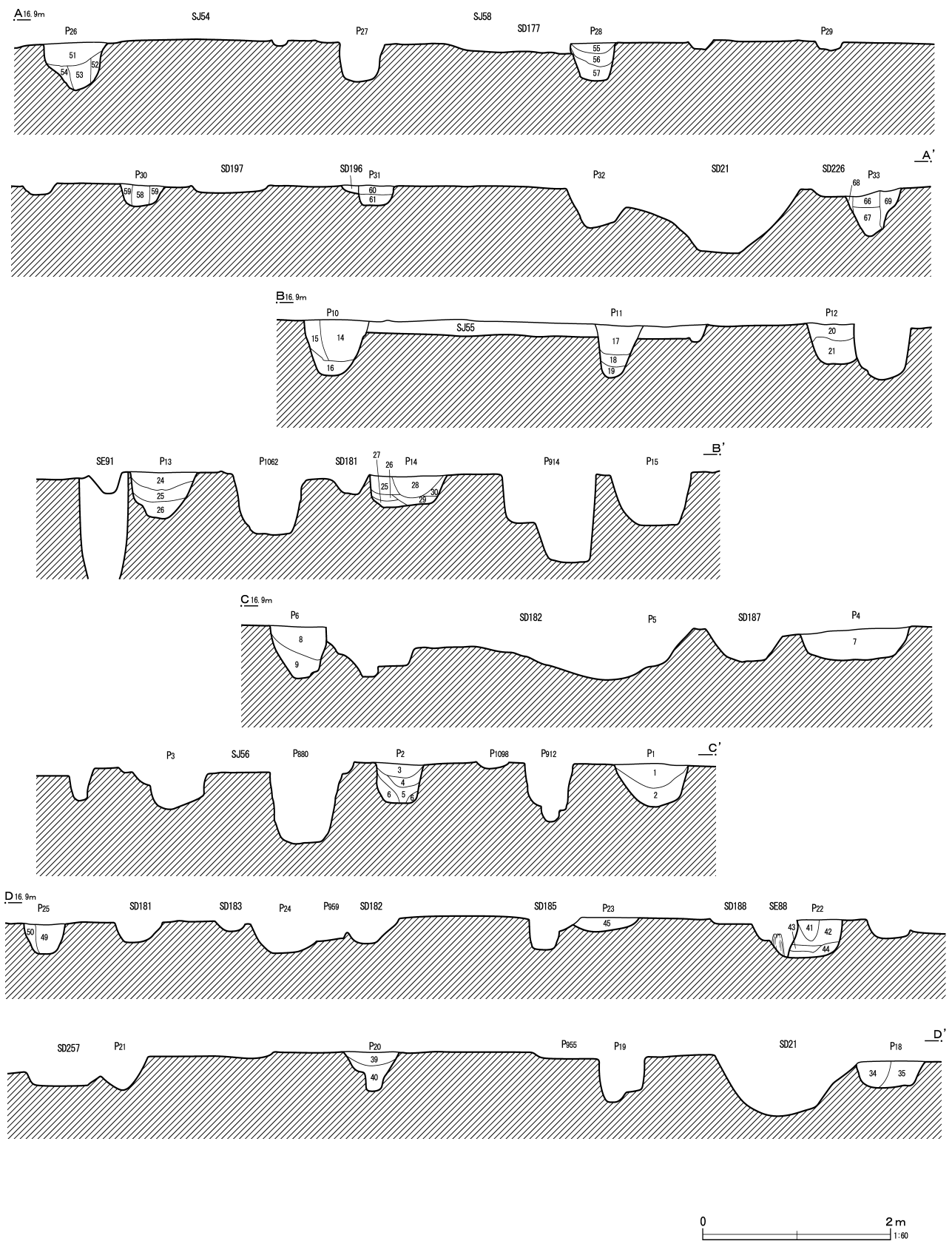
J—14・15グリッドに位置する。桁行2間、梁行2間の総柱建物で、規模は桁行で5.31m、梁行で4.20mである。桁方向はN—54°—E。柱穴は桁行で2.61m～2.70m（平均2.66m）梁行で2.10mである。柱間のばらつきは小さく、柱穴の規模は比較的大き



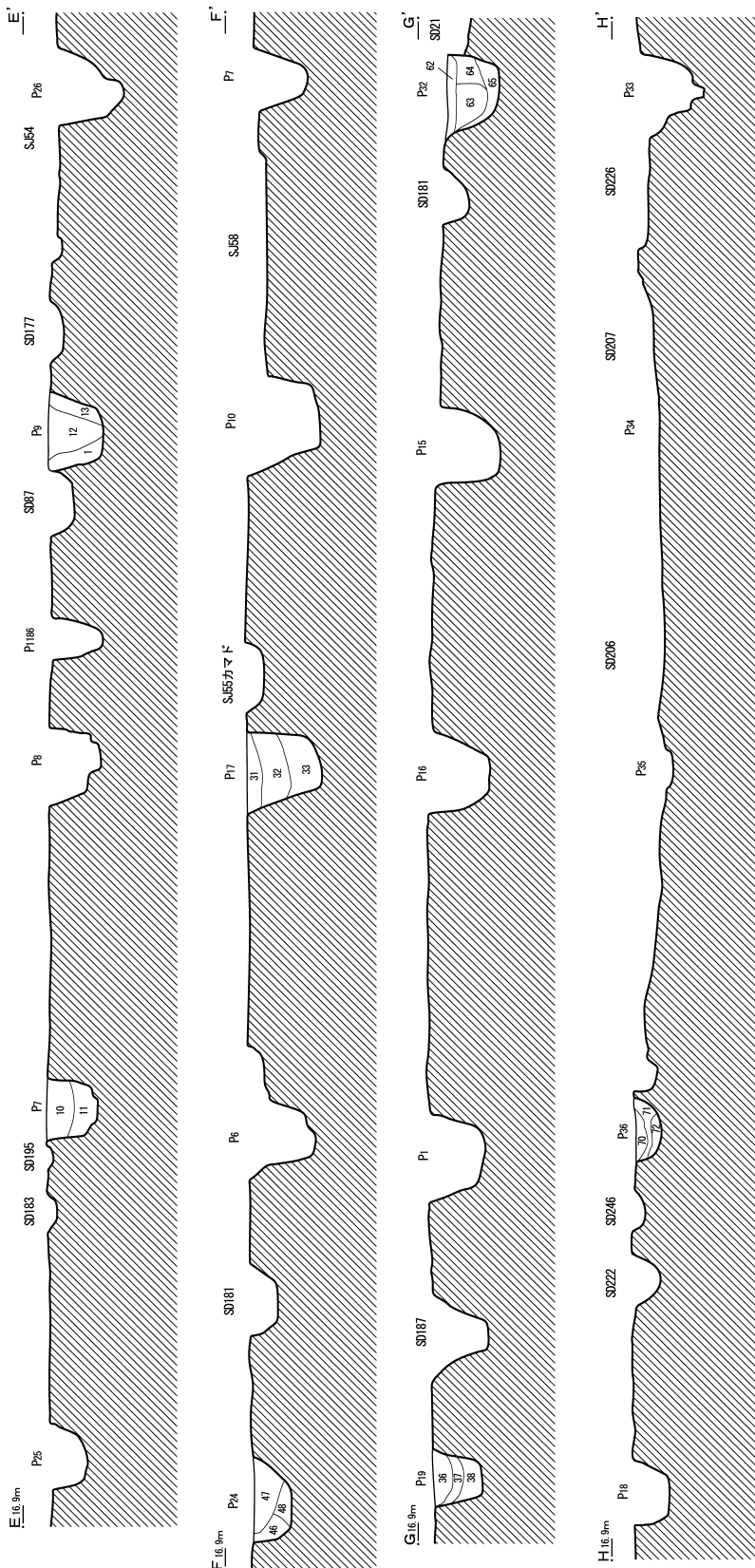
第47图 第22号掘立柱建物迹 (I)



第48图 第22号掘立柱建物迹 (2)



第49图 第22号掘立柱建物跡 (3)



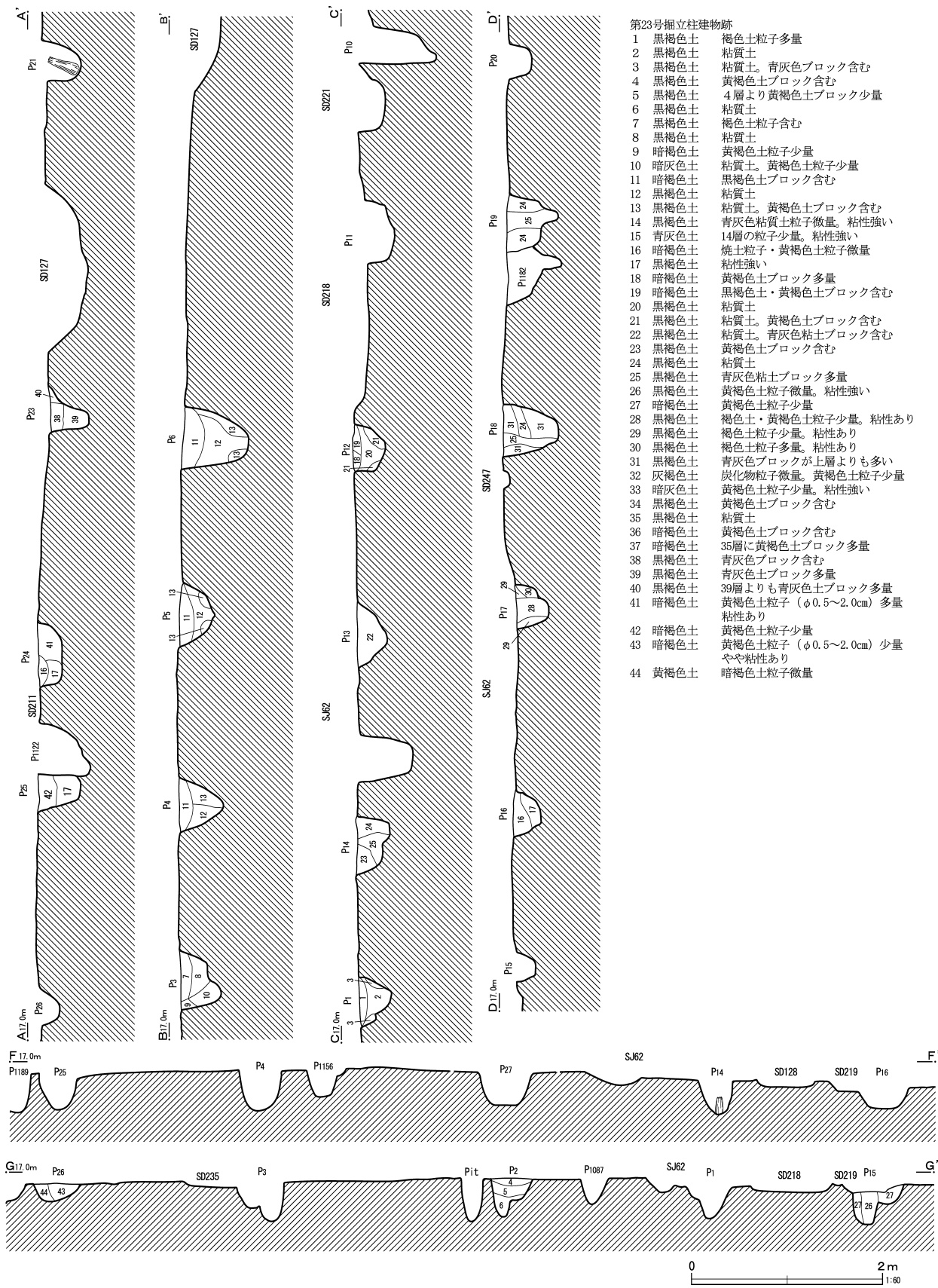
- 第22号掘立柱建物跡
- 1 暗褐色土 焼土粒子・炭化物粒子少量
  - 2 暗褐色土 混入物なし
  - 3 黒灰色土 青灰色土ブロック多量
  - 4 暗青灰色土 黒褐色土少量
  - 5 黒灰色土 3層より暗い青灰色土ブロック少量
  - 6 暗黄褐色土 黄褐色土ブロック多量
  - 7 黒褐色土 青灰色土ブロック多量
  - 8 暗褐色土 黄褐色土粒子・焼土少量
  - 9 黄褐色土 暗褐色土少量
  - 10 暗褐色土 焼土多量
  - 11 暗褐色土 青灰色土粒子多量
  - 12 黒褐色土 焼土粒子・炭化物粒子多量
  - 13 黒褐色土 黄褐色土ブロック多量
  - 14 黒褐色土 黄褐色土・炭化物・焼土粒子含む
  - 15 黒褐色土 青灰色土ブロック多量
  - 16 黒褐色土 青灰色土ブロック含む。粘質土
  - 17 暗褐色土 黄褐色土粒子・焼土粒子含む
  - 18 暗褐色土 19層より黒味強い
  - 19 暗褐色土 灰色帯粘性強い。青灰色土粒子少量
  - 20 暗褐色土 焼土粒子少量。黄褐色土粒子少量
  - 21 黄褐色土 暗灰色粘質土少量
  - 22 暗褐色土 焼土粒子少量
  - 23 暗褐色土 黄褐色土ブロック多量
  - 24 暗褐色土 青褐色土多量
  - 25 黄褐色土 暗褐色土少量
  - 26 暗褐色土 黄褐色土粒子少量
  - 27 暗褐色土 青灰色土少量。やや粘性あり
  - 28 暗褐色土 焼土粒子・黄褐色土粒子少量
  - 29 暗褐色土 黄褐色土粒子多量
  - 30 暗褐色土 黄褐色土粒子少量
  - 31 暗褐色土 焼土・炭化物粒子含む。
  - 32 暗褐色土 33層より黒味強い。炭化物多量
  - 33 暗灰褐色土 灰色粘土ブロック含む
  - 34 黒褐色土 黄褐色土粒子少量。やや粘性あり
  - 35 黒褐色土 黄褐色土粒子多量。焼土粒子微量
  - 36 黒灰色土 黄褐色土・青灰色土ブロック含む
  - 37 黒灰色土 黄褐色土ブロック少量
  - 38 暗褐色土 黄褐色土ブロック多量
  - 39 暗褐色土 焼土・黒褐色・黄褐色土ブロック含む
  - 40 暗褐色土 黄褐色土ブロック (φ5.0cm) 含む
  - 41 黒褐色土 黄褐色土粒子少量。粘性強い
  - 42 黄褐色土 暗灰色粘質土粒子少量
  - 43 黄褐色土 暗灰色粘質土粒子含む。粘性強い
  - 44 黒褐色土 黄褐色土粒子微量。粘性強い
  - 45 暗褐色土 焼土粒子・炭化物粒子少量
  - 46 暗褐色土 黄褐色土粒子・青灰色土粒子多量
  - 47 黄褐色土 青灰色土多量
  - 48 暗褐色土 焼土粒子・黄褐色土粒子少量
  - 49 暗褐色土 黄褐色土粒子少量
  - 50 黄褐色土 暗褐色土ブロック少量
  - 51 暗褐色土 黄褐色土ブロック・焼土粒子含む
  - 52 暗褐色土 黄褐色土ブロック少量
  - 53 暗褐色土 黄褐色土粒子含む。
  - 54 暗褐色土 やや粘性あり
  - 55 黒褐色土 灰多量。焼土粒子少量
  - 56 暗褐色土 57層がブロック状に混じる
  - 57 暗褐色土 青灰色土ブロック少量。粘性あり
  - 58 暗褐色土 焼土・炭化物・黄褐色土粒子少量
  - 59 暗褐色土 黄褐色土ブロック (φ5.0cm) 含む
  - 60 暗褐色土 焼土粒子・炭化物粒子含む
  - 61 暗褐色土 62層にさらに黄褐色土ブロック含む
  - 62 暗褐色土 焼土・炭化物粒子微量
  - 63 暗褐色土 黄褐色土粒子多量
  - 64 黄褐色土 暗灰色粘質土粒子微量
  - 65 黄褐色土 褐色土粒子含む。やや砂質
  - 66 黒褐色土 焼土粒子・黄褐色土粒子少量
  - 67 暗灰色土 青灰色粘質土粒子少量。粘性強い
  - 68 黄灰褐色土 褐色土粒子多量
  - 69 暗褐色土 黄褐色土ブロック多量
  - 70 暗褐色土 黄褐色土ブロック少量
  - 71 黒褐色土 黄褐色土ブロック微量。粘性あり
  - 72 黄褐色土 黒色土粒子少量



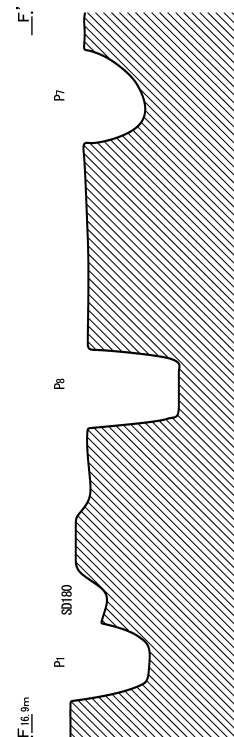
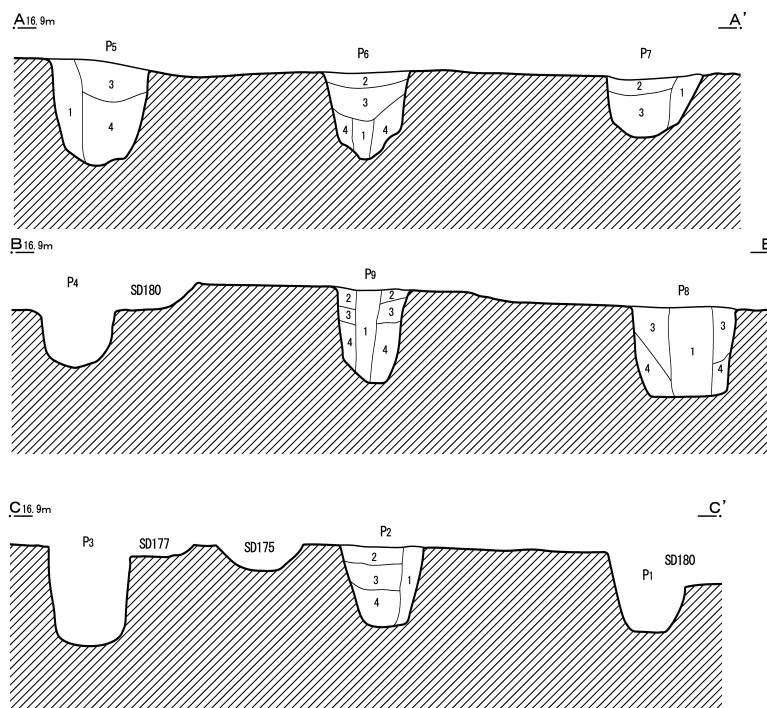
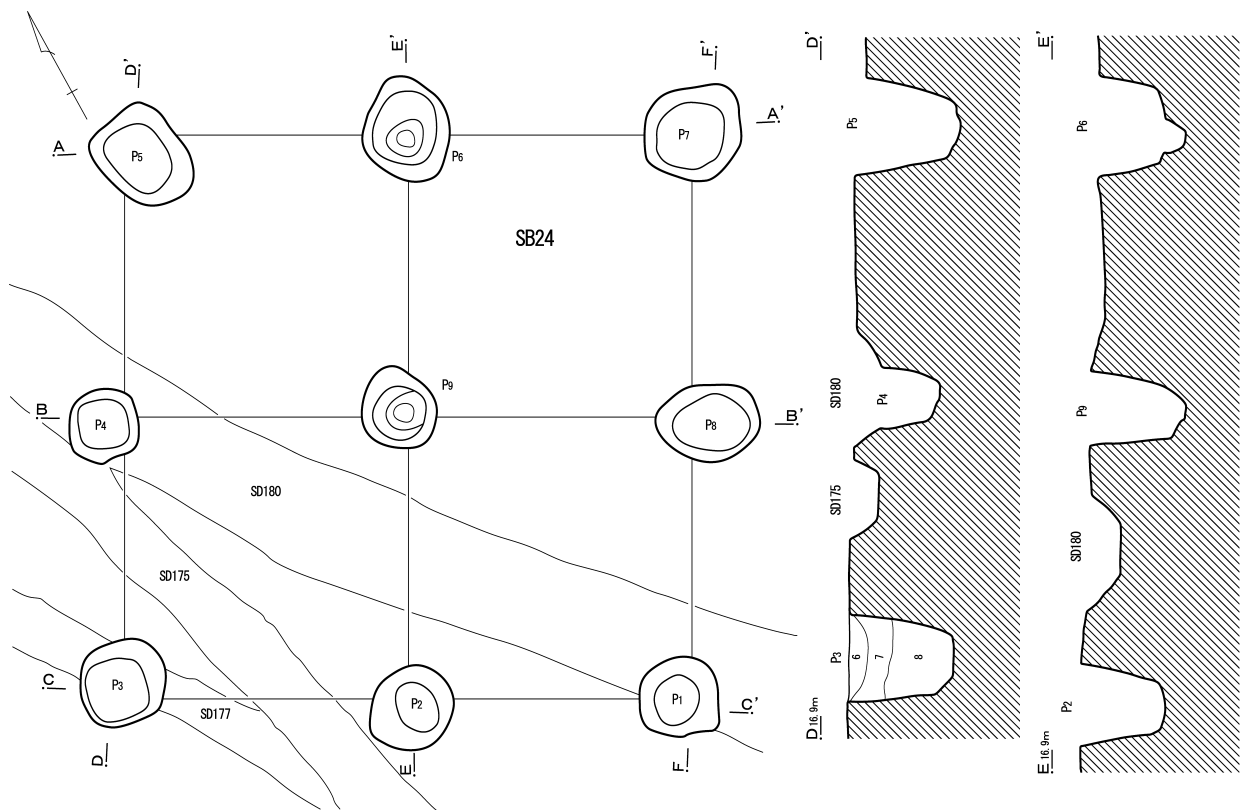
第50図 第22号掘立柱建物跡 (4)







第52図 第23号掘立柱建物跡 (2)

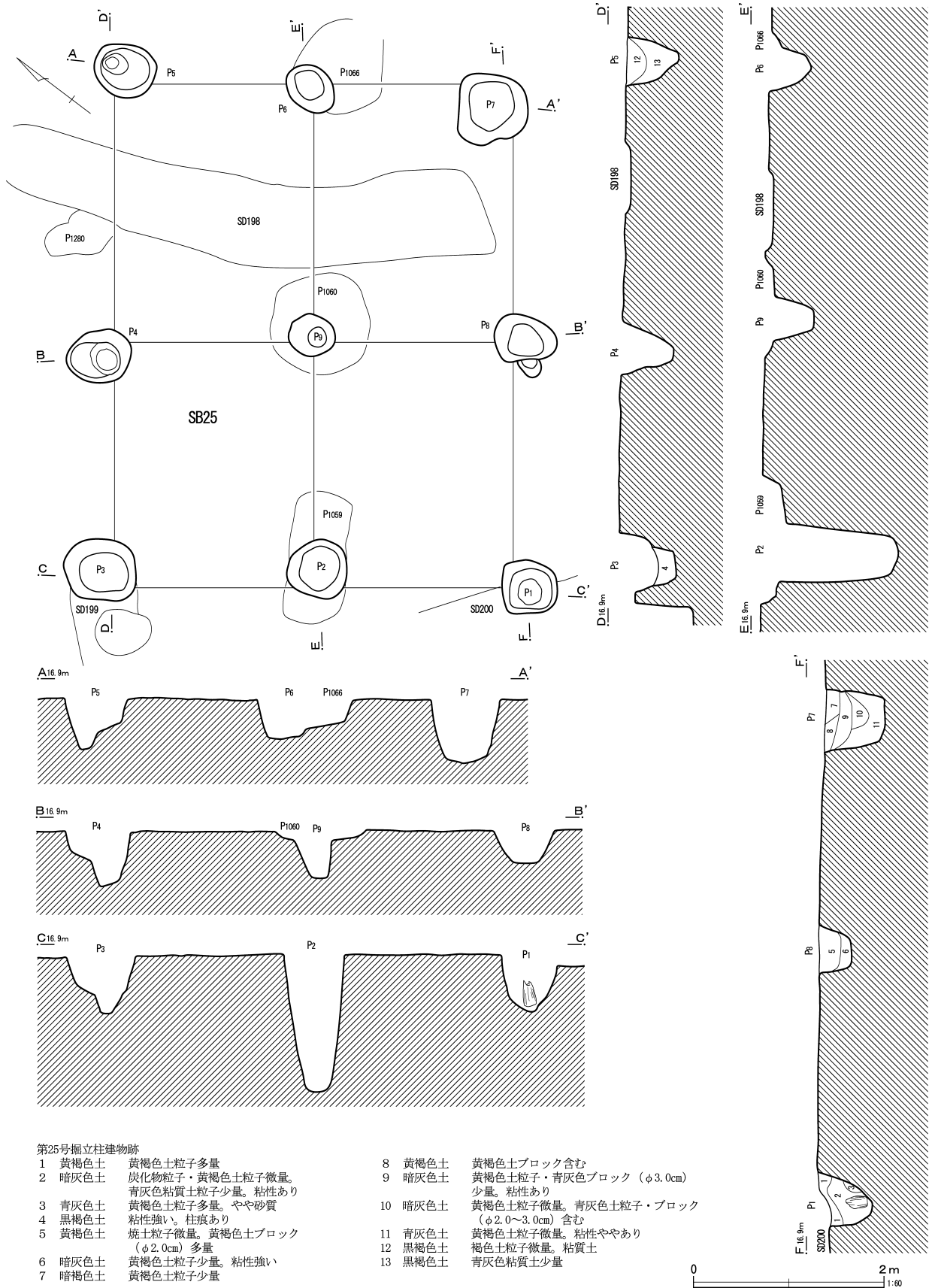


第24号掘立柱建物跡

- |        |                |        |  |
|--------|----------------|--------|--|
| 1 黒褐色土 | 焼土粒子・炭化物粒子含む   | 7 暗灰色土 | 褐色土粒子含む。青灰色土粒子 (φ0.5 ~2.0cm) 斑状に多量。粘質土 |
| 2 暗褐色土 | 炭化物粒子・黄褐色土粒子含む | 8 暗灰色土 | 青灰色粘質土粒子少量。粘性強い                        |
| 3 黄褐色土 | 黄褐色土粒子・ブロック含む  |        |  |
| 4 黒褐色土 | 黄褐色土粒子・炭化物粒子含む |        |  |
| 5 黄褐色土 | 黄褐色土粒子・ブロック含む  |        |  |
| 6 暗褐色土 | 褐色土粒子少量        |        |  |

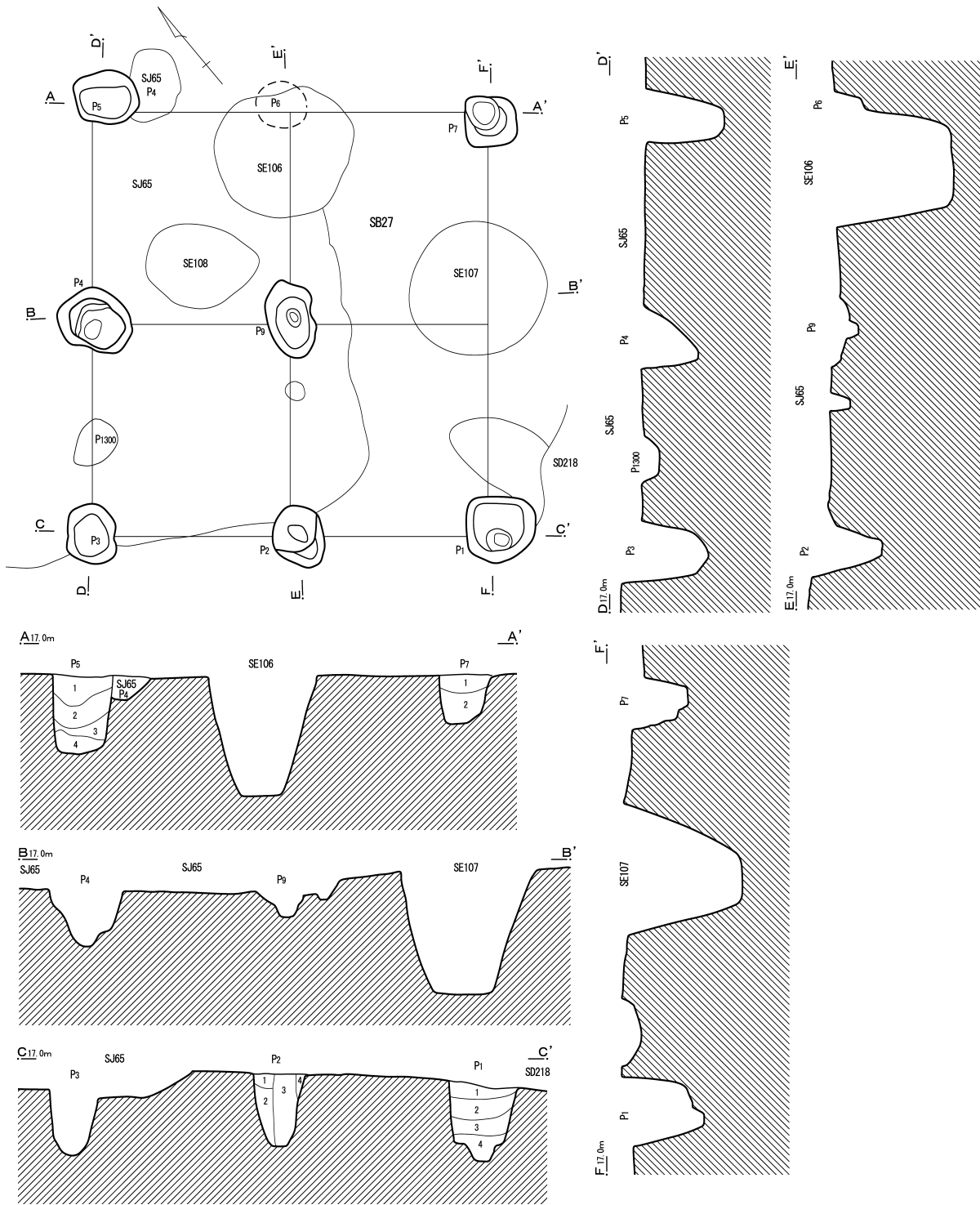


第53図 第24号掘立柱建物跡



第54図 第25号掘立柱建物跡



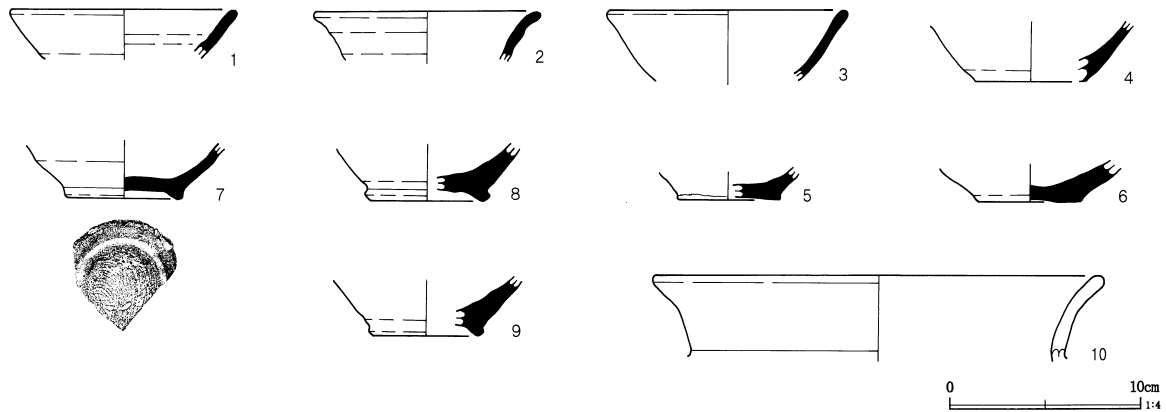


第27号掘立柱建物跡

- |        |   |         |                          |
|--------|---|---------|--------------------------|
| 1 黄褐色土 | 黒褐色土粒子少量                                      | 8 暗褐色土  | 黄褐色土粒子少量。暗灰色粘質土粒子多量。粘性あり |
| 2 黒褐色土 | 黄褐色土粒子少量                                      | 9 青灰色土  | 暗灰色粘質土粒子含む。やや粘性あり        |
| 3 黒褐色土 | 黒褐色粘質土少量                                      | 10 青灰色土 | やや砂質                     |
| 4 黒褐色土 | 粘性あり  | 11 暗褐色土 | 黄褐色土粒子含む                 |
| 5 黒褐色土 | 黄褐色土ブロック (φ1.0~2.0cm) 多量                      | 12 暗褐色土 | 暗灰色粘質土含む                 |
| 6 黒褐色土 | 黄褐色土少量  |         |                          |
| 7 暗褐色土 | 焼土粒子微量。黄褐色土粒子・黄褐色土ブロック (φ0.5~2.0cm) 多量。やや粘性あり |         |                          |

0 2m  
1:80

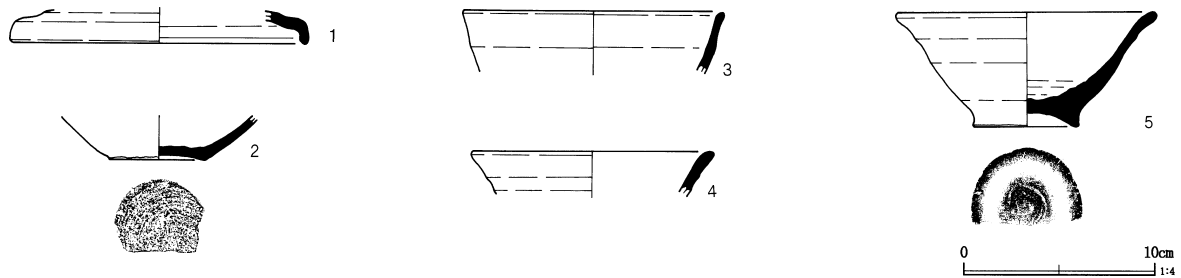
第56図 第27号掘立柱建物跡



第57図 第22号掘立柱建物跡出土遺物

第18表 第22号掘立柱建物跡出土遺物観察表 (第57図)

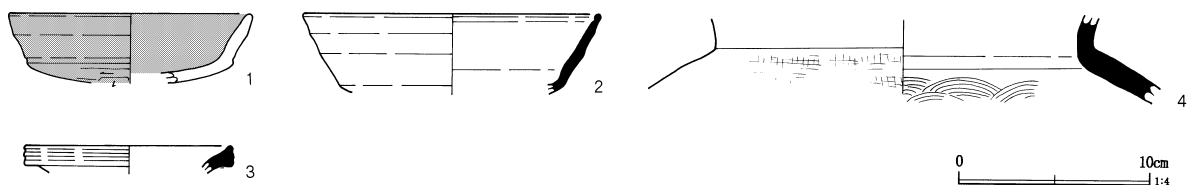
番号	種別	器種	口径	器高	底径	残存	胎土	焼成	色調	出土位置・備考	図版
1	須恵器	坏	(12.0)	[2.5]	—	破片	白粒 針	良好	灰	P 6 (旧 P 950)	
2	須恵器	坏	(12.0)	[2.6]	—	破片	角 白粒 黒粒	普通	灰白	P 21 (旧 P 979)	
3	須恵器	坏	(13.0)	[3.7]	—	破片	雲 片 白粒	普通	灰黄	P 8 (旧 P 934)	
4	須恵器	坏	—	[3.0]	(6.0)	1/4	雲 赤粒 白粒	不良	褐灰	P 15 (旧 P 908)	
5	須恵器	坏	—	[1.5]	(5.5)	1/3	角 石英 白粒 黒粒	不良	灰白	P 3	
6	須恵器	坏	—	[1.8]	(6.5)	1/4	雲 白粒 黒粒	良好	灰白	P 15 (旧 P 908)	
7	須恵器	高台付埴	—	[3.7]	(6.2)	1/3	雲 角 砂粒 白粒	普通	灰褐	P 8 (旧 P 934)	
8	須恵器	高台付埴	—	[2.8]	(6.4)	1/5	雲 赤粒 白粒	不良	灰褐	P 15 (旧 P 908)	
9	須恵器	高台付埴	—	[3.0]	(6.0)	1/4	雲 白粒 黒粒	不良	褐灰	P 10	
10	土師器	甕	(24.0)	[4.3]	—	破片	雲 角 赤粒 白粒	良好	にぶい橙	P 9	



第58図 第23号掘立柱建物跡出土遺物

第19表 第23号掘立柱建物跡出土遺物観察表 (第58図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	残存	胎土	焼成	色調	出土位置・備考	図版
1	須恵器	蓋	(16.0)	[1.7]	—	破片	針 黒粒	良好	灰	P 12	
2	須恵器	坏	—	[2.1]	(5.0)	1/5	雲 砂粒 赤粒 白粒	普通	にぶい黄橙	P 4、内面スス付着	
3	須恵器	坏	(14.0)	[2.2]	—	破片	白粒 針	良好	灰	P 20	
4	須恵器	坏	(13.0)	[2.3]	—	破片	雲 黒粒	普通	灰黄	P 4	
5	須恵器	高台付埴	(13.8)	6.0	5.8	1/3	雲 黒粒	不良	灰白	P 21	13



第59図 第24号掘立柱建物跡出土遺物



第20表 第24号掘立柱建物跡出土遺物観察表 (第59図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	残存	胎土	焼成	色調	出土位置・備考	図版
1	土師器	坏	(13.0)	[3.6]	—	破片	雲 角 白粒	普通	黒	P3(旧P1116) 黒色処理	
2	須恵器	坏	(15.8)	[4.1]	—	破片	砂粒 白粒 黒粒	良好	灰白	P7	
3	須恵器	壺	(11.0)	[1.4]	—	口縁破片	白粒 黒粒	良好	暗灰	P7	
4	須恵器	甕	—	[3.5]	—	破片	雲 黒粒	良好	灰	P3	

い。P2のみ深さが140cmにも及び、他の柱穴に比べて突出している。P1では、残存する柱材が見られた。

出土した遺物は少なく、図示できたものは第60図のとおり土師器北武蔵型坏1点と、須恵器蓋1点のみである。

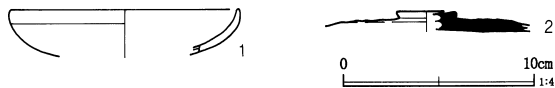
第26号掘立柱建物跡 (第55図)

H-13グリッドに位置する。多くの溝跡や土坑等が重複しており、複雑な様子を呈している。建物は桁行3間、梁行2間で、規模は桁行が7.08m、梁行が4.32mである。桁方向はN-31°-W。柱穴は、桁行で2.04m~2.64m (平均2.36m)、梁行で1.92m~2.40m (平均2.16m) である。柱材が残存している柱穴はなかった。

出土した遺物のうち、図示できたものは第61図のとおりである。

第27号掘立柱建物跡 (第56図)

I・J-16グリッドに位置する。第65号住居跡や第23号掘立柱建物跡と重複しているが、土層観察では、遺構の前後関係は把握できなかった。また、第106・

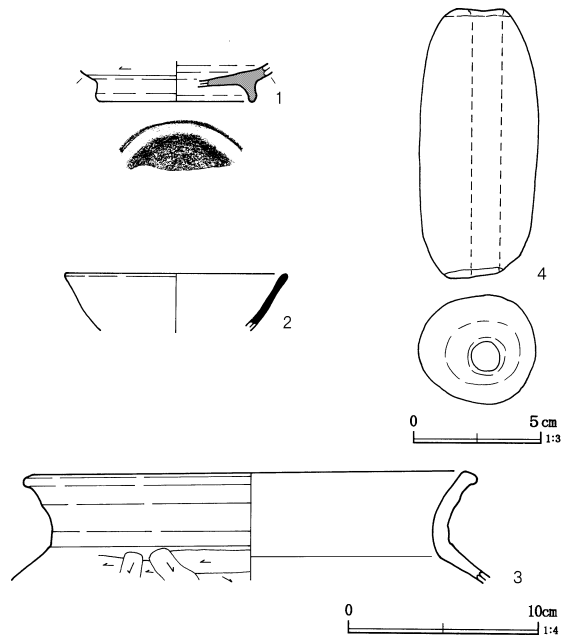


第60図 第25号掘立柱建物跡出土遺物

107号井戸跡によって、柱穴が2基消滅している。

建物は、桁行2間×梁行2間の総柱建物で、規模は桁行が4.08m、梁行が3.84mである。桁方向はN-42°-E。柱穴は、桁行が2.01m~2.07m (平均2.04m)、梁行が1.89m~1.95m (平均1.92m) である。柱材が残存している柱穴はなかった。

出土した遺物のうち、図示できたものは第62図のとおりである。1は須恵器の高台付埴。2は断面をいびつな五角形に整形した角材で、表面には手斧による整形痕がみられる。用途は不明である。



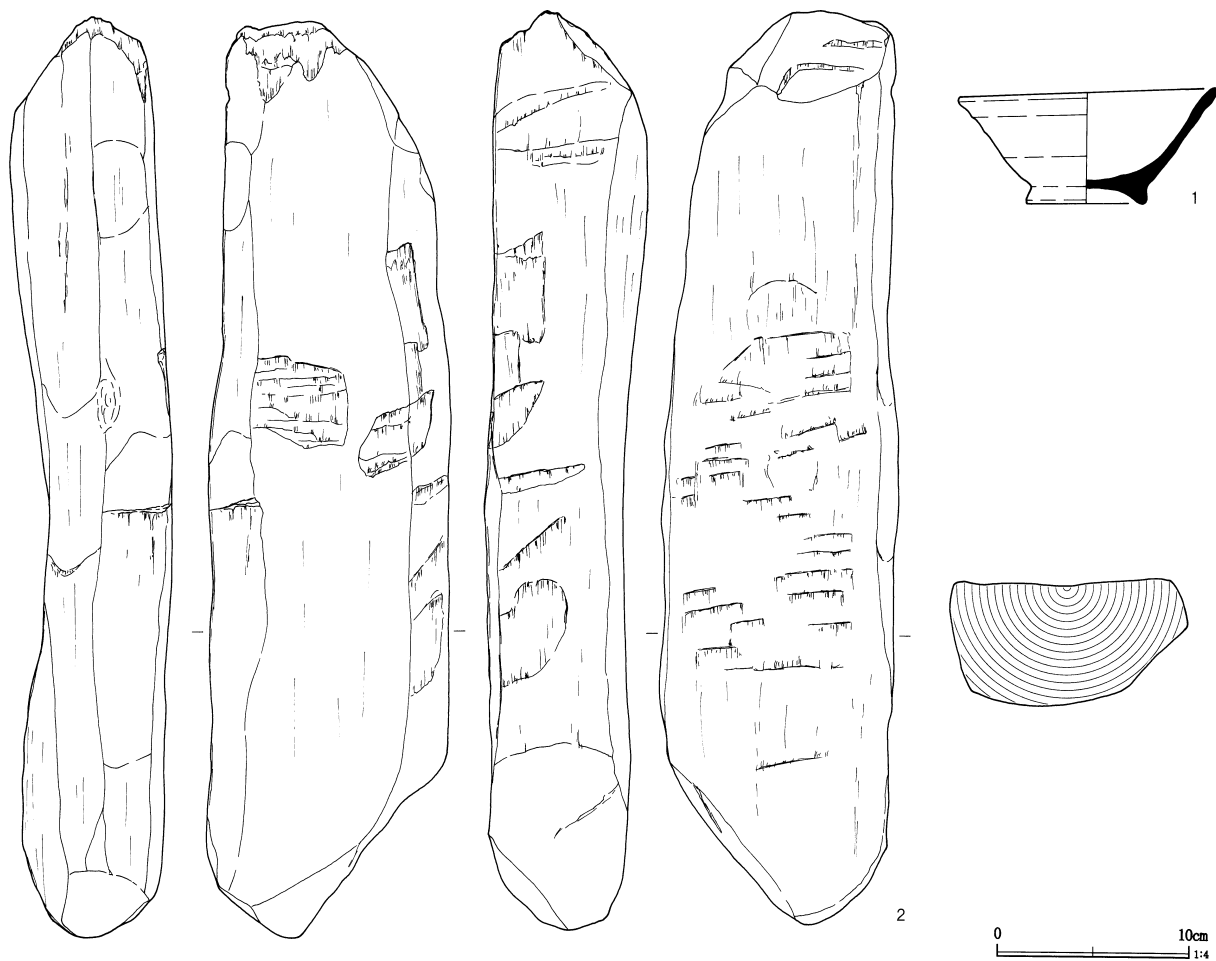
第61図 第26号掘立柱建物跡出土遺物

第21表 第25号掘立柱建物跡出土遺物観察表 (第60図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	残存	胎土	焼成	色調	出土位置・備考	図版
1	土師器	坏	(12.0)	[2.4]	—	1/5	雲 角 石英 赤粒 白粒	不良	にぶい黄橙	P2 (旧P1059)	
2	須恵器	蓋	—	[1.0]	—	1/4	雲 角 白粒	普通	灰白	P2 (旧P1059)	

第22表 第26号掘立柱建物跡出土遺物観察表 (第61図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	残存	胎土	焼成	色調	出土位置・備考	図版
1	灰釉陶器	埴	—	[2.0]	(8.3)	底部1/3	長石 黒粒	良好	灰白	東濃	
2	須恵器	坏	(12.0)	[3.0]	—	破片	雲 石英 砂粒 赤粒	不良	明赤褐		
3	土師器	壺	(24.0)	[5.6]	—	破片	雲 赤粒 白粒	良好	橙	P5 (旧P943)	
4	土製品	土錘	長さ10.7	幅4.6	孔径1.1	ほぼ完形	雲 石英 白粒	普通	黄灰		44



第62図 第27号掘立柱建物跡出土遺物

第23表 第27号掘立柱建物跡出土遺物観察表 (第62図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	残存	胎土	焼成	色調	出土位置・備考	図版
1	須恵器	高台付埴	13.6	6.2	6.4	ほぼ完形	雲 赤粒 白粒	不良	にぶい黄橙	P6	13
2	木製品	不明品	長さ48.3 幅12.7 厚さ7.3				樹種：カヤ			P5	13

### 3. 井戸跡

井戸跡は48基検出した。遺構の集中する調査区南西側に多く分布する。出土した遺物からみて、井戸はいずれも古墳時代後期から平安時代にかけてつくられたもので、平成13年度西側調査区で多く検出した中世の井戸跡はみられない。

#### 第84号井戸跡（第68図）

J-5グリッドに位置する。第155号溝跡と重複するが、井戸跡よりも古い時期の遺構である。平面は長径144cm、短径126cmで長軸方向はN-25°-Eである。壁面が崩落する危険があるため、深さは約140cm以上掘削できなかった。壁面は、緩やかに上方に広がる形態を示す。

出土遺物のうち、図示できるものはなかった。

#### 第85号井戸跡（第68図）

J-12・13グリッドに位置する。平面は、長径234cm、短径222cmのいびつな楕円形で、長軸方向はN-77°-Wである。深さは153cm。壁面は上方に大きく広がる漏斗形である。

出土遺物のうち、図示できたものは第69図1～7のとおりである。

#### 第86号井戸跡（第68図）

H-10グリッドに位置する。平面は長径114cm、短径99cmの楕円形で、長軸方向は、N-53°-Wである。深さは144cm。壁面は上方が開くいびつな漏斗形である。

出土遺物は比較的多く、図示できたものは第69図8～17のとおりである。

#### 第87号井戸跡（第68図）

H-10グリッドに位置する。第105号溝跡と重複しているが、前後関係は不明である。平面は、長径63cm、短径60cmのほぼ円形で、長軸方向はN-0°である。深さは108cmで、壁面はまっすぐに立ち上がる

形態である。

出土遺物のうち、図示できたものは第69図18の土師器有段口縁坏1点のみである。

#### 第88号井戸跡（第68図）

H-13グリッドに位置する。第22号掘立柱建物跡P22や第182号溝跡と重複しているが、いずれの遺構よりも井戸跡の方が新しい。平面規模は、長径81cm、短径75cmのいびつな楕円形で、長軸方向はN-41°-Wである。深さは84cmで、壁面は緩やかに上方に開く形態である。

出土遺物のうち、図示できたものは第69図19・20のとおりである。20の石製品は、表面に細かい擦痕がみられる。

#### 第89号井戸跡（第68図）

I-12グリッドに位置する。平面は長径93cm、短径81cmの楕円形で、長軸方向はN-26°-Eである。深さは114cmで、壁面は下方が狭まり、上方が大きく開く形態である。

出土遺物のうち、図示できたものは第69図21・22のとおりである。21の高台付埴の外面には墨書がみられる。

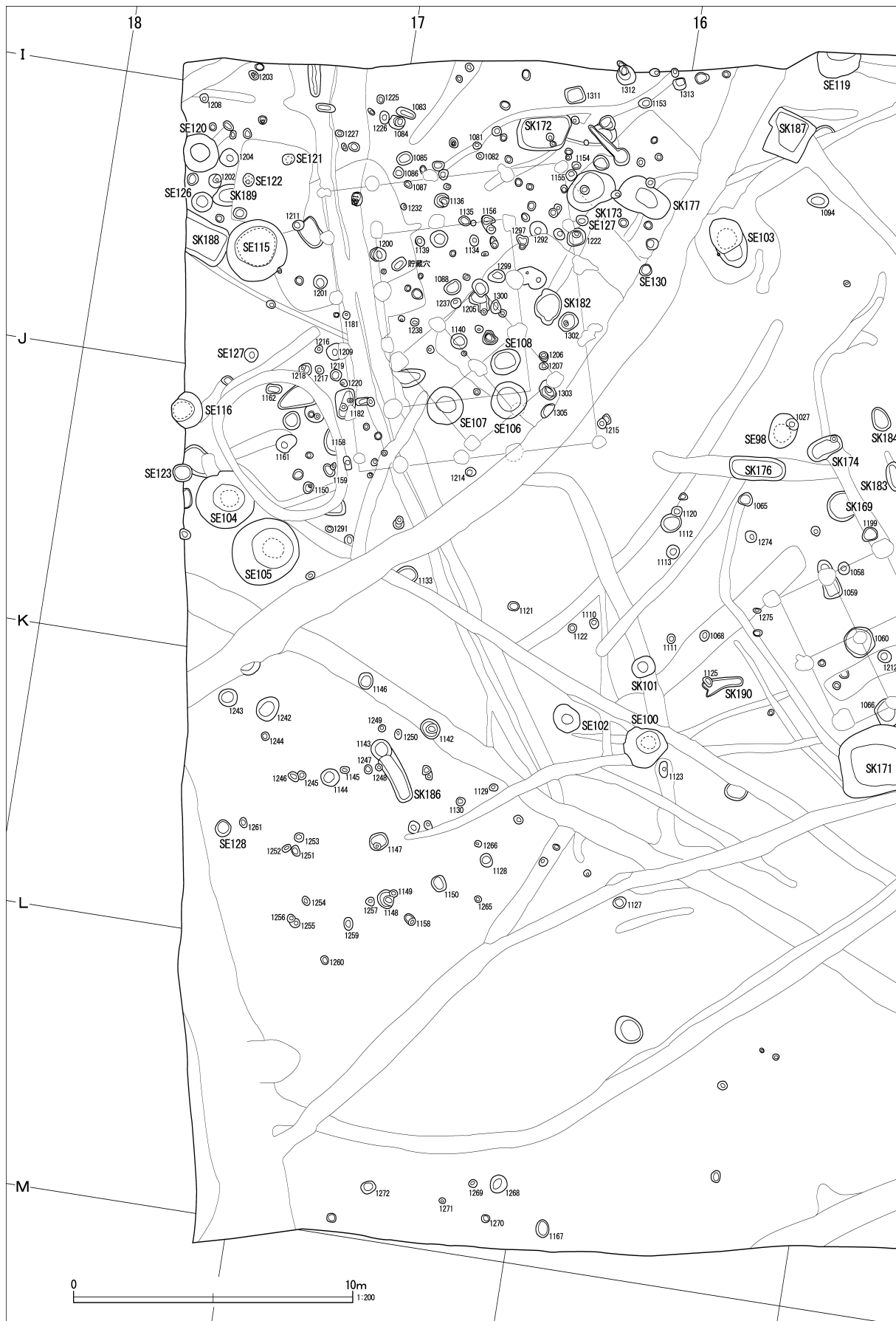
#### 第90号井戸跡（第68図）

H-14グリッドに位置する。平面は長径78cm、短径75cm、長軸方向はN-0°である。深さは111cm。壁面は緩やかに広がりながら立ち上がる形態である。

出土遺物のうち、図示できたものは第70図1・2のとおりである。1は大型の鉢である。

#### 第91号井戸跡（第68図）

I-13グリッドに位置し、第188号溝跡と重複している。平面は長径60cm、短径57cm、長軸方向はN-34°-Wである。深さは117cmで、壁面はまっすぐに立ち上がる。



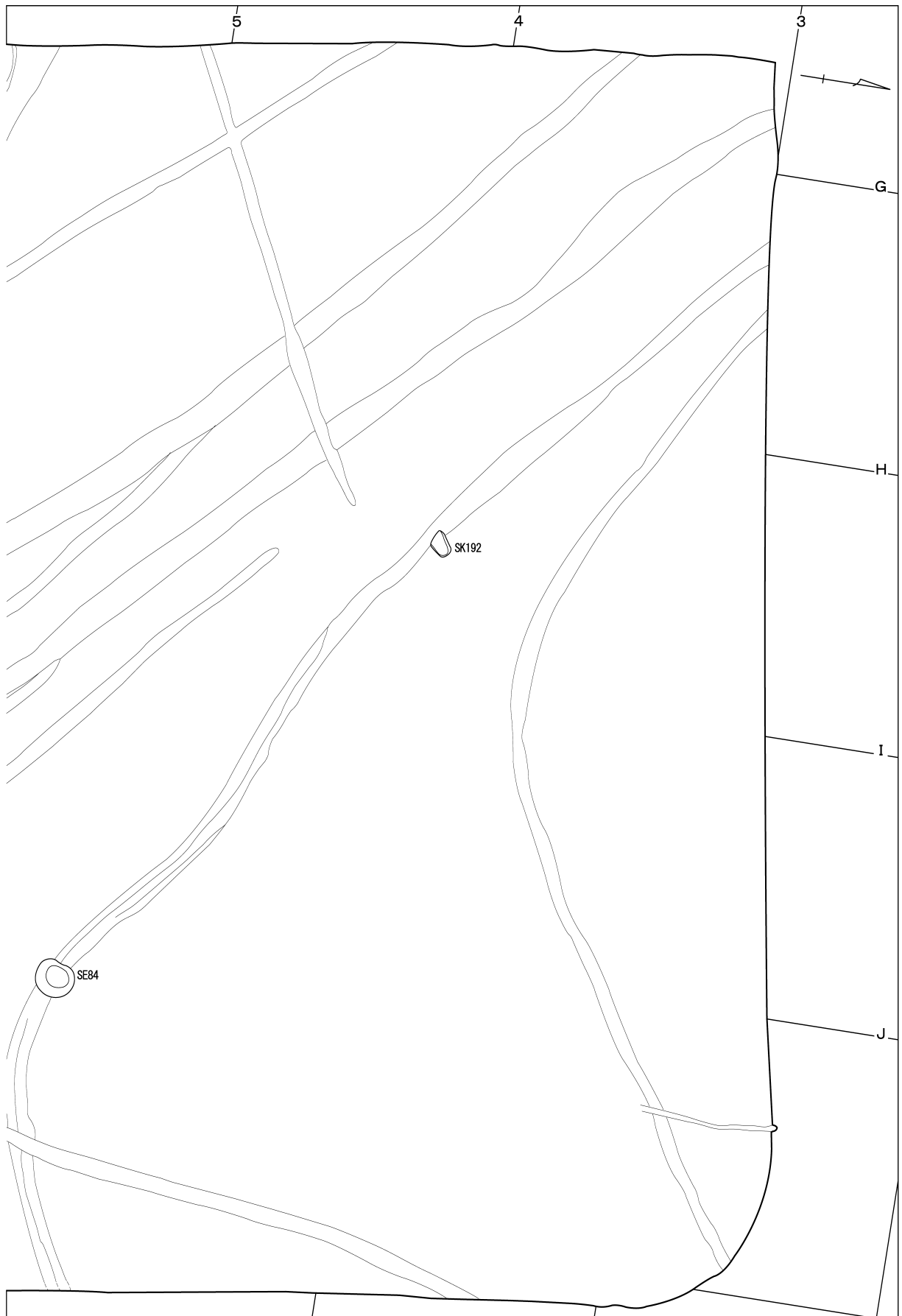
第63図 井戸跡・土坑・ピット全体図 (I)





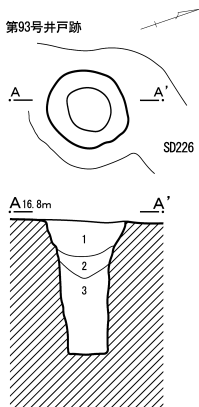
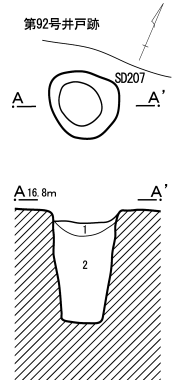
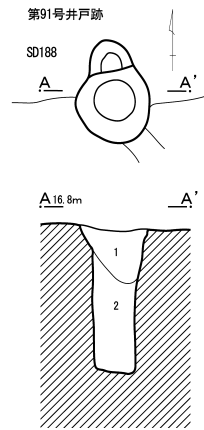
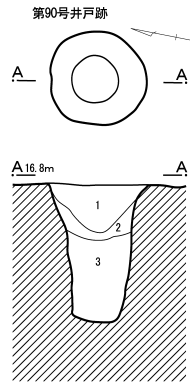
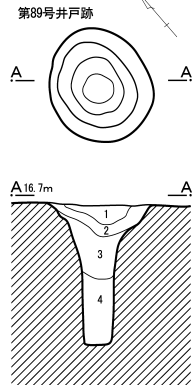
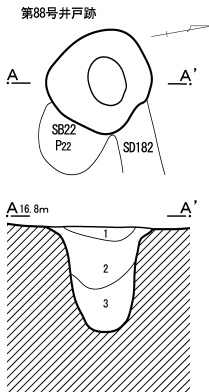
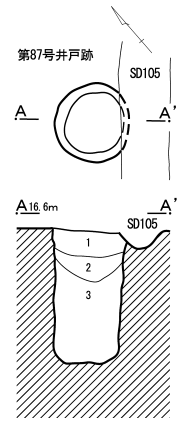
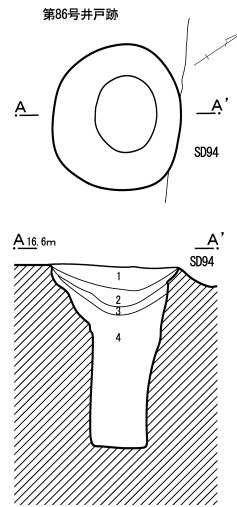
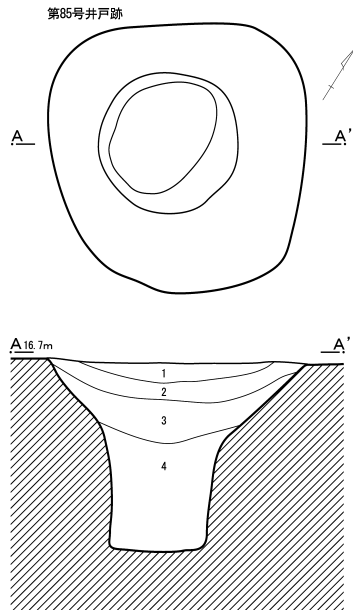
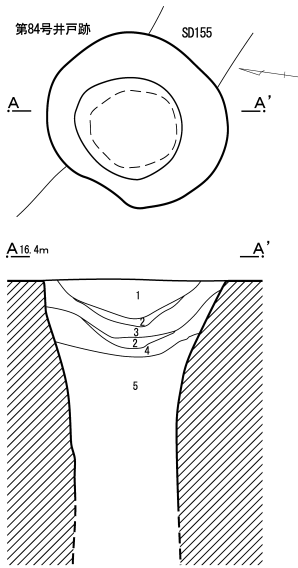


第66図 井戸跡・土坑・ピット全体図 (4)



第67図 井戸跡・土坑・ピット全体図 (5)





第84号井戸跡  
 1 灰褐色土 青灰色粘土ブロック・酸化鉄粒子含む  
 2 黒色土 炭化物層。綿状に堆積  
 3 暗灰褐色土  
 4 暗灰褐色土 青灰色粘土ブロック含む  
 5 暗灰褐色土 青灰色粘土ブロック多量

第85号井戸跡  
 1 暗褐色土 焼土粒子少量  
 2 暗褐色土 やや粘性あり  
 3 黒褐色土 青灰色粘質土少量。やや粘性あり  
 4 暗褐色土 粘性強い

第86号井戸跡  
 1 黄褐色土 焼土粒子・暗褐色土粒子多量  
 2 灰褐色土 暗褐色粘質土・焼土少量  
 3 黒褐色土 やや粘性あり  
 4 青褐色土 やや粘性あり

第87号井戸跡  
 1 暗褐色土 焼土粒子少量  
 2 暗褐色土 青灰色土ブロック (φ1.0~1.2cm) 少量  
 3 暗褐色土 やや粘性あり

第88号井戸跡  
 1 黒褐色土 青灰色土粒子含む。シルト質  
 2 黒褐色土 シルト質  
 3 黒褐色土 青灰色土ブロック多量。粘質土

第89号井戸跡  
 1 暗褐色土 焼土粒子・黄褐色土粒子多量  
 2 暗褐色土 青灰色土少量  
 3 暗褐色土 やや粘性あり  
 4 暗灰色土 黄灰色土粒子含む。粘性あり

第90号井戸跡  
 1 暗褐色土 焼土粒子少量  
 2 暗褐色土 青灰色土少量。粘性強い  
 3 暗褐色土 粘性強い

第91号井戸跡  
 1 黒褐色土 焼土粒子・黄褐色土粒子含む  
 2 黒褐色土 粘質土

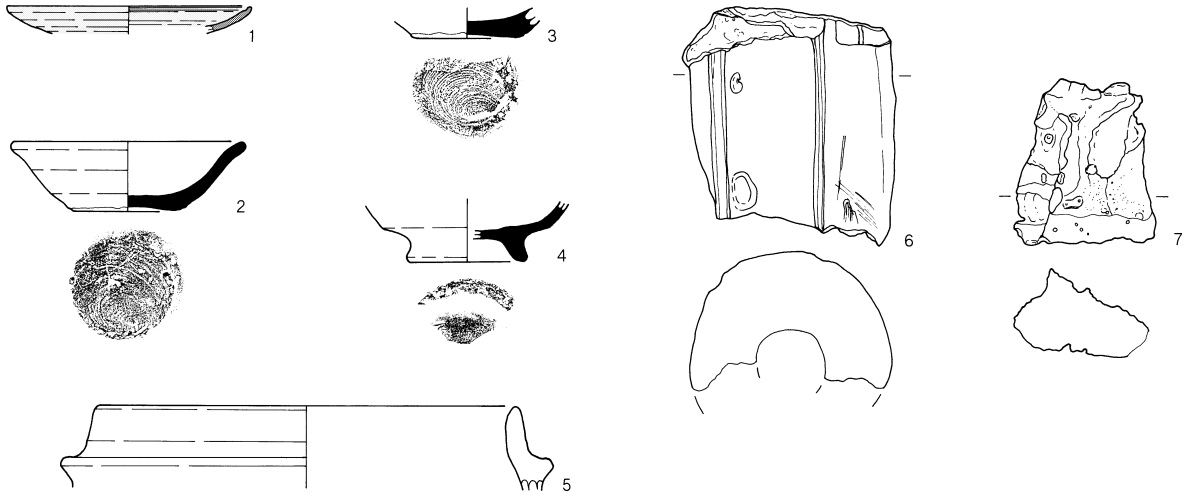
第92号井戸跡  
 1 灰褐色土 青灰色土粒子多量  
 2 灰褐色土 粘質土

第93号井戸跡  
 1 灰褐色土 黄褐色土粒子多量  
 2 灰褐色土 シルト質  
 3 灰褐色土 黒色味強い。粘質土

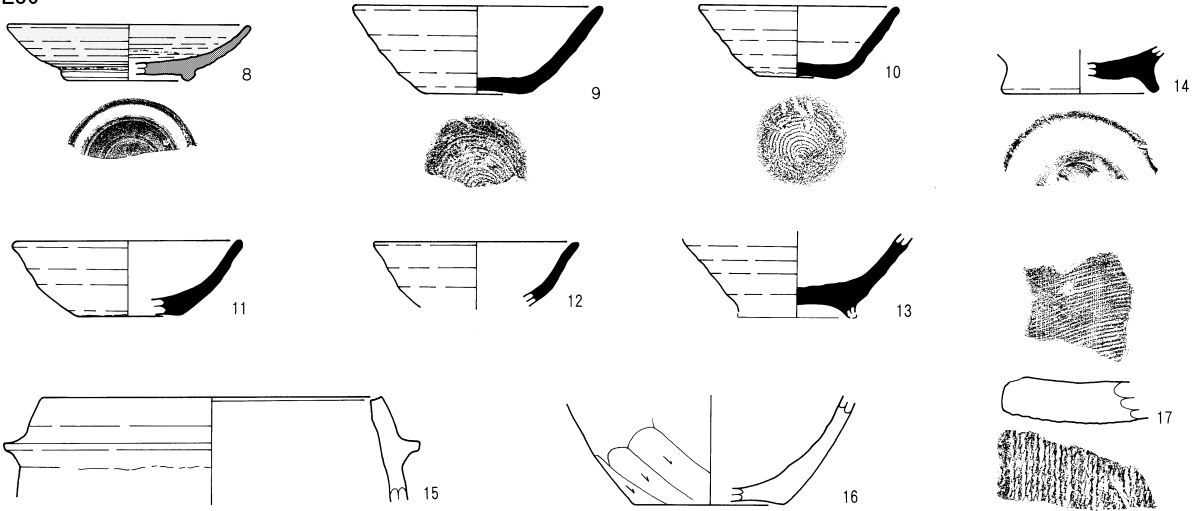


第68図 井戸跡 (I)

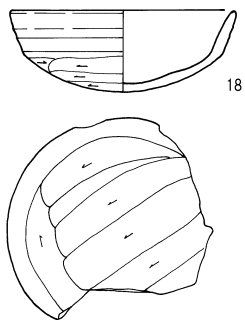
SE85



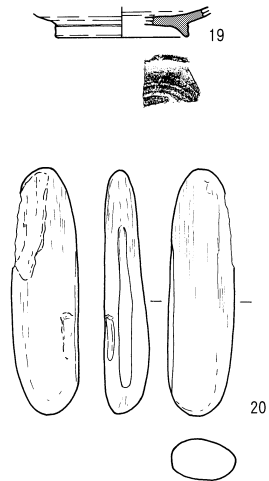
SE86



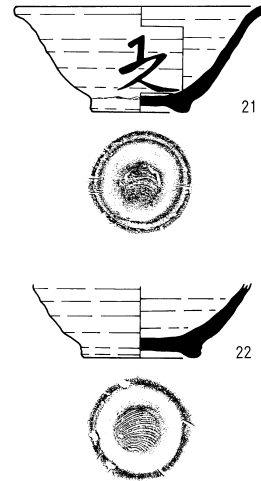
SE87



SE88



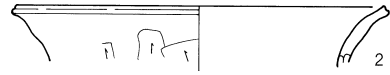
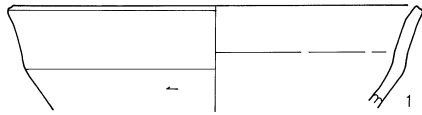
SE89



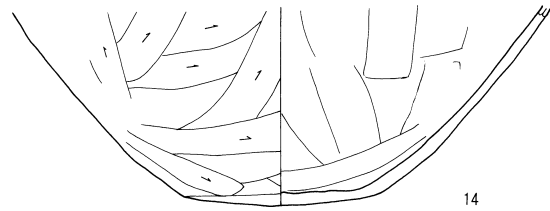
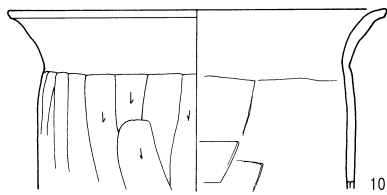
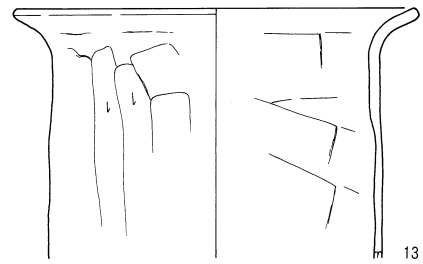
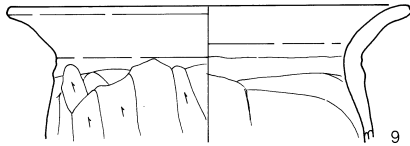
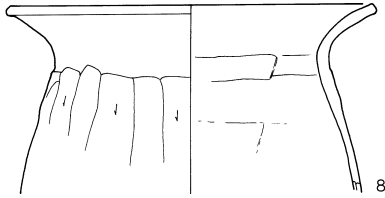
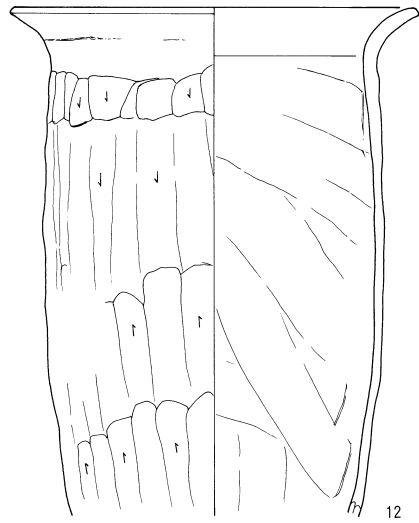
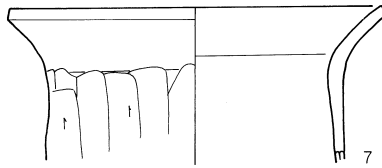
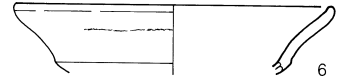
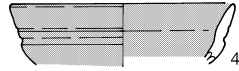
0 10cm 1:4

第69図 井戸跡出土遺物 (1)

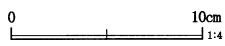
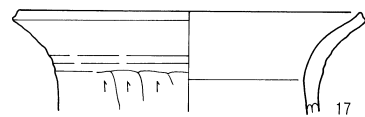
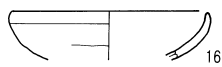
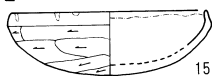
SE90



SE91



SE92



第70図 井戸跡出土遺物 (2)

出土遺物は比較的多く、図示できたものは第70図3～14のとおりである。

#### 第92号井戸跡（第68図）

I-14グリッドに位置し、第208号溝跡と重複している。平面は長径57cm、短径51cm、長軸方向はN-90°である。深さは90cmで、壁面は緩やかに広がりながら立ち上がる形態である。

出土遺物のうち、図示できたものは第70図15～17のとおりである。

#### 第93号井戸跡（第68図）

I-14グリッドに位置し、第226号溝跡と重複している。平面は長径66cm、短径60cm、長軸方向はN-47°-Eである。深さは105cmで、壁面は緩やかに広がりながら立ち上がる形態である。

出土遺物のうち、図示できたものは第73図1・2の土師器坏2点である。

#### 第94号井戸跡（第71図）

J-11グリッドに位置し、第179号溝跡と重複する。平面は長径60cm、短径60cm、長軸方向はN-90°である。深さは90cmで、壁面は緩やかに広がりながら立ち上がる形態である。

出土遺物のうち、図示できたものは第73図3の砥石1点のみである。

#### 第95号井戸跡（第71図）

I-13グリッドに位置し、第188号溝跡と重複する。平面は長径51cm、短径45cm、長軸方向はN-0°である。深さは132cmで、壁面はほぼまっすぐに立ち上がり、上方が緩やかに広がる形態である。

出土遺物は多く、図示できたものは第72図1～13のとおりである。残存状態が良好なものが多く、比較的小型の井戸跡に詰め込まれるような状態で出土した。

#### 第96号井戸跡（第71図）

I-14・15グリッドに位置する。平面は長径147cm、短径111cm、長軸方向はN-0°で、隅丸の長方形を呈している。深さは約85cm以上掘削できなかった。壁面は上方が緩やかに広がる形態である。

出土遺物は少なく、図示できるものはなかった。

#### 第97号井戸跡（第71図）

I-14グリッドに位置する。平面は長径48cm、短径45cm、長軸方向はN-45°-Wである。深さは90cmで、壁面は緩やかに広がりながら立ち上がる形態である。

出土遺物のうち、図示できたものは第73図4～6のとおりである。

#### 第98号井戸跡（第71図）

I-15グリッドに位置する。西側にはピットが重複している。平面は長径123cm、短径96cm、長軸方向はN-90°である。深さは約80cm以上掘削できなかった。壁面はまっすぐに立ち上がり、上方では大きく開く形態である。

出土遺物のうち、図示できたものは第73図7～11のとおりである。

#### 第99号井戸跡（第71図）

J-12グリッドに位置する。平面は長径99cm、短径69cm、長軸方向はN-69°-Wである。ただし、深くなる部分は平面が径40cmの小形の円形をなす。深さは144cmで、壁面はまっすぐに立ち上がる。

出土遺物のうち、図示できたものは第73図12～14のとおりである。

#### 第100号井戸跡（第71図）

K・J-15グリッドに位置し、第213・215・216号溝跡と重複している。土層断面からみて、いずれの溝跡よりも井戸跡の方が新しい。平面は長径156cm、短径141cmと大型で、長軸方向はN-12°-Wである。

深さは153cmで、壁面は朝顔形に大きく開く形態である。

出土遺物のうち、図示できたものは第73図15～24のとおりである。18の高台付塚の内面底部に、焼成後に施した「×」の線刻がある。19は内外面ともに漆が付着している。

#### 第101号井戸跡（第71図）

J-15グリッドに位置する。平面は長径78cm、短径69cm、長軸方向はN-28°-Wである。深さは69cmと浅く、壁面は上方が緩やかに開く形態である。

出土遺物は少なく、図示できるものはなかった。

#### 第102号井戸跡（第71図）

J・K-16グリッドに位置する。平面は長径105cm、短径90cm、長軸方向はN-38°-Eである。深さは120cmで、壁面は上半部が大きく開く漏斗形である。

出土遺物のうち、図示できたものは第73図25のみである。

#### 第103号井戸跡（第73図）

I-15グリッドに位置する。最も上面での平面規模は長径270cm、短径207cm、長軸方向はN-58°-Eである。井戸跡の掘り方自体は長径120cm、短径115cmで、深さは132cmまで掘削した。

板材を方形に組んだ井戸枠が残存していた（第75・76図1～8）。各辺1枚の板を立てて使用し、幅が45cm前後のやや広い板で、幅約36～40cmの狭い板をはさみこむようにして、方形枠を作っている。最下端では井戸枠がゆがまないように、角材の横木で固定させていた。横木にはそれぞれ柄を作り出しており、はめ込むことができる。板材の井戸枠は上部が風化によって失われているため、全体の長さは不明であるが、最も残りの良いもので117.8cmを測る。井戸枠の内法一辺の長さは32～40cmとなり、ややいびつな方形である。

出土遺物のうち、図示できたものは第74図1～11

のとおりである。土器では5のみがやや時期に差異があり、井戸廃絶後にまぎれこんだ可能性がある。木製品はいずれも用途不明のものである。11は長方形に作り上げており、組板状の板材である。

#### 第104号井戸跡（第77図）

J-17グリッドに位置し、第224号溝跡と重複している。平面は長径210cm、短径204cmと大型で、長軸方向はN-0°である。深さは約140cm以上掘削できなかった。壁面は漏斗形をなし、上方が大きく開く形態である。

出土遺物のうち、図示できたものは第74図12～14のとおりである。

#### 第105号井戸跡（第77図）

J-17グリッドに位置する。平面は長径252cm、短径234cmと大型で、長軸方向はN-74°-Wである。深さは約160cm以上掘削できなかった。壁面は漏斗形をなし、上方が大きく開く形態である。

出土遺物は少なく、図示できるものはなかった。

#### 第106号井戸跡（第77図）

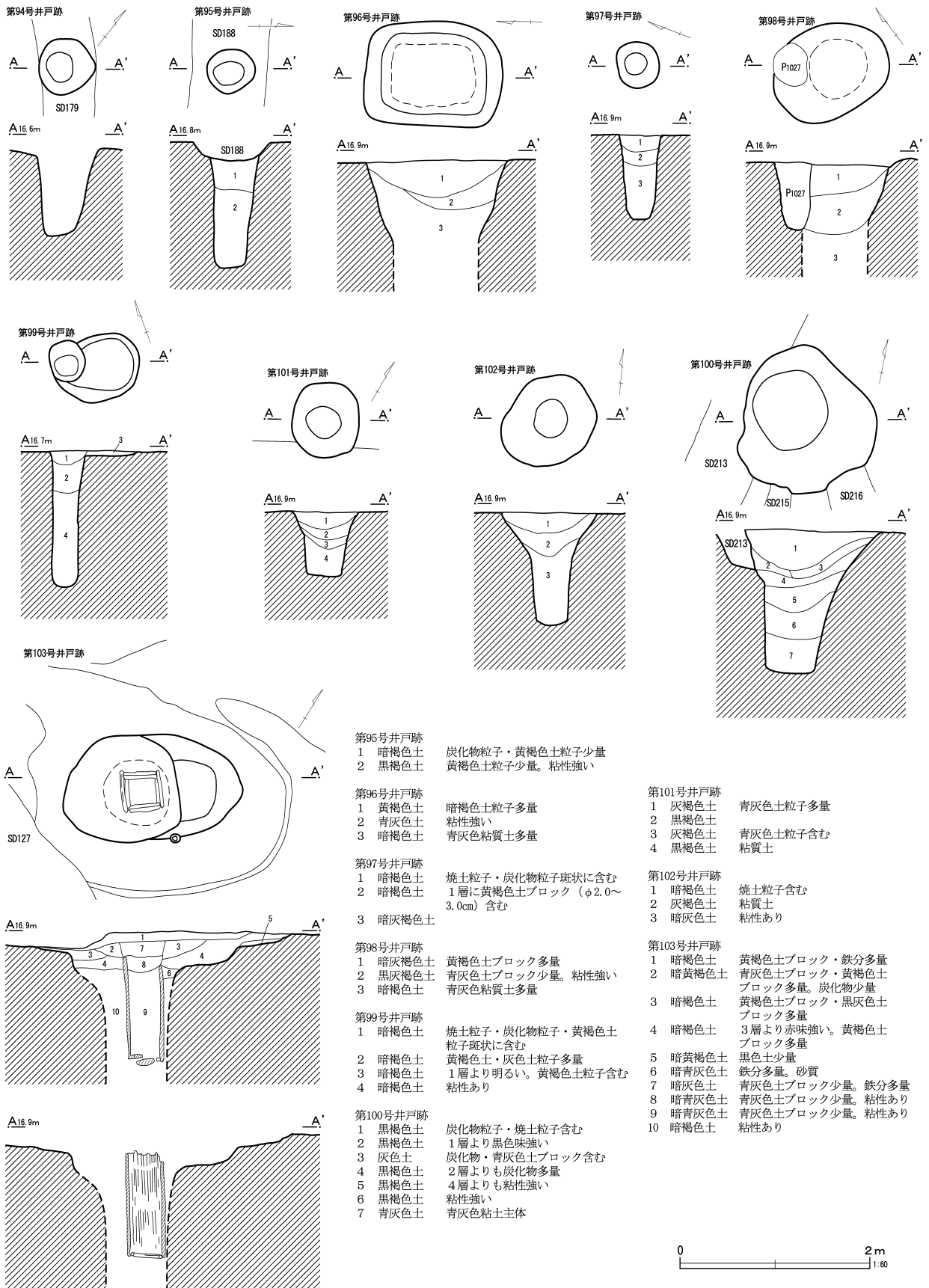
I・J-16グリッドに位置する。平面は長径132cm、短径126cm、長軸方向はN-90°である。深さは165cmで、壁面は緩やかに広がりながら立ち上がる形態である。

出土遺物は少なく、図示できたものは第74図15の底部糸切痕のある須恵器坏底部1点のみである。

#### 第107号井戸跡（第77図）

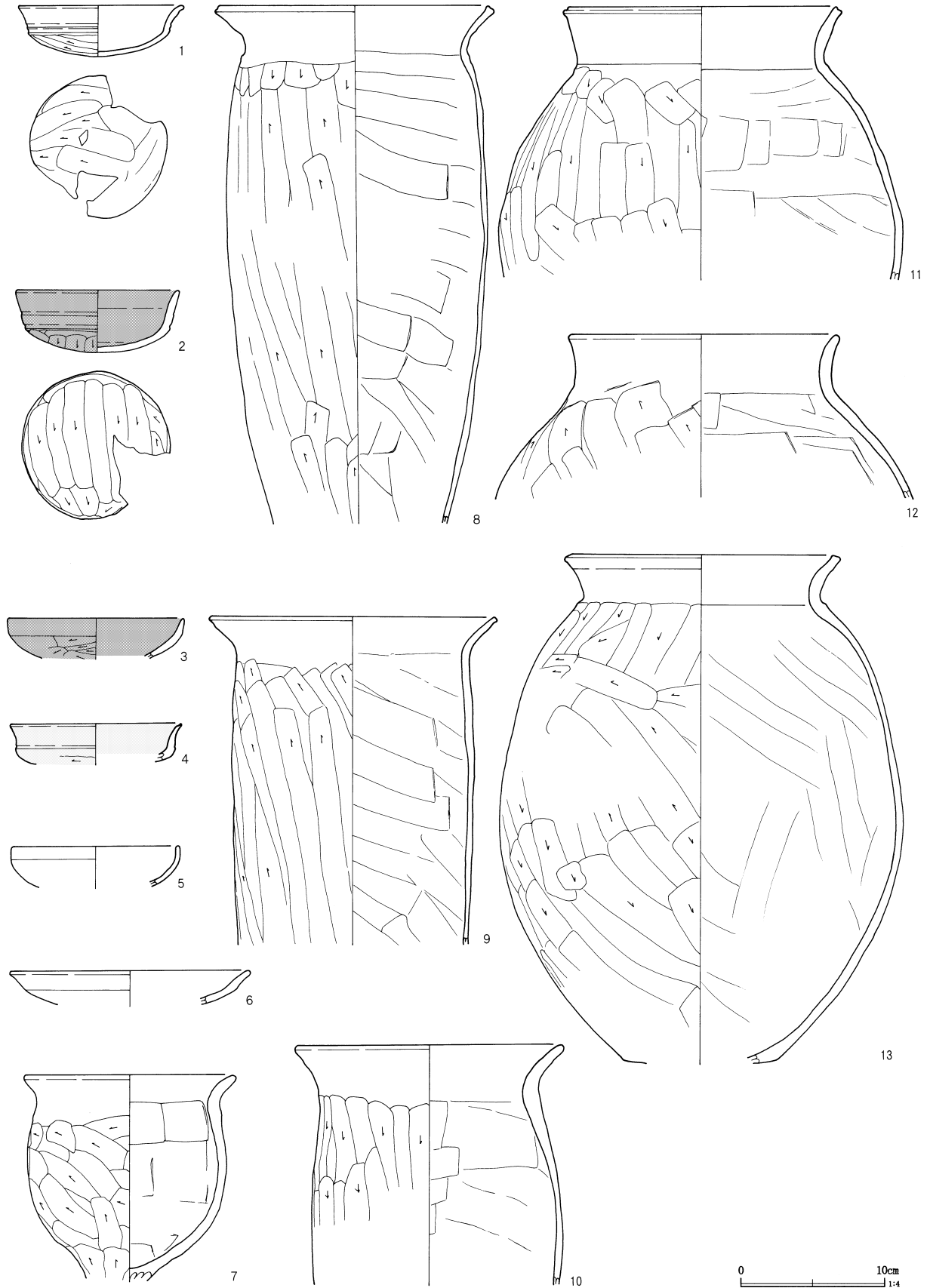
I・J-16グリッドに位置する。平面は長径132cm、短径126cm、長軸方向はN-90°である。深さは141cmで、壁面は緩やかに広がりながら立ち上がる形態である。

出土遺物のうち、図示できたものは第74図16～19のとおりである。16は緑釉陶器塚の底部で高台が剝離している。



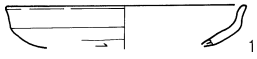
第71図 井戸跡 (2)

SE95

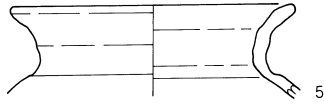
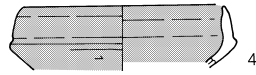


第72図 井戸跡出土遺物 (3)

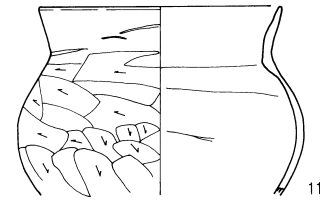
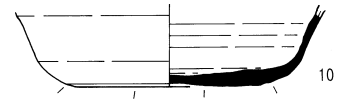
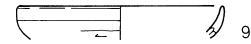
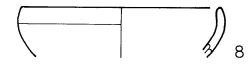
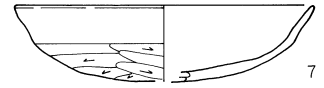
SE93



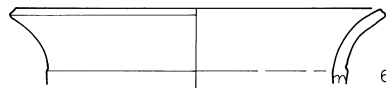
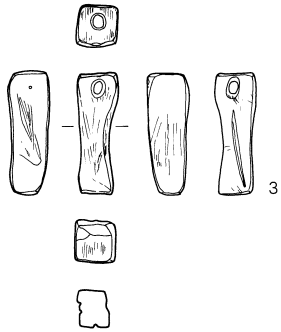
SE97



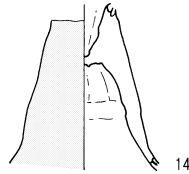
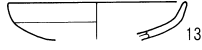
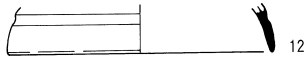
SE98



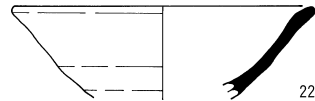
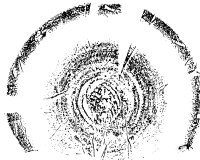
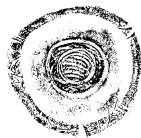
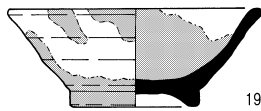
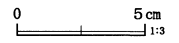
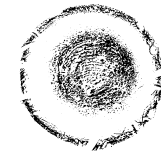
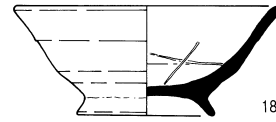
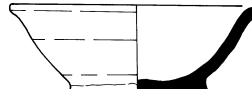
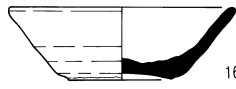
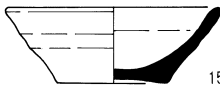
SE94



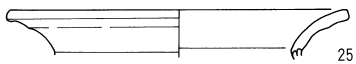
SE99



SE100



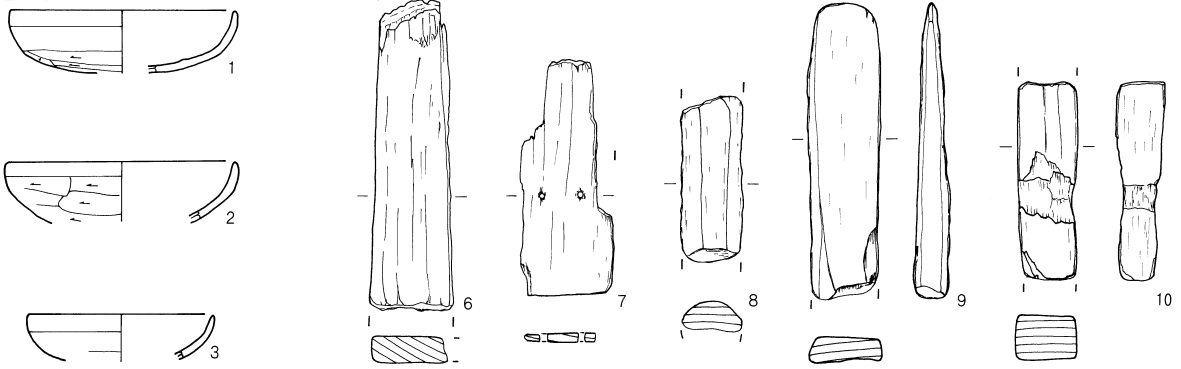
SE102



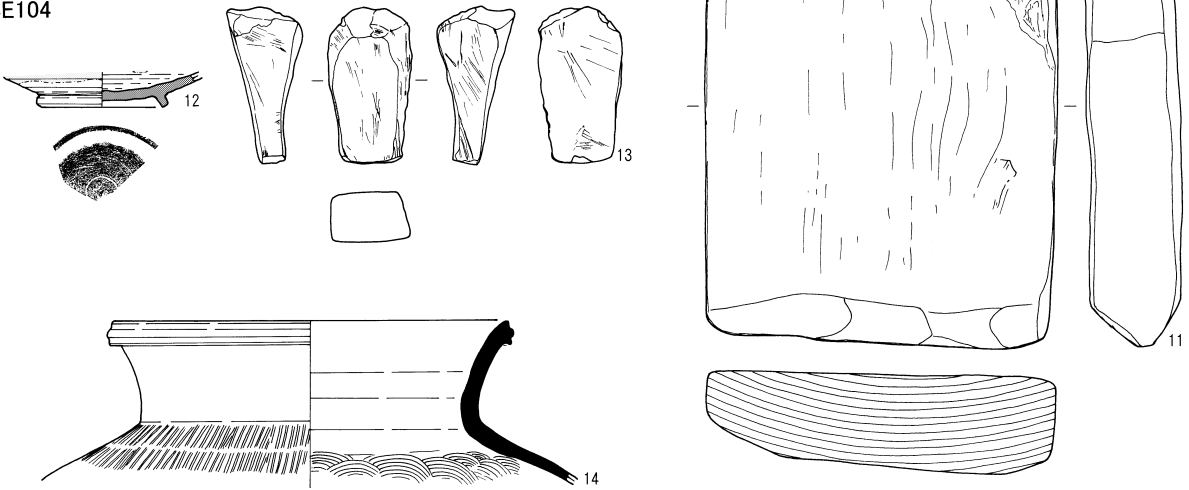
第73図 井戸跡出土遺物 (4)



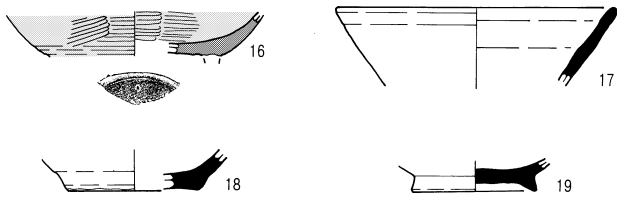
SE103



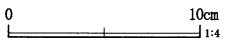
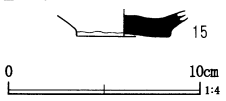
SE104



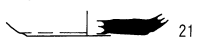
SE107



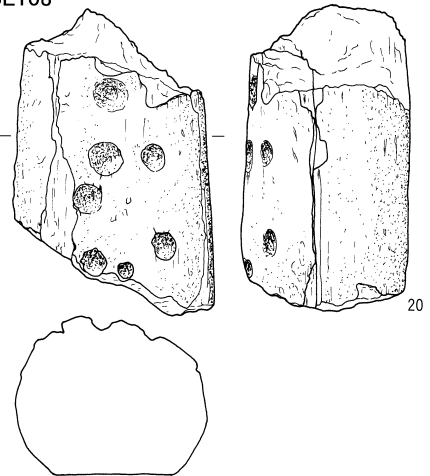
SE106



SE109

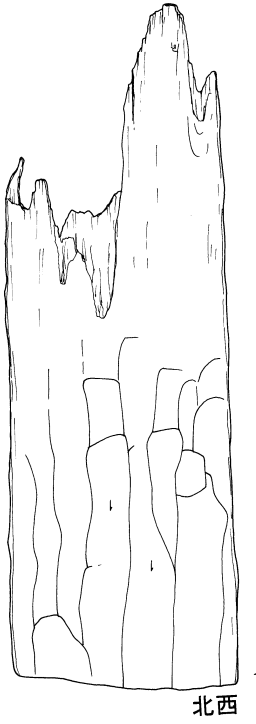
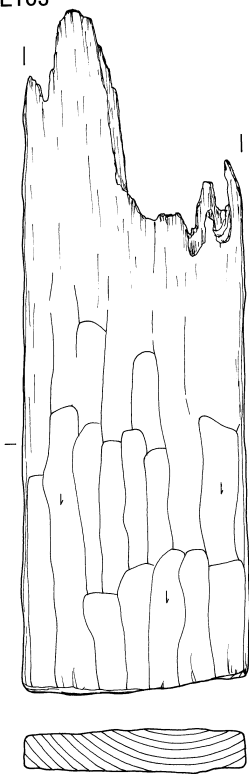


SE108



第74図 井戸跡出土遺物 (5)

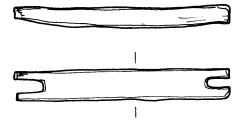
SE103



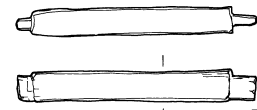
北西 1



北西 5



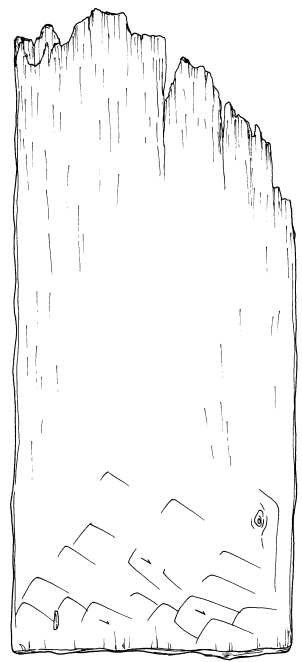
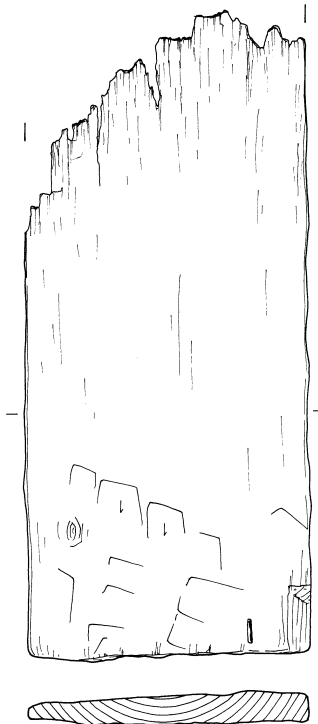
北東 6



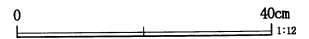
南東 7



南西 8

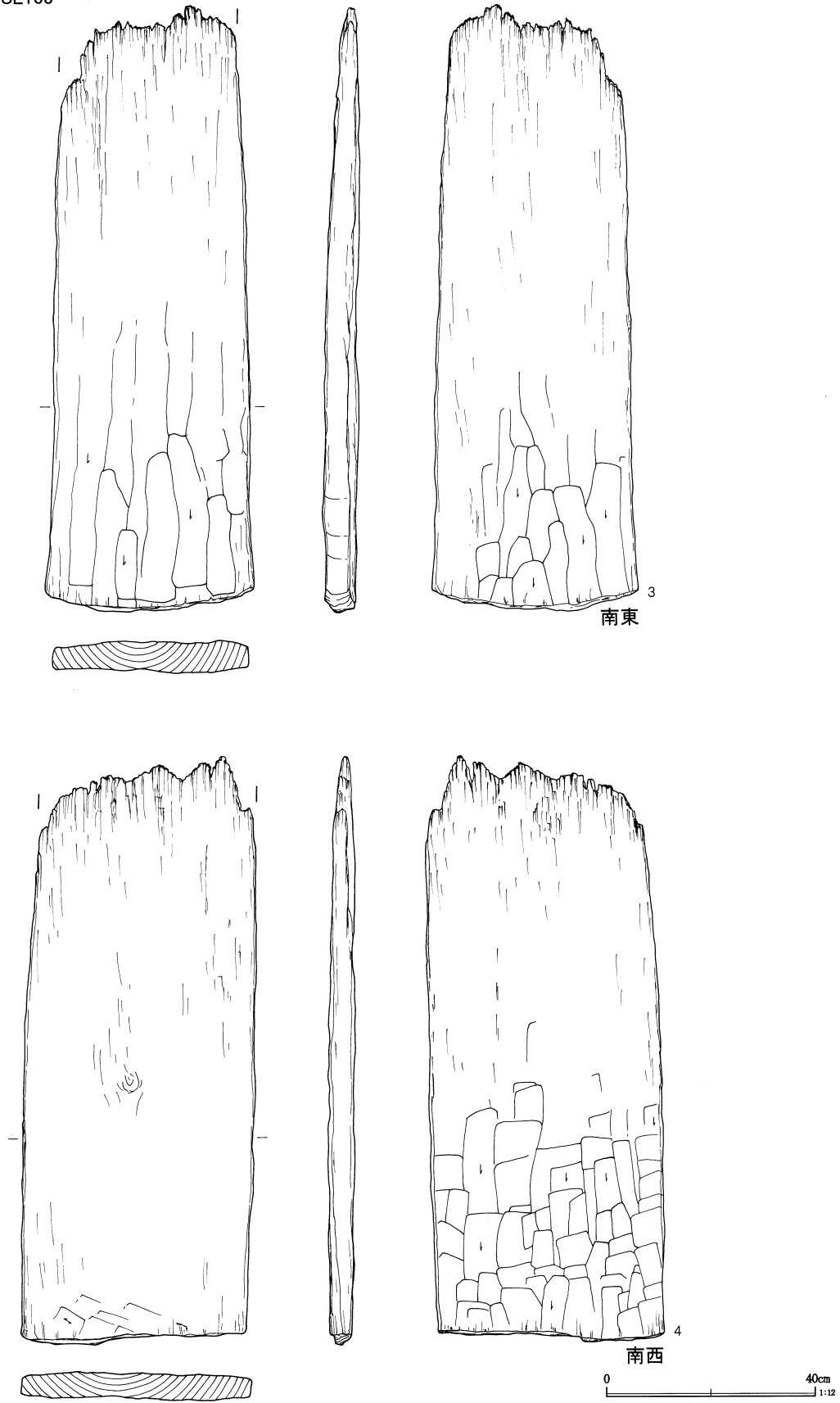


北東 2



第75図 第103号井戸跡井戸杵 (1)

SE103



第76図 第103号井戸跡井戸枠 (2)

#### 第108号井戸跡 (第77図)

I-16グリッドに位置する。平面は長径108cm、短径84cm、長軸方向はN-31°-Wである。深さは141cmで、壁面はまっすぐに立ち上がる。

出土遺物は少なく、図示できたものは第74図20の石器1点のみである。縄文時代の凹石の破片と考えられる。

#### 第109号井戸跡 (第77図)

I-13グリッドに位置する。平面は長径63cm、短径48cmと小型で、長軸方向はN-24°-Wである。深さは81cmと比較的浅い。壁面は緩やかに広がりながら立ち上がる形態である。

出土した遺物は少なく、図示できたものは第74図21の須恵器坏底部片1点のみである。

#### 第110号井戸跡 (第77図)

I-13グリッドに位置する。平面は長径72cm、短径66cm、長軸方向はN-0°である。深さは117cmで、壁面はまっすぐに立ち上がる形態である。

出土遺物のうち、図示できたものは第80図1~4のとおりである。4の木製品は火鑽白で、2ヶ所のくぼみがみられ、いずれのくぼみも焼けて黒くなっている。

#### 第111号井戸跡 (第77図)

I-13グリッドに位置する。平面は長径54cm、短径51cm、長軸方向はN-20°-Eである。深さは123cmで、壁面はまっすぐに立ち上がる形態を示す。

出土遺物は少なく、図示できるものはなかった。

#### 第112号井戸跡 (第77図)

I-13グリッドに位置し、第177号溝跡と重複する。平面は長径51cm、短径48cm、長軸方向はN-90°である。深さは108cmで、壁面はまっすぐに立ち上がる形態を示す。

出土遺物は少なく、図示できるものはなかった。

#### 第113号井戸跡 (第78図)

I-13グリッドに位置し、第181号溝跡やP907と重複している。平面は長径57cm、短径42cm、長軸方向はN-67°-Eである。深さは114cmで、壁面は緩やかに広がりながら立ち上がる形態である。

出土遺物は少なく、図示できるものはなかった。

#### 第114号井戸跡 (第78図)

J-15グリッドに位置する。平面は長径60cm、短径57cm、長軸方向はN-0°である。深さは111cmで、壁面はわずかに屈曲しながら、まっすぐに立ち上がる。

出土遺物のうち、図示できたものは第80図5~8のとおりである。5は底部の周囲にヘラケズリを施し、他の土器とは時期を異にしている。

#### 第115号井戸跡 (第78図)

I-17グリッドに位置する。平面は長径222cm、短径216cmと大型で、長軸方向はN-90°である。深さは約110cm以上掘削できなかった。壁面はまっすぐに立ち上がり、上方で大きく広がる形態を示す。

出土遺物は多く、図示できたものは第81図1~20のとおりである。1・2の灰釉陶器は残存状態が良好であった。17~19は椀形滓、20は曲物で側板の継ぎ目部分が残る。

#### 第116号井戸跡 (第78図)

J-17グリッドに位置する。南側は調査区域外となるため、全体の形態を把握することはできなかった。平面は東西129cm、南北111cm以上である。深さは約120cm以上掘削することができなかった。壁面は緩やかに広がりながら立ち上がる形態である。

出土遺物のうち、図示できたものは第80図9・10のとおりである。

#### 第117号井戸跡 (第78図)

I-14グリッドに位置し、第21号溝跡と重複して

いる。平面は長径42cm、短径39cmと小型で、長軸方向はN-78°-Eである。深さは93cmで、壁面はまっすぐに立ち上がる。

出土遺物は少なく、図示できたものは第80図11の小型甕1点のみであった。

#### 第118号井戸跡 (第78図)

J-14グリッドに位置する。平面は長径45cm、短径42cmと小型で、長軸方向はN-90°である。深さは90cmで、壁面はまっすぐに立ち上がる形態を示す。

出土遺物は少なく、図示できるものはなかった。

#### 第119号井戸跡 (第78図)

H-15グリッドに位置し、西側は調査区域外となる。平面は南北153cm、東西90cm以上である。深さは87cm以上掘削できなかった。壁面の形態は把握することができなかった。

出土遺物は少なく、図示できるものはなかった。

#### 第120号井戸跡 (第78図)

I-17グリッドに位置し、南側は調査区域外となる。平面は東西138cm、南北125cm以上である。深さは150cmで、壁面は緩やかに広がりながら立ち上がる形態である。

出土遺物は少なく、図示できるものはなかった。

#### 第121号井戸跡 (第78図)

I-17グリッドに位置する。平面は長径45cm、短径36cmと小型で、長軸方向はN-19°-Eである。深さは約75cm以上掘削できなかった。壁面はまっすぐに立ち上がる形態を示すが、非常にせまい。

出土遺物は多くはないが、第80図12の土師器甕は井戸跡底部付近より、良好な状態で出土した。

#### 第122号井戸跡 (第78図)

I-17グリッドに位置する。平面は長径48cm、短径39cmと小型で、長軸方向はN-90°である。深さは

約70cm以上掘削できなかった。壁面形態は第121号井戸跡と類似する。

出土遺物は少なく、図示できるものはなかった。

#### 第123号井戸跡 (第79図)

J-17グリッドに位置し、南側は調査区域外となる。平面は長径69cm、短径63cm、長軸方向はN-0°である。深さは135cmで、壁面はまっすぐに立ち上がる形態を示す。

出土遺物は少なく、図示できるものはなかった。

#### 第124号井戸跡 (第79図)

I-14グリッドに位置し、第208号溝跡と重複している。平面は長径57cm、短径45cm、長軸方向はN-52°-Wである。深さは約145cm以上掘削できなかった。壁面はまっすぐに立ち上がる形態を示す。

出土遺物は少なく、図示できるものはなかった。

#### 第125号井戸跡 (第79図)

K-11・12グリッドに位置する。平面は長径66cm、短径57cm、長軸方向はN-90°である。深さは42cmと非常に浅く、井戸跡ではない可能性が高い。壁面は摺鉢状をなす。

出土遺物のうち、図示できたものは第80図13・14のとおりである。

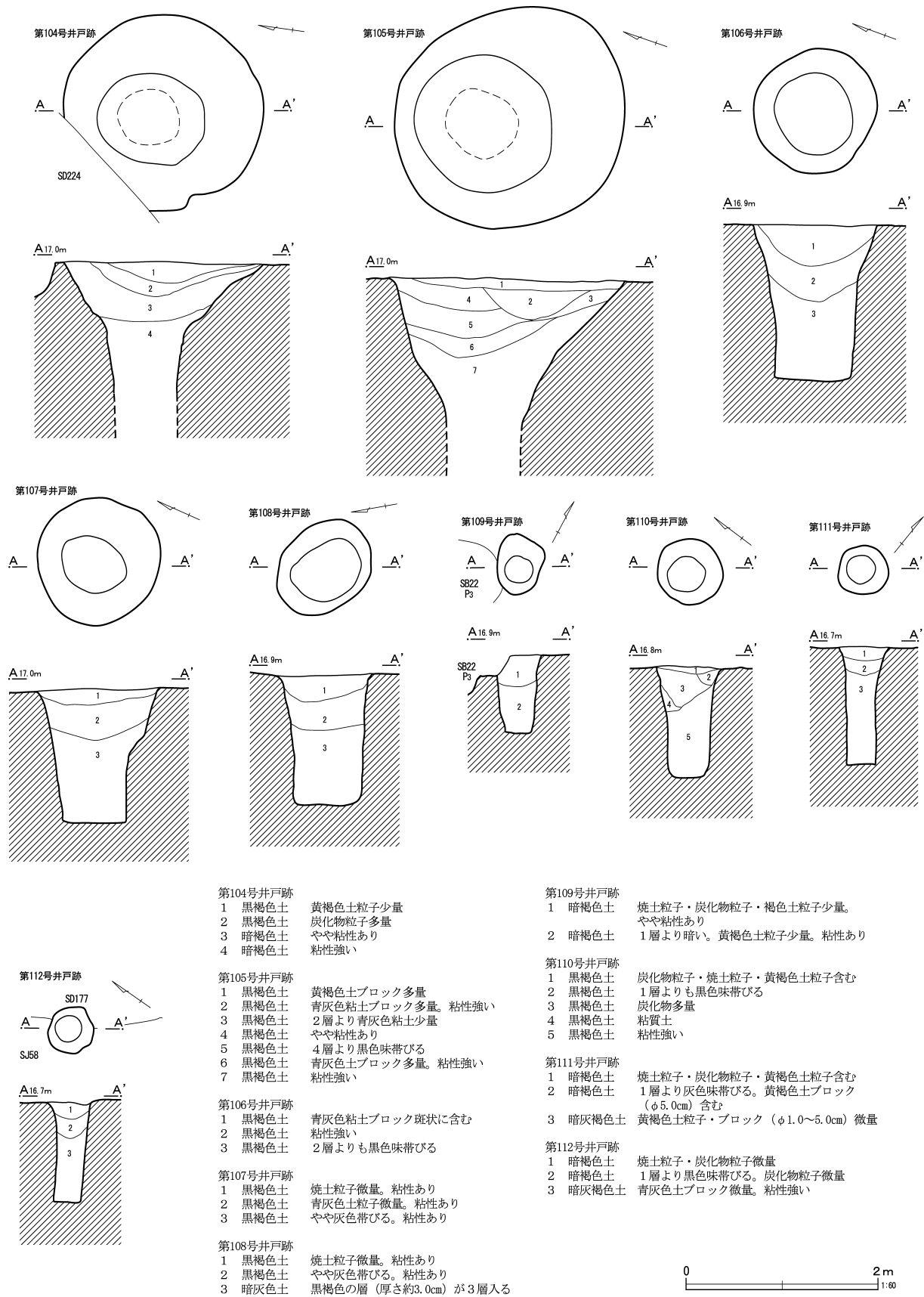
#### 第126号井戸跡 (第79図)

I-17グリッドに位置する。平面は長径75cm、短径72cm、長軸方向はN-0°である。深さは150cmで、壁面は緩やかに広がりながら立ち上がる。

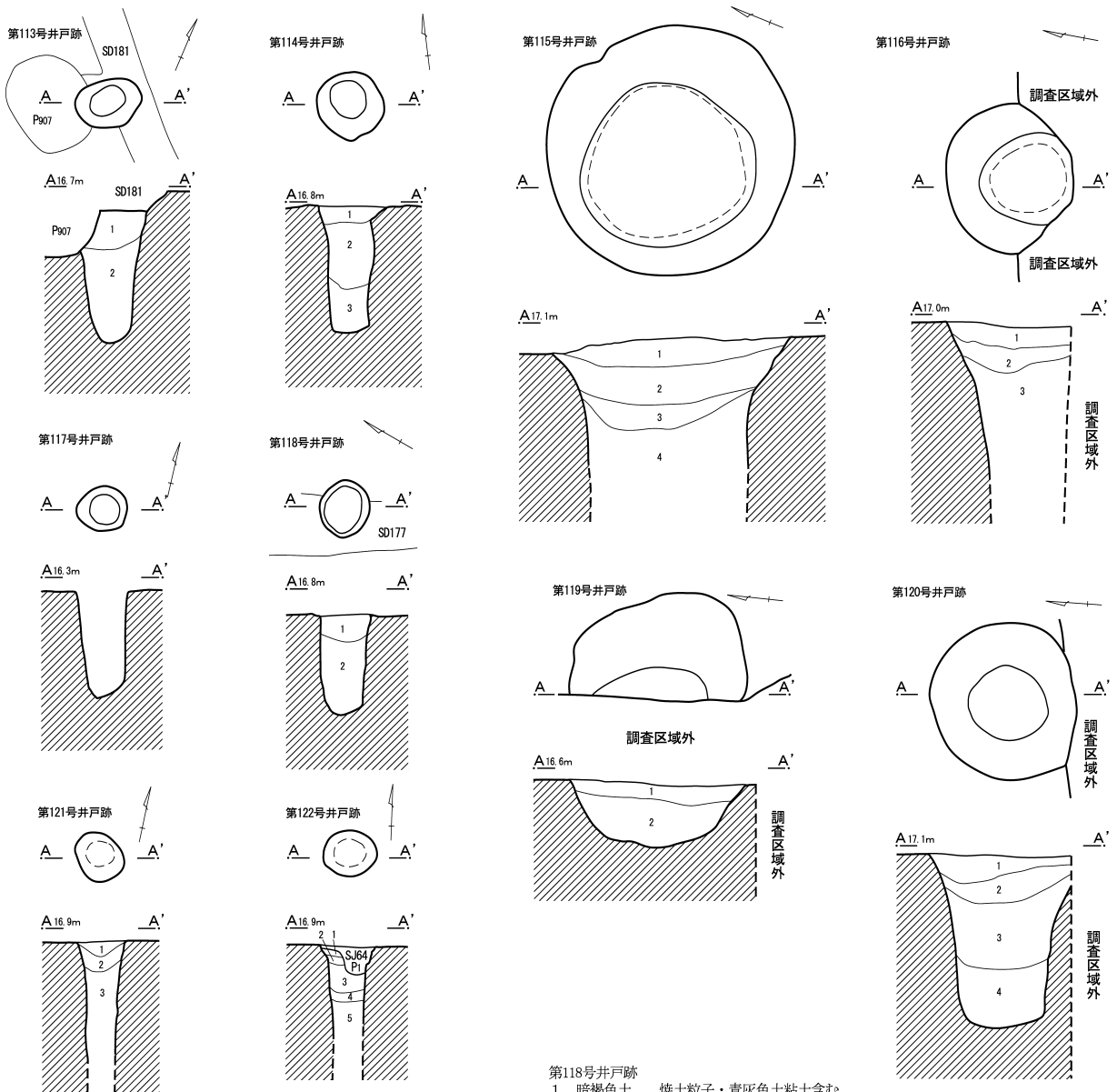
出土遺物は少なく、図示できるものはなかった。

#### 第127号井戸跡 (第79図)

I-17グリッドに位置する。平面は長径51cm、短径48cm、長軸方向はN-41°-Eである。深さは111cmで、壁面は緩やかに広がりながら立ち上がる。底部付近の径は非常にせまい。



第77図 井戸跡 (3)



第113号井戸跡

- 1 暗褐色土 焼土粒子・炭化物粒子多量。黄褐色土ブロック (φ2.0~3.0cm) 含む
- 2 暗褐色土 やや灰色帯びる。粘性強い

第114号井戸跡

- 1 黒褐色土 焼土粒子・炭化物粒子微量。黄褐色土粒子少量
- 2 黒褐色土 褐色土粒子微量。粘質土
- 3 暗灰色土 青灰色粘質土粒子少量。粘質土

第115号井戸跡

- 1 暗褐色土 炭化物粒子少量。酸化鉄粒子多量
- 2 暗灰色土 炭化物粒子・ブロック (φ2.0cm) 少量。粘性強い
- 3 暗灰色土 炭化物層がレンズ状に入る
- 4 暗灰色土 上層より明るい。黒色粘質土が少量混入

第116号井戸跡

- 1 暗褐色土 黄褐色土~青灰色土ブロック下位に含む。炭化物粒子微量
- 2 黒灰色土 青灰色土粒子斑状に混入。砂質
- 3 黒灰色土 黒色味強い。下位はシルト質

第118号井戸跡

- 1 暗褐色土 焼土粒子・青灰色土粘土含む
- 2 暗褐色土 焼土粒子・炭化物粒子含む

第119号井戸跡

- 1 灰黒褐色土 炭化物粒子微量。粘性あり
- 2 灰黒褐色土 青灰色土粒子斑状に含む

第120号井戸跡

- 1 黒褐色土 黄褐色土ブロック含む
- 2 黄褐色土 黒褐色粘質土ブロック含む
- 3 黒褐色土 青灰色土ブロック少量。粘質土
- 4 黒褐色土 粘質土

第121号井戸跡

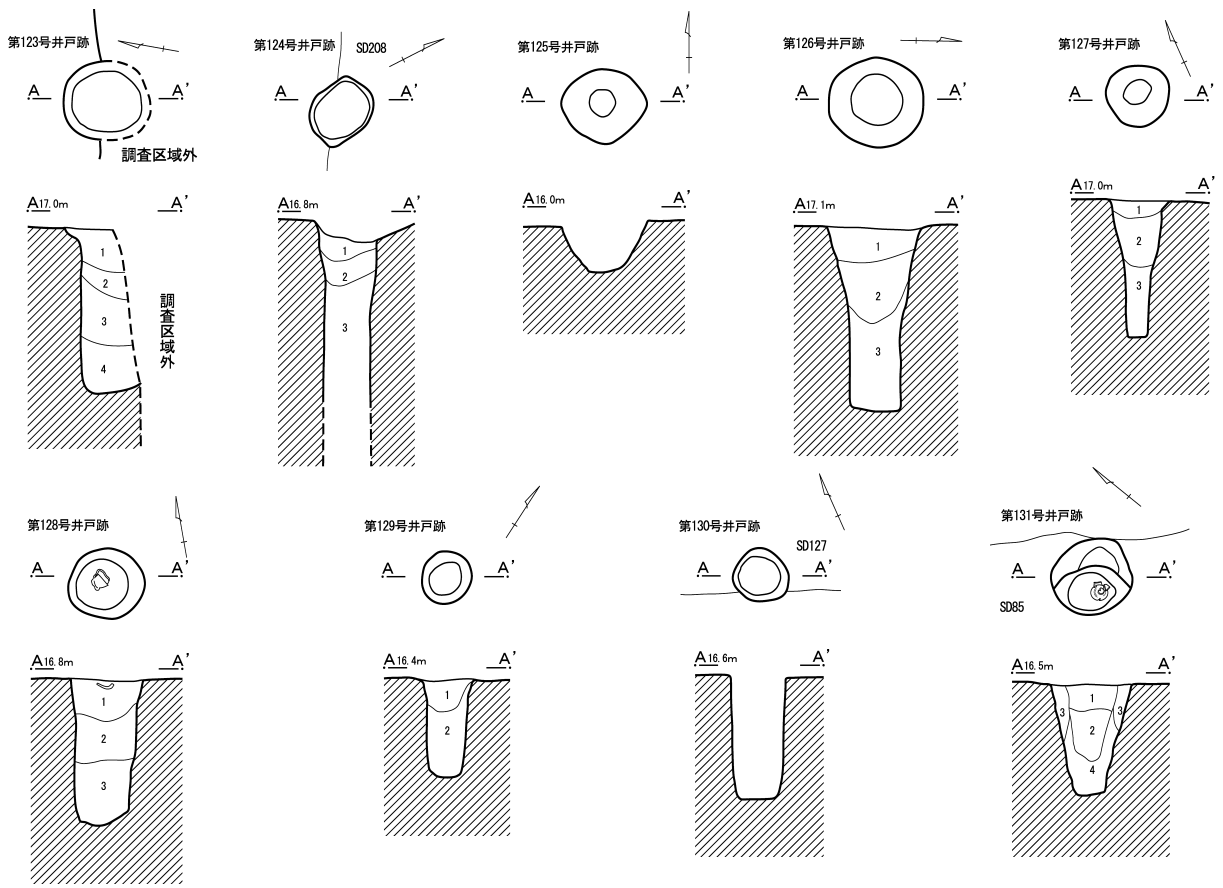
- 1 暗灰褐色土 黄褐色土ブロック多量
- 2 暗灰褐色土 植物繊維含む。粘性あり
- 3 黒灰褐色土 粘性あり

第122号井戸跡

- 1 黄褐色土 暗褐色土ブロック少量
- 2 暗褐色土 黄褐色土ブロック含む
- 3 暗灰褐色土 粘性あり
- 4 暗灰褐色土 粘性あり。しまりなし
- 5 暗灰褐色土 粘性あり



第78図 井戸跡 (4)



第123号井戸跡

- 1 暗褐色土 黄褐色～青灰色土ブロック下位に含む。炭化物粒子微量
- 2 暗褐色土 黄褐色土粒子含む。粘性あり
- 3 暗褐色土 やや青味帯びる。シルト質
- 4 暗褐色土 木片少量。粘性強い

第124号井戸跡

- 1 暗褐色土 焼土粒子・炭化物粒子微量。黄褐色土粒子少量
- 2 暗褐色土 黄褐色土粒子少量。やや粘性あり
- 3 暗灰色土 青灰色粘質土粒子少量。粘性強い

第126号井戸跡

- 1 暗褐色土 黄褐色土粒子・ブロック (φ0.2～2.0cm) 多量。焼土粒子・炭化物粒子微量
- 2 暗灰色土 黄褐色土粒子微量。青灰色土粒子・ブロック (φ0.5cm～) 多量。粘性あり
- 3 青灰色土 粘性あり

第127号井戸跡

- 1 暗褐色土 焼土粒子・黄褐色土ブロック含む
- 2 黒褐色土 粘質土
- 3 黒褐色土 青灰色粘質土粒子少量。粘性強い

第128号井戸跡

- 1 暗灰褐色土 黄褐色土粒子含む
- 2 暗灰褐色土 青灰色土粒子含む。粘性あり
- 3 暗青灰色土 暗灰色粘質土含む。粘性強い。底部はやや砂質

第129号井戸跡

- 1 黒褐色土 黒色土・灰色粘質土粒子少量。褐色土粒子多量。粘性あり
- 2 灰色土 黒色粘質土粒子・酸化鉄粒子少量。粘性あり

第131号井戸跡

- 1 暗青灰色土 暗灰色粘質土と青灰色粘質土の混合層。酸化鉄粒子少量
- 2 暗灰色土 暗灰色粘質土多量。青灰色粘質土少量。粘性強い
- 3 青灰色土 褐色土粒子多量
- 4 青灰色土 暗灰色粘質土粒子少量。やや砂質



第79図 井戸跡 (5)

出土遺物は少なく、図示できるものはなかった。

出土遺物のうち、図示できたものは第80図15・16のとおりである。いずれも土師器北武蔵型坏である。

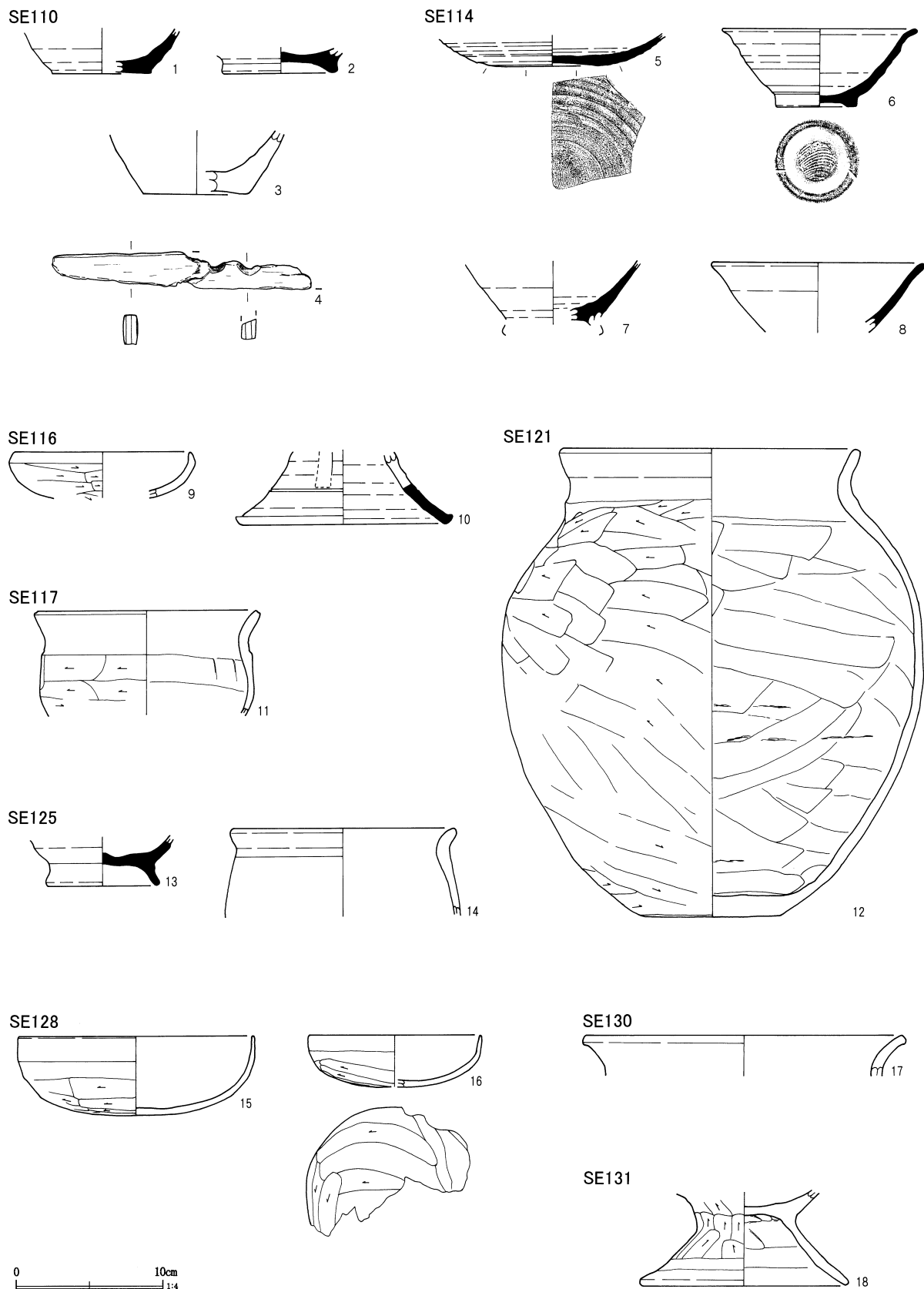
第128号井戸跡 (第79図)

K-17グリッドに位置する。平面は長径63cm、短径54cmと小型で、長軸方向はN-90°である。深さは117cmで、壁面はまっすぐに立ち上がる。

第129号井戸跡 (第79図)

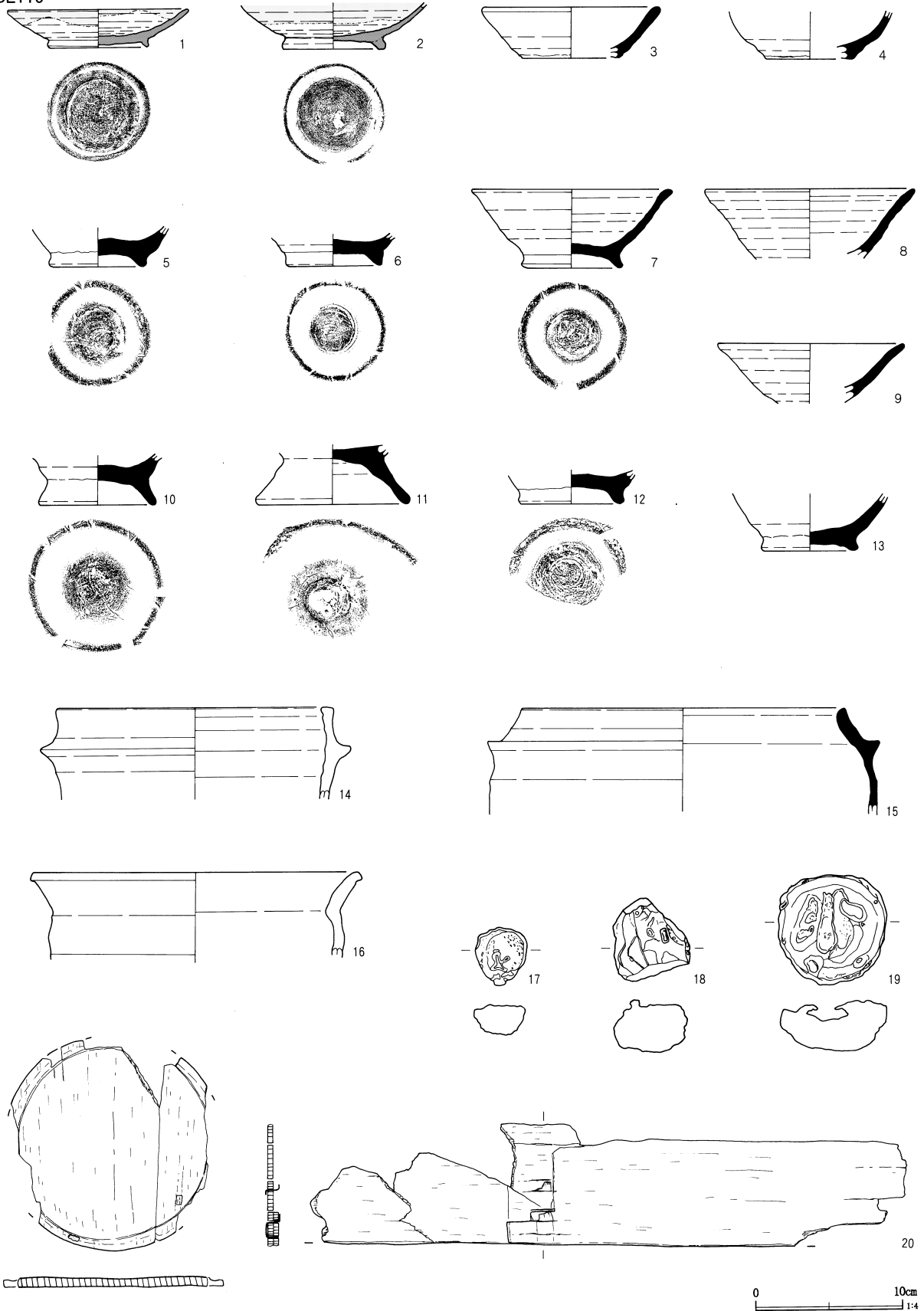
H-8グリッドに位置する。平面は長径45cm、短径39cmと小型で、長軸方向はN-0°である。深さは





第80図 井戸跡出土遺物 (6)

SE115



第81図 井戸跡出土遺物 (7)

第24表 井戸跡出土遺物観察表 (1)

挿入番号	遺構	種別	器種	口径	器高	底径	残存	胎土	焼成	色調	出土位置・備考	図版		
69	1	SE	85	灰釉陶器	皿	(13.0)	[1.4]	—	破片	白粒 黒粒	良好	灰白	東濃	48
69	2	SE	85	須恵器	坏	(12.5)	3.6	6.0	1/2	雲 白粒 黒粒	普通	灰黄		13
69	3	SE	85	須恵器	坏	—	[1.0]	(6.0)	3/4	雲 角 砂粒 赤粒 白粒	普通	橙		
69	4	SE	85	須恵器	高台付埴	—	[3.0]	(6.4)	1/3	雲 赤粒 白粒	普通	にぶい橙		
69	5	SE	85	須恵器	羽釜	(22.5)	[4.5]	—	破片	雲 角 砂粒	普通	黄灰		
69	6	SE	85	土製品	羽口	径(8.0) 孔径(2.7) 長[8.2]		破片	長石 石英	不良	褐	精錬用	50	
69	7	SE	85	鉄滓	椀型滓	長6.4	幅5.3	厚3.2	1/4					
69	8	SE	86	灰釉陶器	皿	(12.8)	2.9	(6.9)	1/4	白粒 黒粒	良好	灰白	東濃	13
69	9	SE	86	須恵器	坏	(13.2)	4.6	(5.0)	1/5	雲 砂粒 赤粒 白粒	普通	にぶい黄橙		
69	10	SE	86	須恵器	坏	10.8	3.7	2.2	ほぼ完形	白粒 黒粒	良好	灰白		13
69	11	SE	86	須恵器	坏	(12.0)	[3.9]	(5.4)	1/4	雲 角 砂粒 赤粒 礫	普通	にぶい橙		
69	12	SE	86	須恵器	坏	(11.0)	[3.4]	—	破片	雲 石英 砂粒 赤粒	普通	にぶい褐		
69	13	SE	86	須恵器	高台付埴	—	[4.2]	(6.2)	1/5	雲 石英 赤粒 白粒	普通	黒		
69	14	SE	86	須恵器	高台付埴	—	[2.1]	(8.4)	1/2	角 砂粒 赤粒 白粒	不良	橙		
69	15	SE	86	土師器	羽釜	(18.0)	[5.4]	—	破片	雲 角 砂粒	良好	にぶい橙		
69	16	SE	86	土師器	甕	—	[5.3]	(8.0)	1/4	雲 砂粒 赤粒 白粒	普通	橙		
69	17	SE	86	瓦	平瓦	長さ2.2 幅7.7		破片	雲 石英 赤粒 白粒	普通	にぶい橙		49	
69	18	SE	87	土師器	坏	(11.8)	[4.3]	—	2/3	雲 角 石英 白粒 黒粒	普通	灰		13
69	19	SE	88	灰釉陶器	埴	—	[1.6]	(7.0)	破片	長石 白粒 黒粒	良好	黄灰	東遠江	48
69	20	SE	88	石製品	砥石?	長さ9.7	幅2.6	厚1.8	完形					
69	21	SE	89	須恵器	高台付埴	13.2	5.6	5.2	4/5	角 砂粒 白粒 黒粒	普通	灰白	墨書	13
69	22	SE	89	須恵器	高台付埴	—	[4.0]	(6.2)	1/3	雲 角 白粒	普通	黒褐		
70	1	SE	90	土師器	鉢	(22.0)	[5.5]	—	破片	雲 角 白粒	普通	黒褐		
70	2	SE	90	土師器	甕	(20.0)	[3.0]	—	破片	雲 赤粒 白粒	良好	橙		
70	3	SE	91	土師器	坏	(11.0)	[3.4]	—	破片	雲 角 石英 赤粒 白粒	普通	にぶい橙		
70	4	SE	91	土師器	坏	(12.0)	[3.1]	—	破片	雲 白粒	普通	灰黄褐	内外面黒色処理	
70	5	SE	91	土師器	坏	(11.0)	[2.6]	—	破片	雲 角 赤粒 白粒	普通	にぶい褐	内外面黒色処理	
70	6	SE	91	土師器	坏	(17.0)	[3.5]	—	破片	雲 角 赤粒 白粒	普通	橙		
70	7	SE	91	土師器	甕	(19.8)	[8.0]	—	破片	雲 角 石英 赤粒 白粒	普通	明褐灰		
70	8	SE	91	土師器	甕	(19.8)	[10.0]	—	破片	雲 角 赤粒 白粒	良好	明褐灰		
70	9	SE	91	土師器	甕	(21.5)	[7.3]	—	口縁破片	雲 角 石英 赤粒 白粒	良好	灰褐		
70	10	SE	91	土師器	甕	(20.2)	[9.5]	—	1/2	雲 角 赤粒 白粒	普通	灰黄褐		14
70	11	SE	91	土師器	甕	—	[4.7]	—	口縁破片	雲 赤粒 白粒		灰黄		
70	12	SE	91	土師器	甕	(21.0)	[27.0]	—	2/3	雲 白粒	普通	にぶい黄橙		14
70	13	SE	91	土師器	甕	(21.6)	[13.2]	—	破片	雲 角 砂粒 赤粒 白粒	普通	にぶい橙		
70	14	SE	91	土師器	甕	—	[10.5]	(10.6)	底部	雲 石英 赤粒 礫	普通	にぶい黄橙	外面スス付着	
70	15	SE	92	土師器	坏	10.4	3.4	—	ほぼ完形	雲 角 白粒	普通	橙		14
70	16	SE	92	土師器	坏	(10.3)	[2.5]	—	1/5	角 石英 白粒 針	普通	橙	内面漆付着	
70	17	SE	92	土師器	甕	(18.0)	[5.4]	—	破片	雲 角 赤粒 白粒 黒粒	普通	にぶい橙		
72	1	SE	95	土師器	坏	11.6	3.5	—	2/3	雲 赤粒	不良	橙		14
72	2	SE	95	土師器	坏	11.3	4.4	—	3/4	雲 角 石英 赤粒 白粒	普通	にぶい黄褐	内外面黒色処理	14
72	3	SE	95	土師器	坏	(12.2)	[2.8]	—	破片	角 石英 赤粒	普通	黒褐	内外面黒色処理	
72	4	SE	95	土師器	坏	(12.0)	[2.6]	—	破片	雲 赤粒 白粒	普通	明赤褐	赤彩	
72	5	SE	95	土師器	坏	(11.5)	[2.8]	—	破片	角 石英 白粒	不良	橙		
72	6	SE	95	土師器	皿	17.0	[2.3]	—	破片	雲 角 石英 赤粒 白粒	普通	にぶい黄橙		
72	7	SE	95	土師器	台付甕	14.6	14.4	—	ほぼ完形	雲 角 石英 白粒 黒粒	普通	にぶい黄橙		15
72	8	SE	95	土師器	甕	18.6	[36.5]	—	2/3	雲 角 白粒	普通	灰黄褐		14
72	9	SE	95	土師器	甕	20.2	[23.1]	—	3/4	雲 角 石英 砂粒 白粒	普通	灰白		15
72	10	SE	95	土師器	甕	18.6	[16.9]	—	2/3	角 石英 赤粒 白粒	普通	にぶい黄橙		15
72	11	SE	95	土師器	甕	19.6	[19.2]	—	4/5	雲 角 赤粒 白粒	普通	黒褐		15
72	12	SE	95	土師器	甕	18.5	[11.4]	—	口縁のみ	雲 砂粒 赤粒	良好	にぶい黄橙		15
72	13	SE	95	土師器	甕	19.3	35.6	(10.8)	2/3	雲 角 赤粒 白粒 黒粒	普通	橙		15
73	1	SE	93	土師器	坏	(12.5)	[2.2]	—	破片	雲 角 白粒 針	不良	橙		
73	2	SE	93	土師器	坏	(12.0)	[3.2]	—	破片	雲 角 石英 赤粒 白粒	普通	にぶい褐		
73	3	SE	94	石製品	砥石	長さ6.3	幅2.2	厚1.9	完形					50
73	4	SE	97	土師器	坏	(11.0)	[3.2]	—	1/4	雲 赤粒 白粒	普通	橙	内外面黒色処理	

第25表 井戸跡出土遺物観察表 (2)

挿入番号	遺構	種別	器種	口径	器高	底径	残存	胎土	焼成	色調	出土位置・備考	図版		
73	5	SE	97	土師器	壺	(15.2)	[4.5]	—	破片	雲 砂粒 赤粒 白粒	普通	にぶい橙	底部外縁ケズリ	16
73	6	SE	97	土師器	甕	(20.0)	[4.1]	—	破片	雲 角 砂粒 赤粒	良好	橙		
73	7	SE	98	土師器	皿	(15.7)	[3.9]	—	1/2	石英 白粒 礫	普通	橙		
73	8	SE	98	土師器	坏	(10.3)	[2.6]	—	破片	雲 角 白粒	不良	橙		
73	9	SE	98	土師器	坏	(10.7)	[1.7]	—	破片	雲 石英 白粒 針	普通	橙		
73	10	SE	98	須恵器	坏	—	[4.3]	8.9	1/2	雲 角 石英 赤粒 針	良好	灰		
73	11	SE	98	土師器	小型甕	(12.5)	[10.0]	—	1/3	雲 角 赤粒 白粒	普通	にぶい橙		
73	12	SE	99	須恵器	蓋	14.0	[2.5]	—	破片	雲 白粒 黒粒	普通	灰		
73	13	SE	99	土師器	坏	(9.4)	[1.9]	—	破片	雲 角 石英 白粒 黒粒	不良	橙		
73	14	SE	99	土師器	高坏	—	[8.7]	—	脚部のみ	雲 赤粒 白粒	普通	橙		
73	15	SE	100	須恵器	坏	(11.4)	4.0	5.8	1/3	雲 角 黒粒	普通	灰白		
73	16	SE	100	須恵器	坏	(12.0)	3.8	(5.4)	1/3	片 角 白粒 黒粒	良好	黒褐		
73	17	SE	100	須恵器	高台付埴	13.2	5.3	7.6	3/4	雲 白粒	普通	にぶい橙		
73	18	SE	100	須恵器	高台付埴	(14.0)	5.7	7.2	3/4	雲 砂粒 赤粒 白粒	普通	にぶい橙		
73	19	SE	100	須恵器	高台付埴	(13.4)	5.2	6.8	3/5	雲 角 砂粒 白粒	普通	褐灰		
73	20	SE	100	須恵器	高台付埴	—	[2.0]	(7.4)	1/3	雲 赤粒 白粒	普通	にぶい褐		
73	21	SE	100	須恵器	高台付埴	—	[3.2]	9.2	4/5	角 砂粒 白粒 黒粒	良好	褐灰		
73	22	SE	100	須恵器	高台付埴	(16.0)	[4.9]	—	破片	雲 砂粒 白粒	良好	灰黄		
73	23	SE	100	須恵器	高台付埴	—	[3.0]	(11.0)	破片	石英 砂粒 白粒	良好	褐灰		
73	24	SE	100	鉄製品	釘	長8.0	一辺最大0.6	—	頭部欠	—	—	—		
73	25	SE	102	土師器	甕	(18.2)	[2.1]	—	破片	雲 石英 赤粒 白粒 黒粒	普通	にぶい橙		
74	1	SE	103	土師器	坏	(11.8)	[3.2]	—	1/2	雲 角 白粒	普通	にぶい黄橙		
74	2	SE	103	土師器	坏	(11.9)	[3.2]	—	破片	角 石英 白粒	普通	にぶい橙		
74	3	SE	103	土師器	坏	(9.8)	[2.3]	—	破片	雲 角 石英 白粒 黒粒	普通	にぶい橙		
74	4	SE	103	土師器	鉢	(12.0)	[5.8]	—	破片	雲 角 白粒	普通	褐灰		
74	5	SE	103	須恵器	鉢	(15.8)	[6.6]	—	破片	白粒 黒粒	普通	黄灰		
74	6	SE	103	木製品	板	長さ[16.4]	幅4.3	厚1.4	—	樹種：ヒノキ	—	—		
74	7	SE	103	木製品	板	長さ[12.4]	幅4.9	厚0.4	—	樹種：スギ	—	—		
74	8	SE	103	木製品	杭	長さ[ 8.6]	径[1.5]	—	—	樹種：コナラ属アカガシ亜属	—	—		
74	9	SE	103	木製品	板	長さ[15.5]	幅3.8	厚1.3	—	樹種：コナラ属アカガシ亜属	—	—		
74	10	SE	103	木製品	板	長さ[10.5]	幅3.1	厚2.3	—	樹種：スギ	—	—		
74	11	SE	103	木製品	板	長さ 33.6	幅19.1	厚5.1	—	—	—	—		
74	12	SE	104	灰釉陶器	皿	—	[1.9]	(7.0)	破片	白粒 黒粒	良好	灰白		
74	13	SE	104	石製品	砥石	長さ8.25	幅4.5	厚2.6	—	—	—	—		
74	14	SE	104	須恵器	壺	21.0	[8.8]	—	口縁1/5	角 石英 白粒 黒粒	良好	灰		
74	15	SE	106	須恵器	坏	—	[1.4]	(5.1)	底部のみ	角 赤粒 白粒	普通	にぶい黄橙		
74	16	SE	107	緑釉陶器	埴	—	[2.3]	—	破片	石英 白粒	良好	灰白		
74	17	SE	107	須恵器	坏	(15.0)	[4.0]	—	破片	白粒 黒粒	普通	褐灰		
74	18	SE	107	須恵器	坏	—	[1.7]	(7.0)	1/5	雲 角 赤粒 白粒	普通	にぶい橙		
74	19	SE	107	須恵器	高台付埴	—	[1.4]	(6.6)	—	雲 角 砂粒 赤粒 白粒	—	—		
74	20	SE	108	石製品	凹石	長さ16.2	幅10.4	厚8.5	—	—	—	—		
74	21	SE	109	須恵器	坏	—	[0.7]	(6.4)	1/2	雲 赤粒 白粒	普通	灰黄褐		
80	1	SE	110	須恵器	坏	—	[2.8]	(6.8)	破片	雲 角 赤粒 黒粒	破片	灰黄		
80	2	SE	110	須恵器	高台付埴	—	[1.4]	(8.0)	—	—	不良	灰黄		
80	3	SE	110	土師器	甕	—	[4.1]	(7.0)	1/5	雲 石英 白粒	普通	暗灰黄		
80	4	SE	110	木製品	火鑽白	長さ[17.8]	幅2.3	厚1.0	—	樹種：ヒノキ	—	—		
80	5	SE	114	須恵器	埴	—	[2.1]	(6.2)	底部1/4	針	良好	褐灰		
80	6	SE	114	須恵器	坏	13.4	5.4	5.6	完形	雲 長石 白粒 黒粒	良好	黒		
80	7	SE	114	須恵器	高台付埴	—	[4.4]	—	1/5	雲 赤粒 白粒 黒粒	不良	にぶい黄橙		
80	8	SE	114	須恵器	坏	14.4	[4.8]	—	破片	雲 角 黒粒	普通	灰白		
80	9	SE	116	土師器	坏	(12.0)	[3.1]	—	破片	角 黒粒	普通	橙		
80	10	SE	116	須恵器	高坏	—	[5.0]	15.0	破片	白粒 黒粒	良好	暗灰		
80	11	SE	117	土師器	小型甕	(15.0)	[7.1]	—	1/4	雲 砂粒 赤粒	普通	褐灰		
80	12	SE	121	土師器	甕	20.0	32.0	9.0	4/5	石英 赤粒 白粒	普通	にぶい褐		
80	13	SE	125	須恵器	高台付埴	—	[3.4]	(7.9)	1/2	石英 白粒 黒粒	不良	にぶい橙		
80	14	SE	125	土師器	甕	(15.0)	[6.0]	—	破片	雲 角 石英 砂粒 赤粒	普通	灰黄褐		

第26表 井戸跡出土遺物観察表 (3)

挿図番号	遺構	種別	器種	口径	器高	底径	残存	胎土	焼成	色調	出土位置・備考	図版		
80	15	SE	128	土師器	坏	(16.2)	5.4	—	1/3	雲片角黒粒	普通	橙	東濃 東遠江	20
80	16	SE	128	土師器	坏	(10.8)	3.5	—	1/2	雲角砂粒白粒黒粒	普通	橙		20
80	17	SE	130	土師器	甕	(21.6)	[2.8]	—	口縁破片	雲赤粒白粒	普通	にぶい赤褐		
80	18	SE	131	土師器	台付甕	—	[6.6]	14.0	脚部完形	雲角砂粒赤粒白粒	普通	橙		
81	1	SE	115	灰釉陶器	皿	(12.4)	2.6	7.0	1/2	白粒黒粒	良好	灰白		20
81	2	SE	115	灰釉陶器	壺	—	[3.2]	6.9	1/3	長石黒粒	良好	黄灰		48
81	3	SE	115	須恵器	坏	(12.0)	[3.4]	(6.8)	口縁破片	角白粒黒粒	普通	黄灰		
81	4	SE	115	須恵器	坏	—	[3.2]	(6.0)	底部1/5	砂粒赤粒白粒	普通	灰		
81	5	SE	115	須恵器	高台付壺	—	[2.7]	6.7	底部のみ	角石英白粒黒粒	普通	灰白		
81	6	SE	115	須恵器	高台付壺	—	[2.2]	6.7	底部のみ	雲石英赤粒白粒	普通	にぶい橙		20
81	7	SE	115	須恵器	高台付壺	13.6	5.4	7.0	完形	雲角石英白粒黒粒	良好	灰		
81	8	SE	115	須恵器	高台付壺	(14.2)	[4.8]	—	1/5	雲石英黒粒	普通	灰		
81	9	SE	115	須恵器	高台付壺	(12.8)	[4.1]	—	1/4	雲	普通	灰白		
81	10	SE	115	須恵器	高台付壺	—	[3.2]	8.2	底部のみ	雲赤粒白粒黒粒	普通	黒褐色		
81	11	SE	115	須恵器	高台付壺	—	[4.1]	10.6	底部のみ	角赤粒白粒礫	普通	橙		
81	12	SE	115	須恵器	高台付壺	—	[2.3]	—	底部3/4	雲白粒黒粒	普通	灰		
81	13	SE	115	須恵器	高台付壺	—	[3.9]	6.7	2/3	雲石英赤粒黒粒	不良	浅黄橙		
81	14	SE	115	須恵器	羽釜	(19.0)	[6.2]	—	口縁破片	雲赤粒白粒	普通	にぶい褐		
81	15	SE	115	須恵器	羽釜	(22.0)	[7.2]	—	口縁破片	雲石英砂粒白粒	良好	灰		
81	16	SE	115	土師器	甕	(22.6)	[5.9]	—	口縁破片	雲赤粒白粒黒粒	普通	にぶい褐		
81	17	SE	115	鉄滓	碗型滓	径3.6	厚さ1.9							
81	18	SE	115	鉄滓	碗型滓	長さ[5.2]	厚さ3.3							
81	19	SE	115	鉄滓	碗型滓	径7.5	厚さ3.4						50	
81	20	SE	115	木製品	曲物	高[8.2]	径[15.0]	厚0.6				側板と底板	17・19	

第27表 第103号井戸跡木杵材観察表

挿図番号	種別	器種	長さ	幅	厚さ	材質	出土位置・備考	図版	
75	1	木製品	井戸杵	[109.2]	36.0	7.0	モミ属	北西	
75	2	木製品	井戸杵	[104.0]	45.6	5.0	モミ属	北東	
76	3	木製品	井戸杵	[117.8]	40.6	6.0	モミ属	南東	18
76	4	木製品	井戸杵	[114.0]	45.0	5.0	モミ属	南西	18
75	5	木製品	井戸杵横木	34.0	4.8	2.8	ヒノキ	北西	19
75	6	木製品	井戸杵横木	38.0	4.8	3.6	ヒノキ	北東	19
75	7	木製品	井戸杵横木	32.0	4.8	3.0	ヒノキ	南東	19
75	8	木製品	井戸杵横木	35.5	5.5	4.0	ヒノキ	南西	19

78cmで、壁面はまっすぐに立ち上がる形態を示す。

出土遺物は少なく、図示できるものはなかった。

みである。

第131号井戸跡 (第79図)

第130号井戸跡 (第79図)

I-16グリッドに位置し、第127号溝跡と重複する。平面は長径45cm、短径42cm、長軸方向はN-77°-Wである。深さは96cmで、壁面はまっすぐに立ち上がる形態を示す。

出土遺物は少なく、図示できたものは第80図17の

I-10・11グリッドに位置する。平面は長径63cm、短径60cm、長軸方向はN-39°-Wである。深さは90cmで、壁面はまっすぐ上方に開く形態である。

出土遺物は少なく、図示できたものは第80図18のみである。

## 4. 土坑

今回の報告範囲において、土坑を34基検出した。

### 第158号土坑 (第82図)

H-10グリッドに位置し、南側は第175号溝跡と重複している。平面は長辺363cm、短辺219cmのいびつな長方形をなしている。長軸方向はN-57°-Wである。さらに3基の大型土坑が切りあっており、中央の土坑は深さが70cm以上あって、井戸跡の可能性が高い。

出土遺物のうち、図示できたものは第84図1～9のとおりである。

### 第159号土坑 (第82図)

H-10グリッドに位置する。第94・105号溝跡と重複しているが、土層断面からみて土坑の方が新しい。平面は長径138cm、短径117cmのいびつな楕円形である。長軸方向はN-37°-E。深さは33cmである。

出土遺物は少なく、図示できるものはなかった。

### 第160号土坑 (第82図)

H-10グリッドに位置し、南西側は第175号溝跡が重複している。平面は長径240cm、短径93cmで、西側先端が大きく屈曲している。長軸方向はN-60°-Wである。深さは6cmと非常に浅い。

出土遺物は少なく、図示できるものはなかった。

### 第161号土坑 (第82図)

H-11グリッドに位置し、西側にP897が重複している。平面は長径117cm、短径84cmの楕円形で、長軸方向はN-77°-Eである。深さは9cmである。

出土遺物は少なく、図示できたのは第84図10の土師器坏1点のみである。

### 第162号土坑 (第82図)

H-11グリッドに位置し、第87・169号溝跡と重複する。平面は長径345cm、短径183cmの不整形で、長

軸方向はN-2°-Wである。深さは30cmである。

出土遺物のうち、図示できたものは第84図11～15のとおりである。

### 第163号土坑 (第82図)

H-12グリッドに位置し、第175号溝跡と重複する。平面は長径117cm、短径60cmであるが、2基の土坑が重複したような形である。長軸方向はN-90°で、深さは114cmである。

出土遺物は少なく、図示できるものはなかった。

### 第164号土坑 (第82図)

H-11グリッドに位置する。平面は長径69cm、短径60cmのいびつな長方形で、長軸方向はN-55°-Eである。深さは30cmである。

出土遺物は少なく、図示できたものは第84図16の土師器坏1点のみであった。

### 第165号土坑 (第82図)

I-11グリッドに位置する。第178号溝跡と重複するが、土坑の方が新しい時代の遺構である。平面は長径111cm、短径87cmの楕円形で、長軸方向はN-49°-Wである。深さは15cmである。

出土遺物は少なく、図示できるものはなかった。

### 第166号土坑 (第83図)

H-12グリッドに位置し、西側は調査区域外となる。方形の落ち込み状になっており、深さは最大で15cmである。

出土遺物は少なく、図示できたものは第84図17の土師器坏1点のみであった。

### 第167号土坑 (第83図)

H-12グリッドに位置し、第57号住居跡や第183・184号溝跡と重複する。平面は長径240cm、短径183cmの不整形で、長軸方向はN-57°-Eある。深さは12